

一般社団法人

# 日本発達心理学会 第28回大会プログラム

The 28th Annual Meeting for the Japan Society of Developmental Psychology



## 社会と世代のこころをつなぐ発達心理学

2017年3月25日(土)~27日(月)

広島国際会議場  
JMSアステールプラザ  
広島市文化交流会館

主催：一般社団法人日本発達心理学会  
第28回大会委員会

共催：広島大学大学院教育学研究科

2017年  
発売予定

# wppsi-III™

WECHSLER PRESCHOOL AND PRIMARY SCALE  
OF INTELLIGENCE — THIRD EDITION

## WPPSI-III 知能検査

Wechsler Preschool and Primary Scale of Intelligence—Third Edition

原著者: David Wechsler / 原版出版社: Pearson / 日本版作成者: 大六一志・渡辺弥生 / 適用範囲: 2歳6カ月～7歳3カ月

価格 コンプリート(CP)セット: 162,000円(150,000円+税)

実施・採点マニュアル: 12,960円(12,000円+税) / 理論・解釈マニュアル: 8,640円(8,000円+税) /  
2～3歳記録用紙(20名分): 10,800円(10,000円+税) / 4～7歳記録用紙&ワークブック(20名分): 16,200円(15,000円+税)

2016年11月発売

## CCC-2

### 子どものコミュニケーション・チェックリスト The Children's Communication Checklist Second Edition

#### CCC-2子どものコミュニケーション・チェックリスト

The Children's Communication Checklist - Second Edition

原著者: D.V.M. Bishop / 原版出版社: Pearson / 日本版作成者: 大井学・藤野博・槻館尚武・  
神尾陽子・権藤桂子・松井智子 / 適用範囲: 3歳～15歳 / 実施時間: 5分～15分

価格 マニュアル: 5,400円(5,000円+税) / 検査用紙(30名分): 10,800円(10,000円+税) / 採点シート: 3,240円(3,000円+税)

※回答済みの検査用紙に重ねることで、簡易に採点ができます。

- 言語障害の可能性が疑われる子どもや、コミュニケーションに問題がある子どもをスクリーニングします。
- 従来の検査ではとらえられなかったコミュニケーションの語用的側面に焦点をあて、**語用障害\***を特定します。  
\*DSM-5における社会的(語用論的)コミュニケーション障害
- 自閉症の子どものコミュニケーションの特性をとらえるのに適しています。
- 子どもの日常生活の様子をよく知る人(保護者等)が回答し、検査者が採点と解釈を行います。
- 質問項目は10領域に分類され、計70問で構成されています。
- CCC-2の領域: 音声 / 文法 / 意味 / 首尾一貫性 / 場面に不適切な話し方 / 定型化されたことば / 文脈の利用 /  
非言語的コミュニケーション / 社会的関係 / 興味関心

ご購入は、弊社心理検査販売代理店をご利用ください。

日本文化科学社 代理店

検索

日本文化科学社  
www.nichibun.co.jp

一般社団法人  
日本発達心理学会  
第 28 回大会プログラム

大会テーマ

「社会と世代のこころをつなぐ発達心理学」

2017.3.25～27

広島国際会議場  
JMS アステールプラザ  
広島市文化交流会館

主催

一般社団法人日本発達心理学会第 28 回大会委員会

共催

広島大学大学院教育学研究科

# 一般社団法人日本発達心理学会 第28回大会開催にあたってのご挨拶

日本発達心理学会第28回大会は、2017年3月25日（土）～27日（月）の3日間、広島大学を担当校として開催させていただくことになりました。会場は、アクセスの利便性を鑑み、また平和都市広島を持つさまざまな特性を皆様に体験していただきたく、広島市平和公園内の広島国際会議場および隣接するアステールプラザ、広島市文化交流会館といたしました。

本大会のテーマは、「社会と世代のこころをつなぐ発達心理学」です。IT技術やデジタル的思考が社会のさまざまな分野に浸透し、社会が急激に変容するに伴って、心の成長・発達にも多くの問題が生じています。本大会は、これらの現代社会の抱える問題をとらえ直し、社会、世代、学問等を、発達心理学の視点から「つなぐ」ことを問題提起したいと考えています。

大会企画としては、次のような海外からの招待講演やシンポジウムを予定しています。

海外からの招待講演では、アメリカ合衆国の Austen Riggs Center, Erikson 研究所 前所長 Dr. M. Gerard Fromm をお招きし、「ライフサイクルの『はめば歯車』とトラウマの世代継承—Erikson の人生と仕事の省察—」について、ご講演いただきます。Austen Riggs Center は、アイデンティティ論を提唱した E.H. Erikson が長く研究と臨床活動に携わったことで有名で、アメリカでトップを誇る心理臨床施設・研究所です。Dr. M.G. Fromm は、Erikson から直接、指導を受けた経験をお持ちで、発達心理学・臨床心理学の第一線でご活躍中の研究者・心理臨床家です。

基調講演「21世紀のアイデンティティと世代継承性」では、Dr. Fromm の招待講演と連携して、アイデンティティの視点から本大会のテーマを討議します。長年、ライフサイクル、アイデンティティ、世代継承性研究に携わってこられたやまだようこ先生と岡本が講演させていただきます。

また、広島大学ダイバーシティ研究センターとの共催シンポジウムとして、「ダイバーシティを考える—研究と実践の可能性—」を企画しました。

大会委員会企画シンポジウムとしては、「虐待予防に発達心理学ができることは何か?」、「日本人青年のアイデンティティ発達はどこまで明らかになったか」、「認知発達研究における理論の役割を考える」、「歴史的トラウマの記憶と継承—戦争体験は次世代にどのように受けつがれたのか—」、「ワーキングメモリ理論から発達障害へのアプローチの進展」の5つを予定しております。4番目の企画は、本大会のテーマおよび広島での開催に因んで、戦争体験やトラウマの世代継承性について、新たな視点を見出すことができればと企画いたしました。本大会にて、認知心理学・発達心理学と心理臨床をつなぐ諸課題や世代継承性等、現代社会の問題を多角的に討議できれば幸いです。

3月下旬の広島は、桜も見ごろで暖かな美しい季節です。

大会委員一同、多くの皆様のご参加をお待ちしています。

2017年2月  
一般社団法人 日本発達心理学会  
第28回大会委員長 岡本 祐子

# 目 次

大会会場	会場へのアクセス……………	(3)
	会場マップ……………	(4-7)
大会日程	概要……………	(8)
	3月25日、26日、27日……………	(9-11)
大会参加者へのご案内		
1. 受付……………		(12)
2. クローク……………		(12)
3. シンポジウム、ラウンドテーブル等打ち合わせ室……………		(12)
4. 休憩室……………		(12)
5. 学会賞授賞式・会務報告会……………		(13)
6. 懇親会……………		(13)
7. 機器・図書の展示・販売……………		(13)
8. 託児室……………		(13)
9. その他……………		(13)
10. お問い合わせ……………		(14)
会員企画・ポスター発表の発表者へのご案内……………		(15-16)
臨床発達心理士資格関連	ご案内……………	(17)
	資格更新研修会のお知らせ……………	(18)
大会委員会企画	基調講演 (KL)……………	(20)
	招待講演 (IL)……………	(20)
	シンポジウム (AS)……………	(21)
日本発達心理学会企画シンポジウム (BS)……………		(23)
日本発達心理学会・他学会等共催シンポジウム (CS)……………		(24)
関連団体企画シンポジウム (DS)……………		(25)
日本発達心理学会学会賞 (論文賞) 受賞者小講演 (SL)……………		(26)
チュートリアル・セミナー (TS)……………		(26)
会員企画	自主シンポジウム (SS)……………	(28)
	ラウンドテーブル (RT)……………	(36)
ポスター発表……………		(47)
人名索引……………		(106)

## 会場へのアクセス

- 会場 A (JMS アステールプラザ)：受付・クローク・講演・企画シンポジウム・ラウンドテーブル
- 会場 B (広島市文化交流会館)：自主シンポジウム・ラウンドテーブル・チュートリアル  
・小講演・懇親会
- 会場 C (広島国際会議場)：ポスター発表



### ■交通アクセス

#### (1) JR 広島駅から

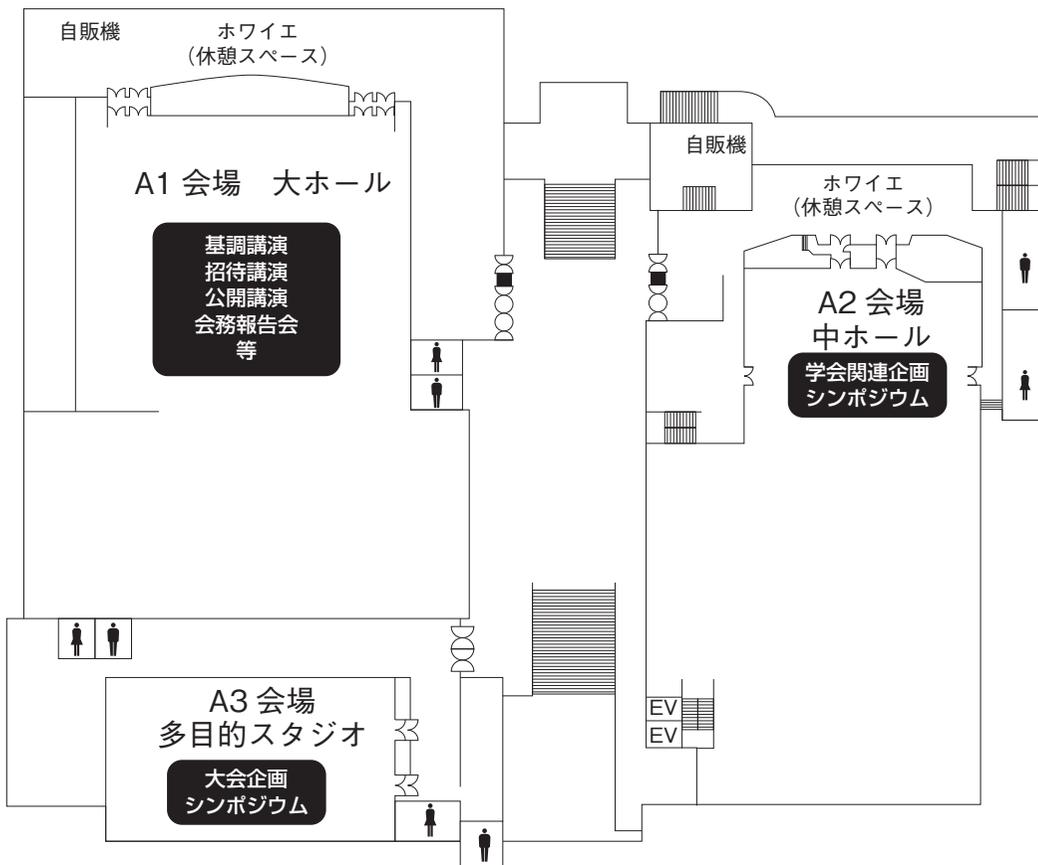
- ・市内電車利用の場合 広島港行 (紙屋町経由) - 市役所前下車 (600m)
- ・バス利用の場合 広島バス 24番吉島営業所行または吉島病院行 - 加古町下車 (200m)
- ・タクシー利用の場合 約15分

#### (2) 広島空港から

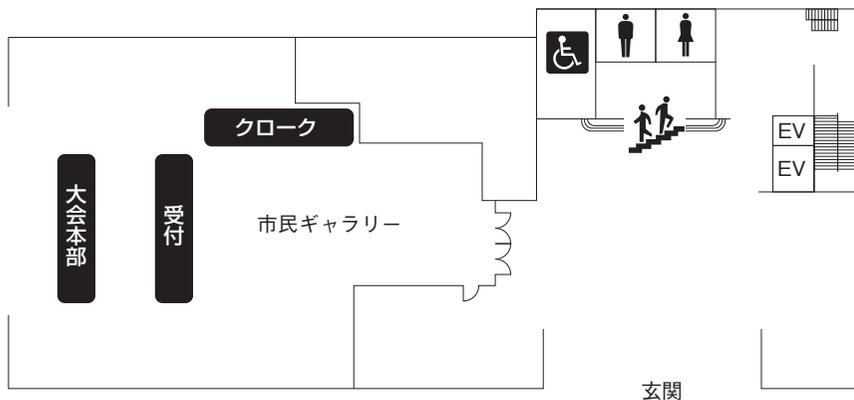
- ・リムジンバス バスセンター行広島空港1番ホームより (51分, 片道1,300円)  
→バスセンターより徒歩20分  
または 広島銀行本店前より24番吉島行 - 加古町下車 (200m)

# 会場 A (アステールプラザ) 1階, 2階

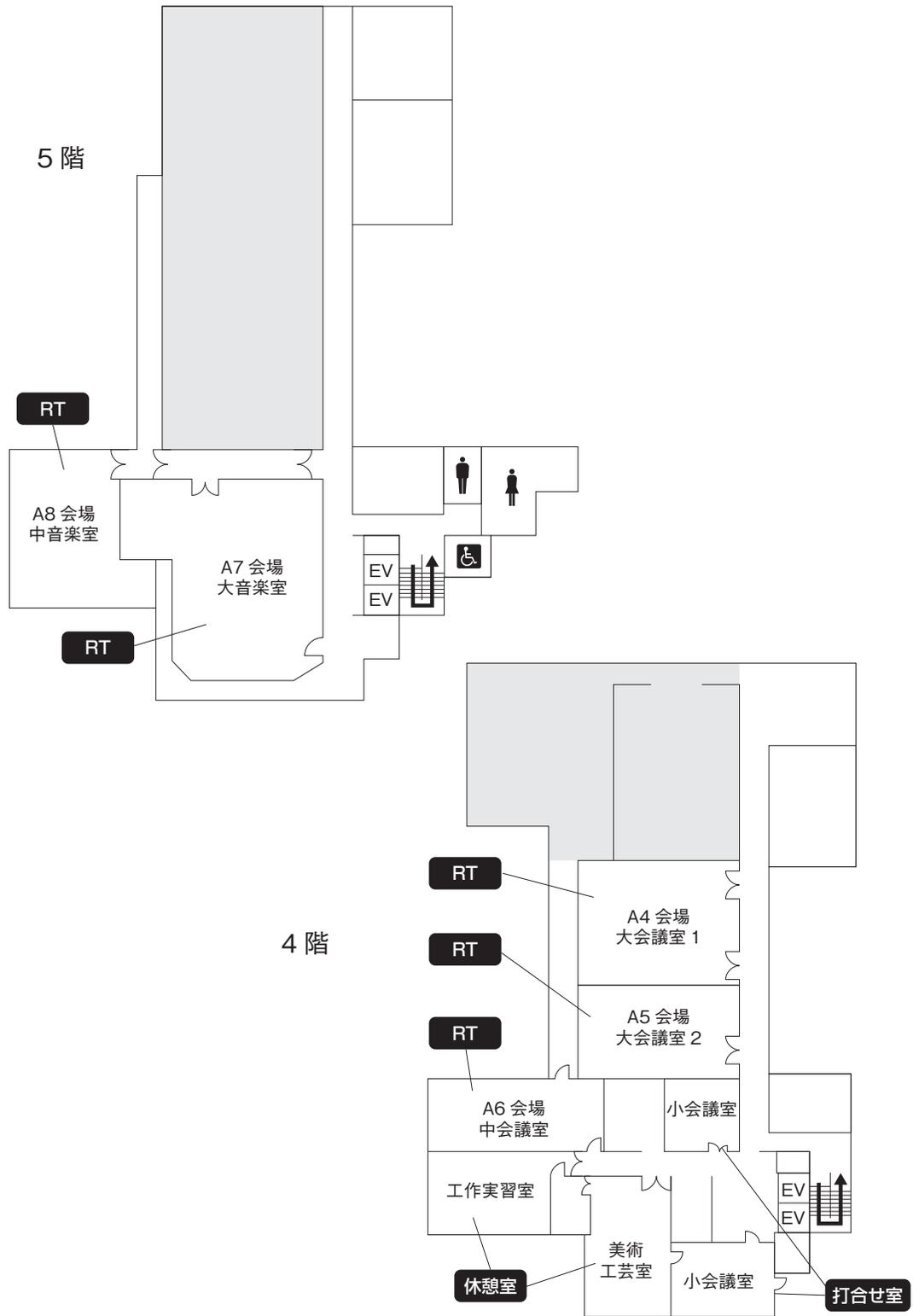
2階



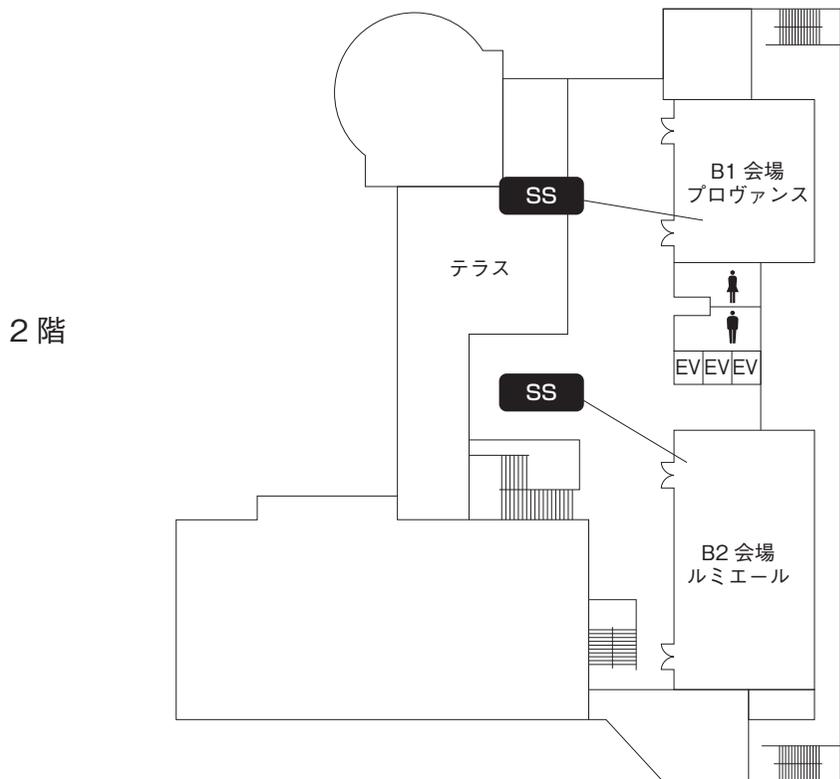
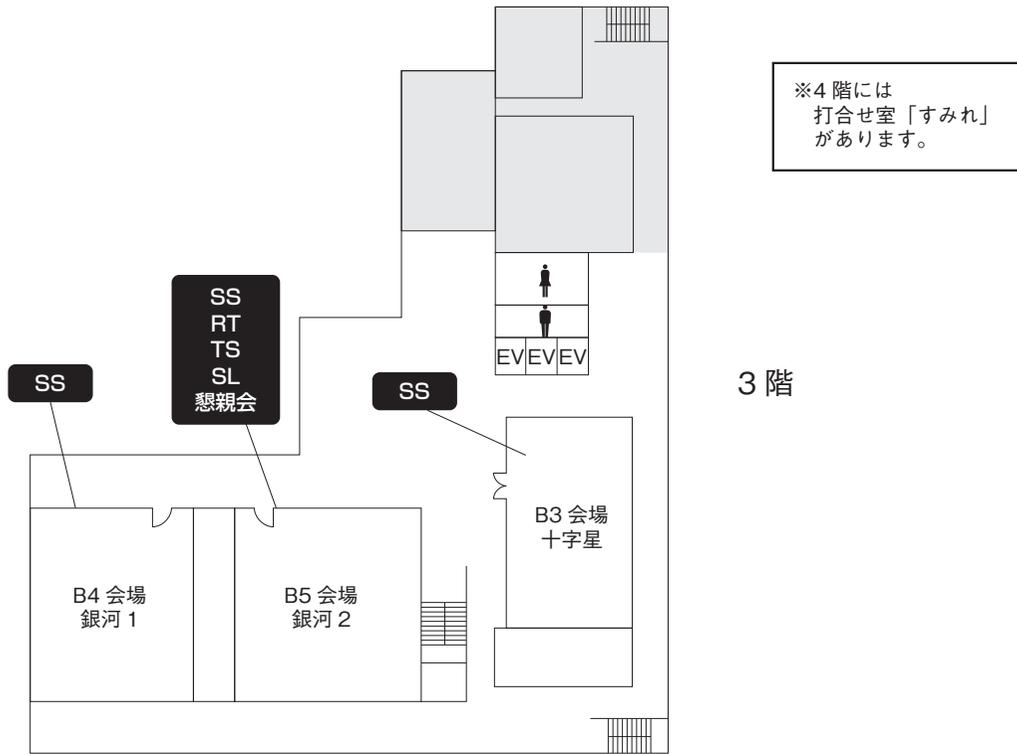
1階



# 会場 A (アステールプラザ) 4階, 5階

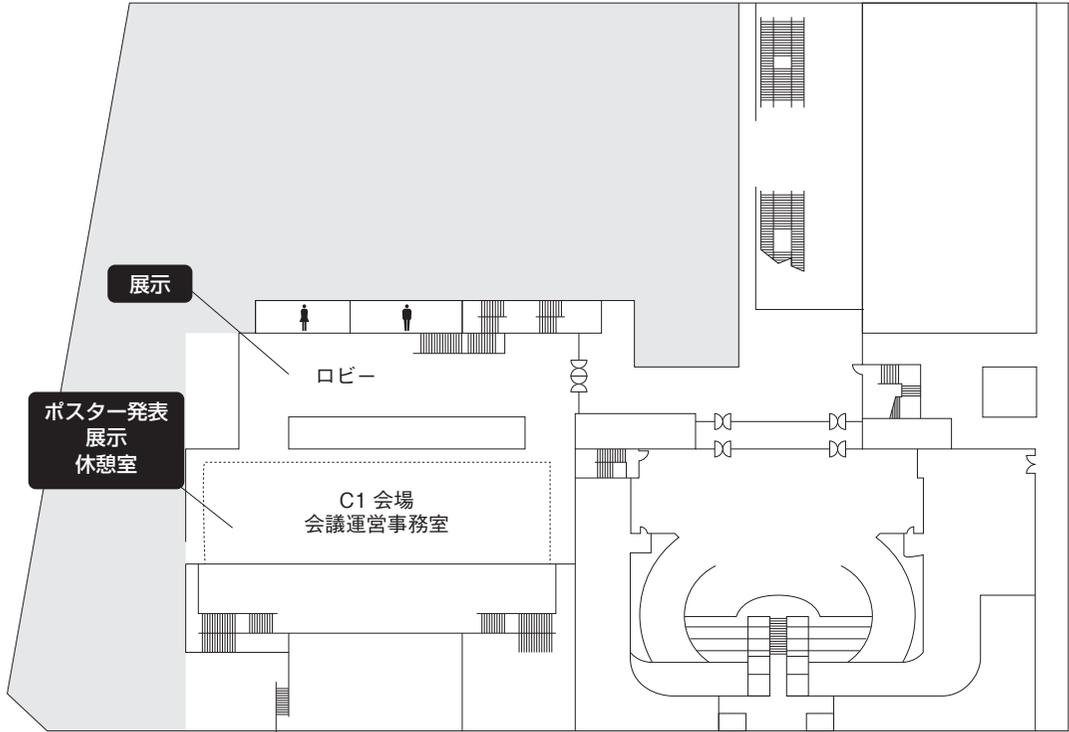


# 会場 B (文化交流会館)



# 会場 C (国際会議場)

B1 階



平和大通りを渡り、直接ここから地下に入れます

大会日程

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00
大会1日目 3月25日 (土)	9:00 受付開始			12:15 臨床発達 心理士資 格説明会	12:45			自閉症を持つ人は心を読むことができるか？ IL1				
		これからの臨床発達支援の独自性と専門性 DS1			日本発達心理学会からの海外情報発信 BS1			災害後の子ども支援 DS2				
		自主シンポジウム SS1			虐待予防に発達心理学ができることは何か？ AS1			日本人青年のアイデンティティ発達はどこまで明らかになったか AS2				
		ラウンドテーブル RT1			ワーキングメモリ理論と発達障害児等の学習支援 TS1							
		ポスター P1			自主シンポジウム SS2			自主シンポジウム SS3				
					ラウンドテーブル RT2			ラウンドテーブル RT3				
					ポスター P2			ポスター P3				
大会2日目 3月26日 (日)	9:00 受付開始	ライフサイクルの「はめば歯車」とトラウマの世代継承 IL2			21世紀のアイデンティティと世代継承性 KL1			公認心理師法成立後における発達心理学の専門性 2 CS1		17:45 18:15 学会賞 授賞式・ 会務報 告会		
		いま、あらためて「日本発・発達心理学」の可能性を探る BS2			東日本大震災後の継続的な心の支援の必要性について 4 DS3			乳児保育の質向上を目指して CS2				
		自主シンポジウム SS4			認知発達研究における理論の役割を考える AS3			自主シンポジウム SS6			18:30	20:30 懇親会
		ラウンドテーブル RT4			自主シンポジウム SS5			ラウンドテーブル RT6				
		ポスター P4			ポスター P5			ポスター P6				
大会3日目 3月27日 (月)	9:00 受付開始	ダイバーシティを考える AS4										
		発達心理学と生涯発達心理学の断絶を超えて CS3			発達心理学を日本から発信する BS3							
		歴史的トラウマの記憶と継承 AS5			ワーキングメモリ理論から発達障害へのアプローチの進展 AS6							
		M-GTAの要点 TS2		12:15 臨床発達 心理士 個別相談会	13:30							
		自主シンポジウム SS7			受賞者小講演 SL1			自主シンポジウム SS8				
		ラウンドテーブル RT7						ラウンドテーブル RT8				
		ポスター P7						ポスター P8				

A1 会場 (2 階) 大ホール		臨床発達心理士 資格説明会			IL1：自閉症を持つ人は心を読むことができるか？
A2 会場 (2 階) 中ホール	DS1：これからの臨床発達支援の独自性と専門性		BS1：日本発達心理学会からの海外情報発信		DS2：災害後の子ども支援
A3 会場 (2 階) 多目的スタジオ			AS1：虐待予防に発達心理学ができることは何か？		AS2：日本人青年のアイデンティティ発達はどこまで明らかになったか
B1 会場 (2 階) プロヴァンス					
B2 会場 (2 階) ルミエール	SS1-1：「書く」ことへの合理的配慮		SS2-1：発達心理学と臨床心理学をつなぐ		SS3-1：男性の養育と家族との関係性
B3 会場 (3 階) 十字星	SS1-2：現代社会と青年の将来		SS2-2：死生に向き合う際、他者との関係は生の糧となるか、それとも重荷となるか		SS3-2：つながりをつくる高齢者支援の社会实践
B4 会場 (3 階) 銀河 1	SS1-3：子どもの多様性に寄り添うには		SS2-3：自閉症の社会性支援における行動論と発達論の歩み寄り		SS3-3：ヴィゴツキーの方法論について
B5 会場 (3 階) 銀河 2	SS1-4：人生構築理論（白井，2011）の検討		TS1：ワーキングメモリ理論と発達障害児等の学習支援		RT3-1：現在の発達障害児・者支援における発達アセスメントの役割と課題
A4 会場 (4 階) 大会議室 1	RT1-1：自閉症の子どもの子育てに「家族の流儀」はどのように影響するのか (3)		RT2-1：生涯発達における発達理解と発達支援		RT3-2：ライフコースの多様化とパートナーシップのゆくえ
A5 会場 (4 階) 大会議室 2	RT1-2：保育士のワーク・ライフ・バランスを考える		RT2-2：保育者の成長と他者		RT3-3：多様な道徳の育成
A6 会場 (4 階) 中会議室	RT1-3：障害児・者のきょうだい支援の必要性		RT2-3：記憶の声を継承すること・現在を新たなものに変えること		RT3-4：絵本の読み合い遊び活動の実践
A7 会場 (5 階) 大音楽室	RT1-4：青年期の親子関係における親の発達の変容		RT2-4：子どもの声は「騒音」なのか		
A8 会場 (5 階) 中音楽室	RT1-5：実践を語ることの了解性		RT2-5：ともだち再考		RT3-5：行為発達の環境のデザイン
C1 会場 会議運営 事務室	P1：ポスター発表 在席責任時間 発表番号 奇数 10：00～10：50 偶数 11：00～11：50		P2：ポスター発表 在席責任時間 発表番号 奇数 13：00～13：50 偶数 14：00～14：50		P3：ポスター発表 在席責任時間 発表番号 奇数 15：30～16：20 偶数 16：30～17：20

	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00
A1 会場 (2 階) 大ホール	IL2: ライフサイクルの「はめば歯車」とトラウマの世代継承			KL1: 21 世紀のアイデンティティと世代継承性			CS1: 公認心理師法成立後における発達心理学の専門性 2			授賞式・ 会務報告	
A2 会場 (2 階) 中ホール	BS2: いま、あらためて「日本発・発達心理学」の可能性を探る			DS3: 東日本大震災後の継続的な心の支援の必要性について 4			CS2: 乳児保育の質向上を目指して				
A3 会場 (2 階) 多目的スタジオ				AS3: 認知発達研究における理論の役割を考える							
B1 会場 (2 階) プロヴァンス											
B2 会場 (2 階) ルミエール	SS4-1: 幼児期の推論発達の諸側面			SS5-1: ユビキタス化する食			SS6-1: 追悼; Bruner,J.,S. が探した「心」は何だったのか?				
B3 会場 (3 階) 十字星	SS4-2: アイトラッカーを使った研究は実践にどのように貢献できるか			SS5-2: 社会性の発達に困難を抱える子どもの早期発見と早期支援			SS6-2: 青年に青年心理学を教えることの意義と課題				
B4 会場 (3 階) 銀河 1	SS4-3: ASD 児の早期発見の地域実装とコミュニティベースの早期療育の試み			SS5-3: 自閉スペクトラム症児の社会コミュニケーション領域の発達支援と PECS			SS6-3: Autism Spectrum Disorder の思春期から青年期における支援				
B5 会場 (3 階) 銀河 2											懇親会
A4 会場 (4 階) 大会議室 1	RT4-1: 自閉症スペクトラムについて「見逃してきたもの」			RT5-1: キャリアの選択と形成			RT6-1: 自閉スペクトラム症児のグループレセラビーによるメンタライジングと情緒交流の形成				
A5 会場 (4 階) 大会議室 2	RT4-2: 発達支援専門職は多職種連携をどのように学び、実践できるか			RT5-2: ライブ・カンファレンス 保育を支える巡回相談			RT6-2: 多機関連携臨床の意義と仮想事例による検討				
A6 会場 (4 階) 中会議室	RT4-3: 教職課程の大学生の道徳教育に関する基本的な考えの多様性			RT5-3: オタクの心理学			RT6-3: 難病とともに生きる子どもへの心理的支援				
A7 会場 (5 階) 大音楽室	RT4-4: 教え・教わるころの起源を探る			RT5-4: アクティブラーニング型授業の教育効果について考える			RT6-4: 絵本から物語への創造的展開				
A8 会場 (5 階) 中音楽室	RT4-5: 自己調節方略のライフコース (4)			RT5-5: 発達における「不可視性」とその意義			RT6-5: 「意味の行為」の研究を展望する				
C1 会場 会議運営 事務室	P4: ポスター発表 在席責任時間 発表番号 奇数 10:00~10:50 偶数 11:00~11:50			P5: ポスター発表 在席責任時間 発表番号 奇数 13:00~13:50 偶数 14:00~14:50			P6: ポスター発表 在席責任時間 発表番号 奇数 15:30~16:20 偶数 16:30~17:20				



## 大会参加者へのご案内

※大会期間中は、参加証をおつけください。

### 1. 受付

場所：アステールプラザ1階 市民ギャラリー（正面玄関を入れて左手）

時間：大会第1日目（3月25日・土）09：00-17：30

大会第2日目（3月26日・日）09：00-18：30

大会第3日目（3月27日・月）09：00-15：00

### 予約参加の方のお手続き

参加証をご持参ください。受付の手続きは不要です。

※参加証をお忘れの方は、受付の「予約参加」窓口へおいでください。

### 当日参加の方のお手続き

1) 記入コーナーで「参加申込書」に必要事項を記入

2) 受付の「当日参加」窓口へ提出

3) 当日参加費をお支払い

4) 参加証を受取

※当日参加費は、一般会員 13,000 円、学生会員 10,000 円、非会員（一般、大学院生）13,000 円、学部生 3,000 円です。

※学生（大学院生含む）として参加する場合、学生証をご提示ください。

※一般会員と非会員（一般、大学院生）の当日参加費には、論文集 DVD と大会プログラムの費用が含まれます。

学部生の当日参加費には、大会プログラムの費用のみが含まれています。

### 2. クローク

場所：アステールプラザ1階 市民ギャラリー（正面玄関を入れて左手）

時間：大会第1日目（3月25日・土）09：00-18：00

大会第2日目（3月26日・日）09：00-18：30

大会第3日目（3月27日・月）09：00-15：30

※ご注意1：クロークチケットをお受け取りいただき、必ずお持ちください。

※ご注意2：貴重品や危険物を預けることはご遠慮ください。

### 3. シンポジウム、ラウンドテーブル等打合せ室

場所：アステールプラザ4階 小会議室

文化交流会館4階 「すみれ」

時間：09：00～行事終了時間

### 4. 休憩室

場所：アステールプラザ4階 美術工作室、工作実習室

アステールプラザ2階 大ホールホワイエ、中ホールホワイエ

文化交流会館2階 ロビー

国際会議場 B1 階 ポスター会場

時間：09：00～行事終了時間

## 5. 学会賞授賞式・会務報告会

日時：大会2日目（3月26日・日）17：45-18：15

会場：アステールプラザ大ホール

※多くの会員の出席をお願いいたします。

## 6. 懇親会

日時：大会2日目（3月26日・日）18：30-20：30

場所：文化交流会館3階「銀河2」

※当日参加も受け付けます。

ただし、定員に達しました場合、当日参加を受け付けできない場合がございます。

## 7. 機器・図書の展示・販売

場所：国際会議場B1階 ポスター会場

日時：大会1日目・2日目は10：00-18：00、大会3日目は10：00-15：00

## 8. 託児室

大会期間中、託児業者に委託して下記の要項で託児室を開設いたします。

ご利用を希望される方は、大会Webサイトの案内をご覧ください。

### (1) 託児時間

	午前	午後①	午後②
大会1日目（3月25日・土）	09：00-12：30	12：30-15：30	15：00-18：00
大会2日目（3月26日・日）	09：00-12：30	12：30-15：30	15：00-18：30
大会3日目（3月27日・月）	09：00-12：30	12：30-15：30	

(2) 託児対象児の年齢：生後6か月～小学校児童まで

(3) 費用：午前、午後①、午後②の各利用時間につき1,000円（保険代込）

(4) 委託業者：株式会社くうねあ

(5) 定員：1枠につき、先着15名程度

(6) ご持参いただくもの：大会Webサイトをご覧ください。

(7) お問い合わせ先：大会Webサイトをご覧ください。

## 9. その他

### インターネット

国際会議場および文化交流会館には、フリーで利用できるネットワークがございます。

パスワードは会場にてお知らせいたします。

### 昼食

大会期間中のお弁当の取り扱いはしておりません。

### 掲示板

受付付近に、会員連絡用掲示板を設置します。ご自由にお使いください。

## 喫煙場所

建物内は、いずれも禁煙となっております。指定の屋外喫煙所をご利用ください。

## 10. お問い合わせ

### 会場や大会全般に関すること

- ➔ 第 28 回大会総合窓口へ  
jsdp2017@hiroshima-u.ac.jp

### 参加・発表申込みや費用納入に関すること

- ➔ 日本発達心理学会会員管理事務局・大会サポートデスクへ  
g032jsdp-mng@ml.gakkai.ne.jp

### 大会期間中

- ➔ 大会本部へ  
アステールプラザ 1 階 市民ギャラリー 受付の奥
- ➔ または日本発達心理学会事務局窓口へ  
入会案内、年会費、住所・所属変更などに関するご質問・手続き等  
アステールプラザ 1 階 市民ギャラリー

## 会員企画・ポスター発表の発表者へのご案内

### 1. 自主シンポジウム

- ・場所：文化交流会館

いずれも、50-100名程度収容可能な部屋です。

- ・会場係：各部屋に1-2名

- ・設備

液晶プロジェクター（D-sub15ピン アナログVGA接続）とスクリーンを用意します。HDMIケーブルや、Macの接続に必要なケーブルは、ご持参ください。

パソコンは用意していません。企画者が責任を持って用意してください。

機器の調整は必ず事前をお願いします。

※コピー機使用およびスタッフによるコピー代行はできません。

※資料、お水等が必要な場合には、企画者自身で事前にご用意ください。

### 2. ラウンドテーブル

- ・場所：アステールプラザ4階・5階、文化交流会館3階

いずれも、50名程度収容可能な部屋です。

- ・会場係：同階に数名

- ・設備

液晶プロジェクター（D-sub15ピン アナログVGA接続）とスクリーンを用意します。HDMIケーブルや、Macの接続に必要なケーブルは、ご持参ください。

パソコンは用意していません。企画者が責任を持って用意してください。

機器の調整は必ず事前をお願いします。

※コピー機使用およびスタッフによるコピー代行はできません。

※資料、お水等が必要な場合には、企画者自身で事前にご用意ください。

### 3. ポスター発表

- ・場所：国際会議場 B1 階

※割り当てられた時間中にポスターを掲示し、かつ在席責任時間の間、質疑に応じることで、正式発表とみなされます。在席責任時間中に欠席確認を行います。

#### 発表受付

- ・ポスター発表会場で受付を行ってください。発表者用リボンをお渡しします。

#### ポスター掲示要領

- ・パネルの大きさは、横90cm×縦210cmです。

- ・セッション15分前までに、ポスターを自分の発表番号が付いたパネルに掲示してください。

- ・ポスターの最上部には、題目、氏名、所属を明示してください。

- ・文字の大きさは特に指定しませんが、ポスターから離れた位置（約2m）でも読める大きさを目安にしてください。

## ポスターセッションの時間

大会 1 日目 (3 月 25 日・土)	P1	10:00-12:00
	P2	13:00-15:00
	P3	15:30-17:30
大会 2 日目 (3 月 26 日・日)	P4	10:00-12:00
	P5	13:00-15:00
	P6	15:30-17:30
大会 3 日目 (3 月 27 日・月)	P7	10:00-12:00
	P8	13:00-15:00

## 在席責任時間

- ・ 奇数番号 前半 1 時間のうち、はじめの 50 分
- ・ 偶数番号 後半 1 時間のうち、はじめの 50 分

## 発表後

- ・ 発表者用りボンを受付にお返しください。
- ・ ポスターはセッション終了後直ちに撤去してください。セッション終了後 20 分を過ぎても撤去されない場合には大会委員会スタッフが撤去することがあります。

## 臨床発達心理士資格関連ご案内

日本発達心理学会第28回大会にて下記のように資格説明会・相談会を開催いたします。関係各位の皆様のご参加をお待ちしております。

### 1. 大学院教職員を対象とした臨床発達心理士資格 説明会

対象：大学院教職員

日時：2017年3月25日（土）12：15～12：45

会場：JMS アステールプラザ 大ホール

内容：大学院生のための臨床実習の持ち方、大学院シラバス指定科目単位認定、資格に必要な講義科目、スーパーバイザーの役割など

\* 資格説明会のみにご参加の方は大会参加費は不要です。大会受付の必要はありません。  
そのまま説明会会場にお入りください。

### 2. 臨床発達心理士資格取得希望者のための個別相談会

臨床発達心理士の資格等に関する質問を受け付けます。

日時：2017年3月27日（月）12：15～13：30

会場：広島市文化交流会館 プロヴァンス

\* 発達心理学会大会参加費を支払い、大会受付を済ませてから会場に来てください。

#### 連絡先：

資格説明会・相談会に関する問い合わせ：一般社団法人 臨床発達心理士認定運営機構

〒160-0023 新宿区西新宿 6-20-12 山口ビル 8F

FAX：03-6304-5705

e-mail：shikaku@jocdp.jp ホームページ：http://www.jocdp.jp/

お問い合わせはファックスまたは e-mail で受け付けます。

#### ・臨床発達心理士の資格取得を目指される方へ

「臨床発達心理士資格申請ガイド2016年度版」にて詳細をご覧ください。

HP (<http://www.jocdp.jp/>) からダウンロードできます。

2017年度版の認定申請ガイドの発行・販売は2017年2月頃を予定しています。

**2017年度より、資格申請制度が新しくなります。ただし、3年間の移行期間を設けますので、旧制度での申請も可能です。詳しくは、ホームページをご覧ください。**

#### ・臨床発達心理士資格についてもっと知りたい方へ

大会期間中に大学院指導担当者向けの説明会を開催します。個人的な相談ができる相談会も設けています。プログラムで御確認下さい。その他にもHPや「臨床発達心理士 わかりやすい資格案内 [第2版] (金子書房)」でもこの資格について理解を深めることができます。

\*大会時の資格説明会・個別相談会に関する問い合わせは、大会主催校には行なわないで下さい。

## 臨床発達心理士資格更新研修会のお知らせ

(日本発達心理学会第 28 回大会時研修会)

別表に記されたプログラムが、資格更新ポイントの対象となります。これらの研修会参加の事前予約は不要です。当日、日本発達心理学会第 28 回大会会場へ直接おいでいただき、大会参加受付を済ませてから、研修会の各会場へお入りください。

ポイント取得手順を遵守してください。

1. 大会参加受付：第 28 回大会参加受付
2. 研修会会場受付：研修会場にて受付します。研修受付にて ID カードを提示し、受付表に必要事項を記入した上で、ポイント票を添付して「資格更新研修会参加記録ノート」を提出してください。ノートは研修会終了後に返却しますので、必ずご自身のノートを受け取ってお帰りください。

\*受講印は、該当の研修会終了後は発行しません。

\*会場に入りきれない時は研修を受けられないことがあります。

以下は更新ポイントの対象にはなりませんのでご注意ください。

1. 記録ノートを持参しない場合
2. 記録ノートに写真貼付がなく、ID カードも持参せず、本人確認ができない場合
3. 受付時間帯に受付をしない場合（遅刻、受付し忘れたなど）

大会時の資格研修ポイントに関する問い合わせは、大会主催校には行なわないでください。

### 研修内容一覧

タイトル	主催	開催日	時間	ポイント
これからの臨床発達支援の独自性と専門性	臨床発達心理士認定運営機構	3月25日(土)	10:00-12:00	0.5
災害後の子ども支援 ～必要な対応と課題～	日本臨床発達心理士会	3月25日(土)	15:30-17:30	0.5
東日本大震災後の継続的な心の支援 の必要性について4 ～被災地の子どもとその支援者への 長期的な支援方略の構築を目指して～	日本臨床発達心理士会	3月26日(日)	13:00-15:00	0.5
公認心理師法成立後における発達心理 学の専門性2	日本発達心理学会・臨床発達心理 士認定運営機構共催	3月26日(日)	15:30-17:30	0.5

臨床発達心理士認定運営機構・日本臨床発達心理士会主催シンポジウムに関する問い合わせ：

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 6-20-12 山口ビル 8F

FAX：03-6304-5705

E-mail：shikaku@jocdp.jp ホームページ <http://www.jocdp.jp/>

お問い合わせはファックスまたは E-mail で受け付けます

# 講演・シンポジウム等

## 目次

基調講演 (KL) .....	(20)
招待講演 (IL) .....	(20)
大会委員会企画シンポジウム (AS) .....	(21)
日本発達心理学会企画シンポジウム (BS) .....	(23)
日本発達心理学会・他学会等共催シンポジウム (CS) .....	(24)
関連団体企画シンポジウム (DS) .....	(25)
日本発達心理学会学会賞 (論文賞) 受賞者小講演 (SL) .....	(26)
チュートリアル・セミナー (TS) .....	(26)
会員企画 自主シンポジウム (SS) .....	(28)
会員企画 ラウンドテーブル (RT) .....	(36)

※氏名の後の#は、会員でない方を示します。

## 基調講演

KL1 3月26日(日) 13:00~15:00 .....A1大ホール

---

### 21世紀のアイデンティティと世代継承性

企画：日本発達心理学会第28回大会委員会

司会：杉村 和美（広島大学大学院教育学研究科）

基調講演者：岡本 祐子（広島大学大学院教育学研究科）

基調講演者：やまだ ようこ（立命館大学衣笠総合研究機構）

指定討論者：M. Gerard Fromm #（Austen Riggs Center）

指定討論者：中間 玲子（兵庫教育大学大学院学校教育研究科）

## 招待講演

IL1 3月25日(土) 15:30~17:30 .....A1大ホール

---

### 自閉症を持つ人は心を読むことができるか？

企画：日本発達心理学会国際研究交流委員会

講演者：Peter Mitchell #（ノッティンガム大学）

通訳：米田 英嗣（京都大学）

司会：常深 浩平（いわき短期大学）

IL2 3月26日(日) 9:30~12:00 .....A1大ホール

---

### ライフサイクルの「はめば歯車」とトラウマの世代継承 —エリクソンの人生と仕事の省察—

企画：日本発達心理学会第28回大会委員会

司会：岡本 祐子（広島大学大学院教育学研究科）

講演者：M. Gerard Fromm #（Austen Riggs Center）

指定討論者：鏞 幹八郎 #（広島大学）

通訳：松本 寿弥 #（京都文教大学臨床心理学部）

# 大会委員会企画シンポジウム

AS1 3月25日(土) 13:00~15:00……………A3多目的スタジオ

---

## 虐待予防に発達心理学ができることは何か？

企画：日本発達心理学会第28回大会委員会

企画：広島大学大学院教育学研究科附属幼年教育研究施設

司会：七木田 敦（広島大学）

司会：清水 寿代（広島大学）

話題提供者：酒井 珠江 #

（大竹市健康福祉部福祉課児童係/大竹市家庭児童相談室）

話題提供者：小西 央郎 #

（独立行政法人労働者健康安全機構中国労災病院）

話題提供者：安芸戦士メープルカイザー #

（広島県公認ご当地ヒーロー）

指定討論者：才村 純 #（関西学院大学）

AS2 3月25日(土) 15:30~17:30……………A3多目的スタジオ

---

## 日本人青年のアイデンティティ発達はどこまで明らかになったか

企画：日本発達心理学会第28回大会委員会

司会：杉村 和美（広島大学大学院教育学研究科）

話題提供者：溝上 慎一（京都大学高等教育研究開発推進センター）

話題提供者：畑野 快（大阪府立大学高等教育開発センター）

話題提供者：松島 公望（東京大学大学院総合文化研究科）

指定討論者：川本 哲也

（日本学術振興会特別研究員・慶応義塾大学文学部）

## 認知発達研究における理論の役割を考える

企画：日本発達心理学会第28回大会委員会

企画：日本発達心理学会認知発達理論分科会

司会：杉村 伸一郎（広島大学大学院教育学研究科）

話題提供者：中垣 啓（早稲田大学教育学研究科）

話題提供者：加藤 義信（名古屋芸術大学人間発達学部）

話題提供者：月本 洋（東京電機大学工学部）

話題提供者：乾 敏郎（追手門学院大学心理学部）

指定討論者：落合 正行（前追手門学院大学学長）

指定討論者：小島 康次（北海学園大学経営学部）

## ダイバーシティを考える

### —研究と実践の可能性—

企画：日本発達心理学会第28回大会委員会

企画：広島大学ダイバーシティ研究センター

司会・指定討論者：森永 康子（広島大学大学院教育学研究科）

話題提供者：坂田 桐子#

（広島大学ダイバーシティ研究センター長・大学院総合科学研究科）

話題提供者：河口 和也#（広島修道大学人文学部）

話題提供者：高松 里#（九州大学留学生センター）

話題提供者：北梶 陽子#（広島大学ダイバーシティ研究センター）

## 歴史的トラウマの記憶と継承

### —戦争体験は次世代にどのように受け継がれたのか？—

企画：日本発達心理学会第28回大会委員会

司会・話題提供者：上手 由香（広島大学大学院教育学研究科）

話題提供者：磯野 沙月（上智大学大学院総合人間科学研究科）

話題提供者：岡本 貞雄#（広島経済大学経済学部）

指定討論者：森岡 正芳（立命館大学大学院応用人間科学研究科）

## ワーキングメモリ理論から発達障害へのアプローチの進展

企画：日本発達心理学会 28 回大会委員会  
司会：森田 愛子（広島大学大学院教育学研究科）  
話題提供者：齊藤 智#（京都大学大学院教育学研究科）  
話題提供者：森口 佑介（京都大学大学院教育学研究科）  
話題提供者：湯澤 正通（広島大学大学院教育学研究科）  
話題提供者：河村 暁#（発達ルームそら）  
指定討論者：別府 哲（岐阜大学教育学部）

## 日本発達心理学会企画シンポジウム

## 日本発達心理学会からの海外情報発信 —英書刊行をステップに飛躍を—

企画：日本発達心理学会出版企画委員会  
企画：尾崎 康子（相模女子大学人間社会学部）  
司会：岩立 志津夫（日本女子大学人間社会学部）  
話題提供者：子安 増生（甲南大学文学部）  
話題提供者：根ヶ山 光一（早稲田大学人間科学学術院）  
話題提供者：森口 佑介（京都大学大学院教育学研究科）  
指定討論者：仲 真紀子（北海道大学大学院文学研究科）

## いま、あらためて「日本発・発達心理学」の可能性を探る

企画：日本発達心理学会国内研究交流委員会  
司会：半澤 礼之（北海道教育大学教育学部釧路校）  
司会：松本 博雄（香川大学教育学部）  
話題提供者：赤木 和重（神戸大学発達科学部）  
話題提供者：畑野 快（大阪府立大学高等教育推進機構）  
指定討論者：加藤 弘通（北海道大学大学院教育学研究院）  
指定討論者：加藤 義信（名古屋芸術大学人間発達学部）

## 発達心理学を日本から発信する —若手研究者の挑戦—

企画：日本発達心理学会発達心理学研究編集委員会

司会：木村 美奈子（名古屋芸術大学デザイン学部）

司会：実藤 和佳子（九州大学大学院人間環境学研究院）

話題提供者：鹿子木 康弘

（NTTコミュニケーション科学基礎研究所日本学術振興会）

話題提供者：溝川 藍（椋山女学園大学人間関係学部）

話題提供者：高岸 治人#（玉川大学脳科学研究所）

話題提供者：吉川 雄一郎#

（大阪大学 JST ERATO 石黒共生ヒューマンロボット  
インタラクティブプロジェクト）

指定討論者：内藤 美加（上越教育大学大学院学校教育研究科）

## 日本発達心理学会・他学会等共催シンポジウム

### 公認心理師法成立後における発達心理学の専門性 2

企画：日本発達心理学会・臨床発達心理士認定運営機構

司会：本郷 一夫（東北大学教育学研究科）

話題提供者：子安 増生（甲南大学人文科学研究科）

話題提供者：秦野 悦子（白百合女子大学文学部）

話題提供者：藤崎 真知代（明治学院大学心理学部）

### 乳児保育の質向上を目指して

企画：日本発達心理学会・日本保育学会・日本乳幼児教育学会

企画・司会：大豆生田 啓友#（玉川大学大学院教育学研究科）

話題提供者：遠藤 利彦（東京大学大学院教育学研究科）

話題提供者：北野 幸子#（神戸大学大学院人間発達環境学研究科）

話題提供者：妹尾 正教#（仁慈保幼園）

指定討論者：佐伯 胖（田園調布学園大学大学院人間学研究科）

## 発達心理学と生涯発達心理学の断絶を超えて —質的心理学は何ができるか?—

企画：日本発達心理学会・日本質的心理学会  
企画・話題提供者：やまだ ようこ（立命館大学衣笠総合研究機構）  
企画・話題提供者：サトウ タツヤ（立命館大学総合心理学部）  
司会・指定討論者：能智 正博（東京大学大学院教育学研究科）  
話題提供者：長崎 勤（実践女子大学生生活科学部）  
指定討論者：杉村 伸一郎（広島大学大学院教育学研究科）

## 関連団体企画シンポジウム

### これからの臨床発達支援の独自性と専門性

企画：一般社団法人 臨床発達心理士認定運営機構  
司会：西本 絹子（明星大学教育学部）  
話題提供者：麻生 武（奈良女子大学）  
話題提供者：伊藤 英夫（文京学院大学人間学部・人間学研究科）  
話題提供者：秦野 悦子（白百合女子大学人間総合学部）

### 災害後の子ども支援 —必要な対応と課題—

企画：日本臨床発達心理士会  
司会・話題提供者：金谷 京子（聖学院大学）  
話題提供者：山瀬 道代#（西合志第一小学校）  
話題提供者：米澤 好史（和歌山大学）  
話題提供者：本郷 一夫（東北大学）  
指定討論者：星 茂行（葛飾区教育委員会）  
指定討論者：足立 智昭（宮城学院女子大学）

東日本大震災後の継続的な心の支援の必要性について 4  
—被災地の子どもとその支援者への長期的な支援方略の構築を目指して—

企画：日本臨床発達心理士会  
司会・話題提供者：平野 幹雄（東北文化学園大学）  
話題提供者：足立 智昭（宮城学院女子大学）  
話題提供者：坂本 佳代子（聖学院大学）  
指定討論者：請川 滋大（日本女子大学）  
指定討論者：中西 由里（椋山女学園大学）  
指定討論者：佐竹 真次（山形県立保健医療大学）

## 日本発達心理学会学会賞（論文賞）受賞者小講演

動詞の語尾レパートリーの広がりから見えてくること  
—幼児期の語尾形態素の獲得に順序性はあるのか、母親からの言語的入力に関連性はあるのか—

企画：日本発達心理学会  
司会：岩立 志津夫（日本女子大学人間社会学部）  
講演者：大伴 潔（東京学芸大学教育実践研究支援センター）

## チュートリアル・セミナー

ワーキングメモリ理論と発達障害児等の学習支援

企画：日本発達心理学会第28回大会委員会  
講師：湯澤 正通（広島大学大学院教育学研究科）

## M-GTA の要点

— 【研究する人間】の重視から結果図・ストーリーラインの作成まで—

企画：日本発達心理学会第28回大会委員会

講師：山崎 浩司# (信州大学)

# 会員企画 自主シンポジウム

SS1-1 3月25日(土) 10:00~12:00 ..... B2 ルミエール

---

## 「書く」ことへの合理的配慮 —行動を基盤にした評価と支援—

企画・司会・話題提供者：大森 幹真（昭和女子大学）  
話題提供者：平林 ルミ#（東京大学）  
話題提供者：杉原 聡子#（関西学院大学）  
話題提供者：野田 航（大阪教育大学）  
指定討論者：竹内 康二#（明星大学）

SS1-2 3月25日(土) 10:00~12:00 ..... B3 十字星

---

## 現代社会と青年の将来 —アイデンティティと世代継承性のゆくえ—

企画・司会・話題提供者：大野 久（立教大学）  
話題提供者：溝上 慎一（京都大学）  
話題提供者：三好 昭子（帝京大学短期大学）  
指定討論者：若松 養亮（滋賀大学）

SS1-3 3月25日(土) 10:00~12:00 ..... B4 銀河1

---

## 子どもの多様性に寄り添うには —保育巡回相談の経験から—

企画・話題提供者：金谷 京子（聖学院大学）  
司会：澤江 幸則（筑波大学）  
話題提供者：根岸 由紀（植竹幼稚園）  
話題提供者：山川 玲子（文京区子ども家庭支援センター）  
話題提供者：増田 貴人（弘前大学）  
指定討論者：本郷 一夫（東北大学）

人生構築理論(白井、2011)の検討  
—心理学は意味世界にどう接近するか—

企画: 日本心理学会批判心理学研究会

企画: 五十嵐 靖博(山野美容芸術短期大学)

話題提供者: 白井 利明(大阪教育大学)

指定討論者: 百合草 禎二(常葉大学)

指定討論者: いとう たけひこ(和光大学)

指定討論者: 小島 康次(北海学園大学)

司会: 伊田 勝憲(静岡大学)

発達心理学と臨床心理学をつなぐ  
—心理臨床の最前線から—

企画・司会・指定討論者: 杉山 崇(神奈川大学)

企画・話題提供者: 塚原 拓馬(実践女子大学)

話題提供者: 麻生 典子(神奈川大学)

企画・話題提供者: 五味 美奈子(浦和大学)

話題提供者: 古屋 喜美代(神奈川大学)

死生に向き合う際、他者との関係は生の糧となるか、それとも重荷となるか  
—死生心理学の展開(2)—

企画・話題提供者: 川島 大輔(中京大学)

企画・司会: 近藤 恵(大阪医科大学)

話題提供者: 田中 美帆(神戸大学大学院)

話題提供者: 渡邊 照美(佛教大学)

指定討論者: やまだ ようこ(立命館大学)

指定討論者: 川野 健治(立命館大学)

## 自閉症の社会性支援における行動論と発達論の歩み寄り

司会：黒田 美保（名古屋学芸大学）  
話題提供者：近藤 清美（帝京大学）  
話題提供者：松崎 敦子（慶應義塾大学）  
指定討論者：秦野 悦子（白百合女子大学）

## 男性の養育と家族との関係性

企画・話題提供者：数井 みゆき（茨城大学）  
司会：北川 恵（甲南大学）  
話題提供者：小田切 紀子（東京国際大学）  
話題提供者：森田 展彰（筑波大学）  
指定討論者：遠藤 利彦（東京大学）  
指定討論者：北島 歩美（日本女子大学）

## つながりをつくる高齢者支援の社会実践 —高齢期の発達を支えるパラダイムシフトの挑戦—

企画・司会：日下 菜穂子（同志社女子大学現代社会部）  
話題提供者：橋本 光平#（同志社大学大学院心理学研究科）  
話題提供者：石川 眞理子#（立命館大学人間科学研究所）  
話題提供者：下村 篤子#（医療法人岡谷会）  
指定討論者：成本 迅#（京都府立医科大学大学院医学研究科）  
指定討論者：土田 宣明（立命館大学総合心理学部）  
話題提供者：藤岡 淳子#（大阪大学人間科学研究科）

## ヴィゴツキーの方法論について

企画・話題提供者：百合草 禎二（常葉大学）  
司会：伊田 勝憲（静岡大学）  
話題提供者：岡花 祈一郎（福岡女学院大学）  
話題提供者：山住 勝広（関西大学）

### 幼児期の推論発達の諸側面

企画・話題提供者：高平 小百合 (玉川大学)  
司会・話題提供者：乾 敏郎 (追手門学院大学)  
話題提供者：野田 満 (江戸川大学)  
話題提供者：日高 昇平 # (北陸先端科学技術大学院大学)  
話題提供者：落合 洋子 # (江戸川大学)

### アイトラッカーを使った研究は実践にどのように貢献できるか

企画・話題提供者：財部 盛久 (南九州大学)  
司会：柿沼 美紀 (日本獣医生命科学大学)  
話題提供者：野瀬 出 # (日本獣医生命科学大学)  
話題提供者：上地 亜矢子  
(医療法人愛燦会発達神経クリニックプロップ)  
指定討論者：上村 佳世子 (文京学院大学)

### ASD 児の早期発見の地域実装とコミュニティ・ベースの早期療育の試み

#### —M-CHAT と JASPER プログラム—

企画・司会：三宅 篤子 (国立精神・神経医療研究センター)  
話題提供者：黒田 美保 (福島大学)  
話題提供者：神尾 陽子 #  
(国立精神神経医療研究センター精神保健研究所)  
指定討論者：萩原 拓 (北海道教育大学)

### ユビキタス化する食

#### —青年の食写真からみえるもの—

企画・司会・話題提供者：外山 紀子 (早稲田大学)  
企画・話題提供者：長谷川 智子 (大正大学)  
話題提供者：佐藤 康一郎 # (専修大学)  
指定討論者：今田 純雄 # (広島修道大学)

社会性の発達に困難を抱える子どもの早期発見と早期支援  
—乳幼児健診における M-CHAT 項目を活用したアセスメントと  
支援ツールの有効性—

企画・司会：別府 悦子（中部学院大学）  
話題提供者：北川 小有里#（岐阜県本巣市健康福祉部健康増進課）  
話題提供者：宮本 正一#（中部学院大学）  
話題提供者：別府 哲（岐阜大学）  
指定討論者：神尾 陽子#（国立精神・神経医療研究センター）

自閉スペクトラム症児の社会コミュニケーション領域の発達支援  
と PECS

企画・話題提供者：金澤 忠博（大阪大学）  
企画・司会・話題提供者：永井 祐也（大阪大学大学院）  
話題提供者：西山 剛司（京都府立南山城支援学校）  
指定討論者：藤野 博（東京学芸大学）

追悼；Bruner, J., S. が探した「心」は何だったのか？  
—共同注意、フォーマット、ナラティブの「発見」と支援を通して—

企画・司会：長崎 勤（実践女子大学）  
企画・話題提供者：吉井 勘人（山梨大学）  
話題提供者：板倉 達哉（文京学院大学・筑波大学大学院）  
話題提供者：仲野 真史（東京学芸大学附属特別支援学校）  
指定討論者：田島 信元（白百合女子大学）

## 青年に青年心理学を教えることの意義と課題 —青年心理学の新展開(11)—

企画・司会・話題提供者：高坂 康雅（和光大学）  
話題提供者：三好 昭子（帝京大学短期大学）  
話題提供者：池田 幸恭（学校法人和洋学園和洋女子大学）  
指定討論者：平石 賢二（名古屋大学）  
指定討論者：白井 利明（大阪教育大学）

## Autism Spectrum Disorder の思春期から青年期における支援 —障害特性、性差、発達段階を考慮した支援の在り方—

企画・司会・話題提供者：西尾 祐美子（神戸大学大学院）  
話題提供者：式部 陽子#  
（奈良教育大学特別支援教育研究センター・神戸大学大学院）  
話題提供者：鳥居 深雪（神戸大学大学院）  
指定討論者：森岡 正芳（立命館大学）

## 子どもの痛み表現の社会的構成

企画・司会・話題提供者：中島 伸子（新潟大学）  
企画・話題提供者：外山 紀子（早稲田大学）  
話題提供者：向井 隆久（別府大学短期大学部）  
話題提供者：亀崎 路子#（杏林大学）  
指定討論者：木内 妙子#（東京工科大学）

## なぜ「共に生きるかたち」にこだわり続けるのか？ —「記述」が伝えること：引き受けて生きる人間の物語と「この今」の現実を生き抜く道筋—

企画・司会：工藤 芳幸（大阪保健医療大学）  
企画・指定討論者：石川 由美子（宇都宮大学）  
話題提供者：浜田 寿美男#（奈良女子大学名誉教授）  
話題提供者：若倉 健#（社会福祉法人桜花）

## 情動知性再考

### —全人的視座からみる情(へ)の知性—

企画・司会・話題提供者：石井 佑可子 (藤女子大学)  
企画・指定討論者：遠藤 利彦 (東京大学)  
話題提供者：河本 愛子 (東京大学)  
話題提供者：榊原 良太 (鹿児島大学)  
話題提供者：高橋 翠 (東京大学)

## 自閉スペクトラム症の社会性支援

### —理論的背景に基づいた2つの実践から支援を振り返る—

企画：発達障害分科会  
企画・話題提供者：亀田 良一 (みなかみ町立桃野小学校)  
司会：吉井 勘人 (山梨大学)  
話題提供者：野本 有紀 (千葉県つくし特別支援学校)  
話題提供者：松館 敬太# (筑波大学附属久里浜特別支援学校)  
指定討論者：別府 哲 (岐阜大学大学院教育学研究科)

## 遊びを囲む壁を越えて

### —遊び研究再考/再興—

企画・司会：松嵜 洋子 (千葉大学)  
企画・話題提供者：砂上 史子 (千葉大学)  
話題提供者：中野 茂 (札幌国際大学)  
話題提供者：岩田 美保 (千葉大学)  
指定討論者：島田 将喜 (帝京科学大学)

## 「アイデンティティ」の魅力を再考する(その3) —幼少期の自己の発達とアイデンティティー—

企画・話題提供者: 谷 冬彦 (神戸大学)  
企画・司会: 宮下 一博 (千葉大学)  
企画: 大倉 得史 (京都大学)  
話題提供者: 稲垣 実果 (京都聖母女学院短期大学)  
話題提供者: 中谷 陽輔 (同志社大学)  
指定討論者: 岡田 努 (金沢大学)  
指定討論者: 上地 雄一郎 (岡山大学)

## 自閉症スペクトラム特性をもつ子どもの保育を考える —生涯にわたる Well-being の礎となる乳幼児期の発達保障のあり方とは—

企画・話題提供者: 高橋 翠 (東京大学)  
司会・指定討論者: 遠藤 利彦 (東京大学)  
話題提供者: 三隅 輝見子 (川崎市南部地域療育センター)  
話題提供者: 淀川 裕美 (東京大学大学院)  
話題提供者: 野澤 祥子 (東京大学)  
話題提供者: 関 智弘# (東京大学)  
話題提供者: 小西 行郎 (同志社大学)  
指定討論者: 萩原 拓 (北海道教育大学)

# 会員企画 ラウンドテーブル

RT1-1 3月25日(土) 10:00~12:00…………… A4 大会議室 1

---

## 自閉症の子どもの子育てに「家族の流儀」はどのように影響するのか(3)

企画・司会：青山 新吾（ノートルダム清心女子大学）  
企画・指定討論者：久保山 茂樹（国立特別支援教育総合研究所）  
話題提供者：沼田 あや子（首都大学東京大学院人文学研究科）  
話題提供者：勝浦 眞仁（桜花学園大学）  
指定討論者：市川 奈緒子（白梅学園大学）

RT1-2 3月25日(土) 10:00~12:00…………… A5 大会議室 2

---

## 保育士のワーク・ライフ・バランスを考える —仕事の悩み、家庭生活との両立、ジェンダー意識…保育士調査等から—

企画・話題提供者：草野 いづみ（帝京大学）  
話題提供者：林 朋子（臨床発達心理士）  
話題提供者：三國 隆子（東京立正短期大学）  
指定討論者：横山 順#（元帝京大学）

RT1-3 3月25日(土) 10:00~12:00…………… A6 中会議室

---

## 障害児・者のきょうだい支援の必要性

企画：諏方 智広（横浜市立汲沢中学校）  
話題提供者：上村 怜香（NPO）くらしき教育発達研究所さいころ）  
話題提供者：笠田 舞（東京大学）

RT1-4 3月25日(土) 10:00~12:00…………… A7 大音楽室

---

## 青年期の親子関係における親の発達的変容

企画・話題提供者：平石 賢二（名古屋大学）  
司会：渡邊 賢二（皇學館大学）  
話題提供者：齊藤 誠一（神戸大学）  
話題提供者：池田 幸恭（学校法人和洋学園和洋女子大学）

## 実践を語ることへの理解性

### —保育者の行為をいかに表するかということをめぐる—

- 企画・話題提供者：本山 方子（奈良女子大学）  
企画・話題提供者：東村 知子（京都教育大学）  
話題提供者：菅野 幸恵（青山学院女子短期大学）  
指定討論者：若山 育代（富山大学）

## 生涯発達における発達理解と発達支援

### —感情の系と認識の系の交互発展的理解の必然性—

- 企画・司会：金田 利子（東京国際福祉専門学校）  
企画・指定討論者：岡花 祈一郎（福岡女学院大学）  
話題提供者：飯塚 あい#（東京都健康長寿医療センター研究所）  
指定討論者：木下 孝司（神戸大学）

## 保育者の成長と他者

### —TEA（複線径路等至性アプローチ）で読み解く他者とのかわりが生み出す新たな発達のゾーン—

- 企画：香曾我部 琢（宮城教育大学）  
ファシリテーター：境 愛一郎（宮城学院女子大学）  
ファシリテーター：上村 晶（桜花学園大学）  
ファシリテーター：小川 晶（植草学園大学）  
指定討論者：サトウ タツヤ（立命館大学）

## 記憶の声を継承すること・現在を新たなものに変えること

### —沖縄と神戸の記憶をめぐる拡張的学習の社会的実践現場から—

- 企画・司会：山住 勝広（関西大学）  
話題提供者：上間 かな恵#（佐喜真美術館）  
話題提供者：山住 勝利#（特定非営利活動法人ふたば）

子どもの声は「騒音」なのか  
—保育所から近隣への音声伝搬特性と保育室空間が乳幼児の聴力  
に及ぼす影響—

企画：志村 洋子（埼玉大学）  
企画・司会：高野 裕治#（同志社大学赤ちゃん学研究センター）  
話題提供者：木谷 俊介#（北陸大学）  
話題提供者：嶋田 容子（同志社大学赤ちゃん学研究センター）  
話題提供者：石川 眞佐江#（静岡大学）  
指定討論者：小西 行郎（同志社大学赤ちゃん学研究センター）

ともだち再考  
—定義、発達、意味に着目して—

企画・話題提供者：保坂 裕子（兵庫県立大学環境人間学部）  
企画・司会・話題提供者：家島 明彦（大阪大学）  
話題提供者：本田 周二#（大妻女子大学）  
指定討論者：岡田 努（金沢大学）

現在の発達障害児・者支援における発達アセスメントの役割と課題  
—新版K式発達検査改訂版の作成をめぐる—

企画・ファシリテーター：大谷 多加志（神戸学院大学大学院）  
話題提供者：小淵 隆司（北海道教育大学）  
話題提供者：原口 喜充#（大阪大学大学院）

ライフコースの多様化とパートナーシップのゆくえ  
—成人初期の恋愛および結婚をめぐる動向を中心に—

企画・司会・話題提供者：宇都宮 博（立命館大学）  
話題提供者：高坂 康雅（和光大学）  
話題提供者：筒井 淳也#（立命館大学）  
指定討論者：森永 康子（広島大学）

## 多様な道德の育成 —プログラムの活用—

企画：藤澤 文（鎌倉女子大学）  
企画・話題提供者・ファシリテーター：渡辺 弥生（法政大学）  
話題提供者：小野間 正巳（関西福祉大学）  
話題提供者：藤原 誠（香川県立斯道学園）  
話題提供者：原田 恵理子（東京情報大学）

## 絵本の読み合い遊び活動の実践 —活動の構造枠組みがもたらす子どもの情動・行為的意味の育ち—

企画・話題提供者：石川 由美子（宇都宮大学）  
話題提供者・ファシリテーター：森下 俊一（聖学院大学大学院）  
話題提供者・ファシリテーター：仲野 みこ（筑波大学附属大塚特別支援学校）  
司会・ファシリテーター：仲野 真史（東京学芸大学附属特別支援学校）

## 行為発達の環境のデザイン

企画・話題提供者：野中 哲士（神戸大学）  
企画・話題提供者：細田 直哉（聖隷クリストファー大学）  
話題提供者：山崎 寛恵（東京大学）  
話題提供者：炭谷 将史（聖泉大学）

## 自閉症スペクトラムについて「見逃してきたもの」 —ASDの多様な変化をとらえ直すための「情動的視点」—

企画・話題提供者：須田 治（首都大学東京）  
話題提供者：相澤 雅文（京都教育大学）  
話題提供者：東 敦子（のぞみ発達クリニック）  
話題提供者：本郷 一夫（東北大学）

### 発達支援専門職は多職種連携をどのように学び、実践できるか

企画：森脇 愛子（東京学芸大学障がい学生支援室）  
ファシリテーター：前川 圭一郎#（足立区障がい福祉センター）  
ファシリテーター：佐藤 舞#（川崎市立中央支援学校）  
ファシリテーター：伊藤 匡#（東横恵愛病院）  
ファシリテーター：岩倉 昌子#（聖マリアンナ会東横恵愛病院）

### 教職課程の大学生の道德教育に関する基本的な考えの多様性 —道徳性、社会性、宗教等の意識概念から—

企画：野本 玲子  
（兵庫教育大学連合大学院・吹田市立青山台中学校）  
話題提供者：植田 和也#（香川大学）  
話題提供者：伊藤 裕康#（香川大学）  
指定討論者：戸田 有一（大阪教育大学）

### 教え・教わるころの起源を探る —情報伝達の発達に関する実験的考察—

企画・司会・話題提供者：孟 憲巍（九州大学）  
企画・話題提供者：中分 遥#（北海道大学）  
話題提供者：大塚 穂波（神戸大学）  
話題提供者：三宅 英典（広島大学）  
指定討論者：橋彌 和秀（九州大学）  
指定討論者：安藤 寿康（慶應義塾大学）

## 自己調節方略のライフコース(4)

### —将来の研究の展望—

- 企画・司会・指定討論者：岡林 秀樹 (明星大学)  
話題提供者：竹村 明子 (仁愛大学)  
話題提供者：松岡 弥玲 (愛知学院大学)  
話題提供者：中川 威 (University of Zurich)  
話題提供者：権藤 恭之 (大阪大学)  
話題提供者：増井 幸恵 (東京健康長寿医療センター研究所)

## キャリアの選択と形成

### —複線径路等至性アプローチを生かした生涯にわたる教育と発達支援—

- 企画・ファシリテーター：安田 裕子 (立命館大学)  
企画・ファシリテーター：サトウ タツヤ (立命館大学)  
話題提供者：番田 清美# (産業能率大学)  
話題提供者：柁木 史子 (法政大学)

## ライブ・カンファレンス 保育を支える巡回相談

- 企画：三山 岳 (愛知県立大学)  
企画：芦澤 清音 (帝京大学)  
企画：浜谷 直人 (首都大学東京)  
企画：飯野 雄大 (白梅学園大学)  
ファシリテーター：田丸 尚美 (広島都市学園大学)  
話題提供者：五十嵐 元子 (帝京短期大学)  
話題提供者：高田 智行# (大津市福祉こども部)  
話題提供者：神谷 さとみ# (「ゼノ」こぼと園)

RT5-3 3月26日(日) 13:00~15:00.....A6 中会議室

---

## オタクの心理学

### —マンガ・アニメのオタクに焦点化して—

企画・ファシリテーター：岡田 有司（東北大学）

企画・ファシリテーター：家島 明彦（大阪大学）

RT5-4 3月26日(日) 13:00~15:00.....A7 大音楽室

---

## アクティブラーニング型授業の教育効果について考える

### —大学における授業内グループ活動を話題にして—

企画・司会・話題提供者：名取 洋典（いわき明星大学）

企画：杉本 英晴（中部大学）

話題提供者：佐柳 信男（山梨英和大学）

話題提供者：佐藤 友美（中部大学）

指定討論者：中西 良文（三重大学）

RT5-5 3月26日(日) 13:00~15:00.....A8 中音楽室

---

## 発達における「不可視性」とその意義

### —可視<>不可視の緊張関係と意味構築をめぐる考察—

企画・話題提供者：小松 孝至（大阪教育大学）

企画・司会：木戸 彩恵（関西大学）

話題提供者：岡本 依子（立正大学）

話題提供者：呉 宣児（共愛学園前橋国際大学）

指定討論者：本山 方子（奈良女子大学）

RT6-1 3月26日(日) 15:30~17:30.....A4 大会議室 1

---

## 自閉スペクトラム症児のグループプレイセラピーによるメンタライジングと情緒交流の形成

企画：廣利 吉治（東海学院大学）

司会：牧野 光里（岡崎市福祉事業団）

：池山 喜之#（東海学院大学大学院）

話題提供者：堀部 幸治#（東海学院大学大学院）

話題提供者：吉澤 秀記#（東海学院大学大学院）

多機関連携臨床の意義と仮想事例による検討  
—子どもと家庭支援のための連携における困難性の分析—

企画・ファシリテーター：丸谷 充子（浦和大学）  
ファシリテーター・指定討論者：吉澤 一弥（日本女子大学）  
話題提供者：佐藤 菜穂（日本大学医学部附属板橋病院）  
話題提供者：田中 真寿美（小平市立障害者福祉センター）

難病とともに生きる子どもへの心理的支援

企画・話題提供者・ファシリテーター：佐藤 貴虎（旭川大学）  
企画・司会・ファシリテーター：越智 幸一（鎌倉女子大学）  
話題提供者：岡崎 伸#（大阪市立総合医療センター）  
話題提供者：副島 賢和#（昭和大学大学院）  
話題提供者：久保田 一男#（難病学生患者を支援する会）  
話題提供者：久保田 鈴美#（難病学生患者を支援する会）

絵本から物語への創造的展開

企画・司会・話題提供者：増山 由香里（旭川大学）  
指定討論者：佐藤 公治（北海道大学）  
話題提供者：青木 美和子（札幌国際大学）  
話題提供者：長橋 聡（京都橘大学）

「意味の行為」の研究を展望する  
—ブルーナー心理学と相互行為分析の接続可能性—

企画・司会・話題提供者：横山 草介（自由学園）  
話題提供者：牧野 遼作（国立情報学研究所）  
話題提供者：嶋口 裕基#（名城大学）

ピアジェ・ワロン・ヴィゴツキー  
—発達のパランド・セオリーは21世紀に必要か?—

企画・話題提供者: 加藤 義信 (名古屋芸術大学)

司会・話題提供者: 中村 和夫# (京都橘大学)

話題提供者: 中垣 啓 (早稲田大学)

指定討論者: 高橋 登 (大阪教育大学)

保護者支援における保育者の同僚性と感情労働

企画: 藤田 清澄 (盛岡大学)

司会: 香曾我部 琢 (宮城教育大学)

ファシリテーター: 小川 晶 (植草学園大学)

ファシリテーター: 野澤 義隆 (立正大学)

ファシリテーター: 石田 由起子# (大森子育てサロン)

指定討論者: 諏訪 きぬ (NPO 法人狭山保育サポートの会)

対人援助職をめざす青年の時間的展望  
—教職・保育・介護の視点から—

企画・司会: 半澤 礼之 (北海道教育大学)

企画: 高澤 健司 (福山市立大学)

企画: 大橋 靖史 (淑徳大学)

企画: 柏尾 眞津子 (大阪人間科学大学)

企画: 園田 直子 (久留米大学)

話題提供者: 伊田 勝憲 (静岡大学)

話題提供者: 山本 睦 (常葉大学)

話題提供者: 坂井 敬子 (静岡大学)

指定討論者: 都筑 学 (中央大学)

RT7-4 3月27日(月) 10:00~12:00.....A7大音楽室

---

### 幼児の仲間関係を支える認知的・情動的プロセス

企画・司会・話題提供者：中道 圭人（静岡大学）  
企画・話題提供者：中澤 潤（千葉大学）  
話題提供者：畠山 美穂（甲南女子大学）  
話題提供者：中道 直子（日本女子体育大学）  
指定討論者：山崎 晃（広島文化学園大学大学院）

RT7-5 3月27日(月) 10:00~12:00.....A8中音楽室

---

### 子どもの社会情動的スキルの発達 —子どもの自己と対人関係の発達に関する縦断研究—

企画・話題提供者：前川 浩子（金沢学院大学）  
司会・話題提供者：酒井 厚#（首都大学東京）  
話題提供者：眞榮城 和美（白百合女子大学）  
話題提供者：梅崎 高行（甲南女子大学）  
指定討論者：高橋 英児#（山梨大学）

RT8-1 3月27日(月) 13:00~15:00.....A5大会議室 2

---

### 子育て支援者の generativity（世代継承性）

企画・司会：諏澤 宏恵（京都光華女子大学）  
指定討論者：田島 信元（白百合女子大学）  
話題提供者：加藤 邦子（川口短期大学）  
話題提供者：村田 朱美（白百合女子大学）  
話題提供者：榊原 久子（つばさ福祉会）

## 「合う」ことの意味を考える —リズム、発達、コミュニケーションの理解に向けて—

- 企画・話題提供者：丸山 慎 (駒沢女子大学)  
企画・話題提供者：梶川 祥世 (玉川大学)  
企画：森内 秀夫 (一般財団法人ヤマハ音楽振興会)  
話題提供者：河瀬 諭# (名古屋工業大学大学院工学研究科)  
話題提供者：麦谷 綾子#  
(NTT コミュニケーション科学基礎研究所)  
指定討論者：橋彌 和秀 (九州大学大学院人間環境学研究院)  
指定討論者：今川 恭子 (聖心女子大学文学部)

## 子どもの認識発達における揺らぎの意味を探る

- 企画・司会・話題提供者：富田 昌平 (三重大学)  
企画・話題提供者：小峰 桂子 (白百合女子大学)  
話題提供者：北田 沙也加 (東京学芸大学大学院)  
指定討論者：麻生 武 (奈良女子大学)  
指定討論者：瀬野 由衣 (愛知県立大学)

# ポスターセッション

## 目次

ポスター発表 1	3月25日(土)	P1	.....	(48)
ポスター発表 2	3月25日(土)	P2	.....	(55)
ポスター発表 3	3月25日(土)	P3	.....	(62)
ポスター発表 4	3月26日(日)	P4	.....	(70)
ポスター発表 5	3月26日(日)	P5	.....	(77)
ポスター発表 6	3月26日(日)	P6	.....	(84)
ポスター発表 7	3月27日(月)	P7	.....	(91)
ポスター発表 8	3月27日(月)	P8	.....	(98)

ポスター掲示可能期間：

3月25日(土)

P1 10時00分～12時00分

P2 13時00分～15時00分

P3 15時30分～17時30分

3月26日(日)

P4 10時00分～12時00分

P5 13時00分～15時00分

P6 15時30分～17時30分

3月27日(月)

P7 10時00分～12時00分

P8 13時00分～15時00分

在席責任時間：

奇数番号 前半1時間のうちはじめの50分

偶数番号 後半1時間のうちはじめの50分

※氏名の後の#は、会員でない方を示します。

ポスター発表 1 ..... 3月25日(土) 10:00~12:00

(在席責任時間 発表番号: 奇数 10:00~10:50: 偶数 11:00~11:50)

P1-1	幼児期後期における気質の発達の検討 —縦断データを用いた分析—	関西福祉科学大学 西元 直美 武庫川女子大学子ども発達科学研究センター 山本 正顕
P1-2	「三つの願い」の意味するもの: 予備的調査研究 —大学生における価値観との関連の検討—	立命館大学 竹内 謙彰
P1-3	キャリア形成に必要な基礎的・汎用的能力(中学生版)尺度の作成	福島大学 富永 美佐子 郡山市立日和田中学校 熊坂 洋# 福島大学 今泉 理絵#
P1-4	中学生の将来志向性と関連要因	聖徳大学大学院 山上 寛子 聖徳大学 相良 順子
P1-5	いじめ場面での親密度の違いによる傍観行動の生起と罪悪感	広島修道大学 西野 泰代 東京情報大学 原田 恵理子 佐賀大学 若本 純子
P1-6	共感性と情動伝染、感覚感受性および否定的情動性との関連	聖徳大学 佐伯 素子
P1-7	学生の自己評価による心理特性に関する研究	常磐会短期大学 糠野 亜紀
P1-8	自己志向的完全主義の発達に影響を与える要因の検討 —社会的期待モデルに着目して—	広島大学大学院教育学研究科 杉山 瑞歩 広島大学大学院教育学研究科 岡本 祐子
P1-9	自己報告された青年の成長は実際の変化と関連するのか —心理的成長のターニングポイントとしての高校移行—	中央大学大学院・日本学術振興会 飯村 周平
P1-10	成人のパーソナリティ特性の変化とその個人差	慶應義塾大学 川本 哲也
P1-11	大学生における社会に対する自己効力感と社会観の関連	中央大学 峰尾 葉生子

P1-12	大学生における内的作業モデルが幸福感に及ぼす影響	帝塚山大学大学院心理科学研究科	嶺 哲也
P1-13	無常観尺度の信頼性・妥当性の検討	大阪大学 広島大学 東京大学 広島大学 広島大学	浦田 悠 杉村 和美 松島 公望 西田 若葉# 日原 尚吾
P1-14	大学生におけるネット利用と対人行動の関係 —SNS等アプリの利用状況の分析をもとに—	四国大学	下坂 剛
P1-15	大学生の主観的適応と対人場面における主張性との関連	浦和学院高等学校	中野 修
P1-16	大学生の心理的適応に関する縦断的研究(2) —交差遅延モデルによるスクリーニングテスト尺度間の相互関係の検討—	神戸学院大学 神戸学院大学 神戸学院大学 神戸学院大学 神戸学院大学 神戸学院大学	小川 翔大 竹田 剛# 寺田 衣里# 森下 雄輔# 中川 裕美# 土井 晶子# 山上 榮子#
P1-17	自閉スペクトラム症傾向が自己愛傾向、精神的健康に与える影響	信州大学学術研究院	神谷 真由美
P1-18	保育学生の保育実践を通じた自己理解と他者理解 —保育体験前の不安と保育する上での重要視事項との関係から—	白百合女子大学	目良 秋子
P1-19	親の養育態度および友人関係と自己肯定感との関連	甲南大学大学院 甲南大学	篠田 麻佳 大西 彩子
P1-20	青年期の家族内コミュニケーションの基礎的研究	お茶の水女子大学大学院	小野島 萌
P1-21	大学生の自立と親への過去の反抗経験について	岡山大学 広島大学大学院教育学研究科	青木 多寿子 平垣 朋子#
P1-22	母娘関係が成人期の娘の夫婦関係に及ぼす影響 —乳児期の子どもをもつ女性とその実母との精神的自立・依存関係との関連から—	お茶の水女子大学大学院	阿部 かほり

P1-23	アイデンティティの形成過程と時間的態度との関連 —多次元アイデンティティ発達尺度と青年時間的態度尺度を用いた横断的検討— 名古屋大学・日本学術振興会特別研究員	石井 僚
P1-24	ジェネラティビティ発達の要因に関する検討 —企業組織における主体性と共同性に着目して— 一般財団法人前川ヒトづくり財団	21 高橋 彩
P1-25	ものづくり産業における「職人的こだわり」の発達 —伝統漆器の塗り職人を対象とした探索的研究— 首都大学東京	松熊 亮
P1-26	結婚を機に改姓を行なう際に考慮される価値観 島根大学	石野 陽子
P1-27	元生活保護受給者の自立意欲に関する質的研究 —本来性と時間的展望の関係より— 東京福祉大学 東京福祉大学	石川 清子 大塚 隆寛
P1-28	「どんな順番？」課題における4～6歳児のスク립ト知識の発達過程 —ナラティブ発達評価指標に向けての基礎研究(1)— 帝京平成大学 白百合女子大学	瀬戸 淳子 秦野 悦子
P1-29	語を定義する際の記述的意味と情緒的意味の利用 —高校生を対象とした調査— 清泉女子大学	吉岡 昌紀
P1-30	作文前の出来事の4コマ描画が作文内容に及ぼす影響 東郷町立音貝小学校	檜垣 栄慈
P1-31	視聴覚による情動判断と音韻知覚の関連と発達の変化 東京女子大学・東京大学大学院 東京女子大学大学院人間科学研究科 東京女子大学	山本 寿子 河原 美彩子# 田中 章浩
P1-32	書字の判読性の高さや背景要因との関連に関する検討 東京学芸大学 東京学芸大学	鈴木 綾乃 大伴 潔
P1-33	名詞、動詞の語彙表出・語彙理解と語の心像 大阪総合保育大学 元長崎大学 神戸女学院大学	小椋 たみ子 綿巻 徹# 松尾 歩#

P1-34	幼児における発話と映像的身振りの統合的理解の過程 —各モダリティが提示されるタイミングに着目して—	広島大学 三宅 英典 広島大学 杉村 伸一郎
P1-35	0、1を含む一桁かけ算の解答過程モデルに関する発達の研究	北海学園大学 後藤 聡
P1-36	円・三角形の一筆描きにみられる描線動作の文化的特徴(2) —日・中大学生を対象とした比較文化的研究—	獨協大学 田口 雅徳
P1-37	数・文字表記システムの初期発達とその関連性 —縦断研究の分析—	京都ノートルダム女子大学 山形 恭子 京都女子大学 古池 若葉
P1-38	中国の幼児の空間参照枠の使用における実験者の位置の影響	広島大学 鄭 曉琳 広島大学 杉村 伸一郎
P1-39	「心の理論」：達成しないことにも意味がある —集団参加の時代と集団性バイアス—	福井大学 熊谷 高幸
P1-40	「臨床研究用絵画完成課題」遂行に関わる認知能力 —WAIS-IIIの関連—	昭和女子大学 松永 しのぶ 昭和女子大学 木村 あやの 昭和女子大学 松野 隆則#
P1-41	Toddlerの顔表情刺激の妥当性の検討	北翔大学 松田 久美
P1-42	サンタクロースは乳幼児期から児童前期においてどのように認識されているのか？ —学齢満1歳児から小学3年児を対象とした—調査—	早稲田大学人間科学研究科 牛久 香織
P1-43	子どもはいつから他者を「笑わせる」のか	九州女子大学 村上 太郎
P1-44	幼児の反事実的思考を促進する要因 —反事実的思考のトリガーとしてのヒトの感情への注目—	静岡大学 中道 圭人
P1-45	コントロール感の生涯発達(1) —中学生と大学生の随伴性判断—	関西学院大学大学院 堀 麻佑子 大阪大学大学院 沼田 恵太郎 関西学院大学 松田 ことの# 関西学院大学 嶋崎 恒雄#

P1-46	コントロール感の生涯発達(2) —若年者と高齢者の随伴性判断—	大阪大学大学院 沼田 惠太郎 関西学院大学大学院 堀 麻佑子 大阪大学 宮野原 勇斗# University of Zurich 中川 威 大阪大学大学院 権藤 恭之
P1-47	日本人中高生男女の自伝的記憶に関する検討	お茶の水女子大学大学院 川崎 采香 お茶の水女子大学 上原 泉
P1-48	青年期における日常的な出来事に対する自伝的推論の過程 —絵本を手掛かりにして—	神戸大学大学院 中園 佐恵子
P1-49	母親への自己呈示の目標が大学生の学業に関する課題の遂行に及ぼす影響	東亜大学 鍋田 智広
P1-50	中年期における出来事の捉えなおしの探索的検討	筑波大学人間総合科学研究科 山脇 三千代
P1-51	就学前児の歯科治療における医師の制御方略 —子どもの感情の制御—	国際基督教大学 栗山 容子 仁デンタルクリニック 永野 結香
P1-52	床面の肌理の違いによる身体接触の現れ方 —3~5歳児のじゃれつきあそびから—	常磐短期大学 村上 八千世
P1-53	極低出生体重児における就学後の発達的变化について —WISC-IIIを用いた体重差・性差の検討—	埼玉医科大学 宮本 孝子 埼玉医科大学総合医療センター 高田 栄子
P1-54	身体接触を用いた幼児の叱り方プログラムの作成 —子どものしつけに悩む母親を対象として—	神奈川大学 麻生 典子
P1-55	「諦める」プロセスにおける感情制御 —青年期後期・成人期前期における割り切り型の自由記述データから—	東京大学 浦野 由平 東京大学 菅沼 慎一郎
P1-56	音楽療法とマインドフルネス —学校カウンセリングへの応用—	茨城キリスト教大学 藤原 善美

P1-57	社会人女性と大学生における摂食障害傾向	聖心女子大学文学部 昭和大学発達障害医療研究所	向井 隆代 橋本 望#
P1-58	未来の出来事に対する予測の正確さと抑うつ傾向との関連 —抑うつリアリズムの観点から—	広島大学大学院 北海道大学大学院	村井 史香 仲 真紀子
P1-59	問題行動を呈する中学生の描画表現について —暴力、盗みの背景にあるもの—	神戸大学	吉田 圭吾
P1-60	青年期における身体症状の要因に関する研究概要と課題	就実大学大学院 就実大学	棧敷 瑞穂 下山 真衣
P1-61	青年期の男性同性愛者・両性愛者の性的目覚めから性的指向の開示に至るプロセス	広島大学大学院 広島大学	高藤 真作 岡本 祐子
P1-62	心理臨床家の専門性の初期発達に関する研究 —心理臨床家を志す大学院生を対象とした検討—	名古屋大学大学院 名古屋大学大学院・日本学術振興会 名古屋大学大学院・日本学術振興会	三谷 真優 風間 惇希 石井 僚
P1-63	司法面接に関わる多機関連携：有用性、実施状況と阻む要因 —事実確認に携わる専門家の意識—	北海道大学	仲 真紀子
P1-64	児童養護施設心理職の専門性の同定と教育・育成プログラム開発(1) —心理職の職務に対する困り感と入職後の専門教育に対するニーズと評価—	佐賀大学 児童養護施設大村報徳学園	若本 純子 福永 真理奈
P1-65	少年の窃盗に関する新たな体系的な教育プログラムの開発(3) —少年院在院者の万引きをはじめとした窃盗に関する意識の検討—	香川大学 四国少年院	大久保 智生 高橋 護
P1-66	犯罪被害者遺族の回復プロセスの検討 —なぜ遺族は社会活動を行うのか—	広島大学 広島大学 広島大学	太田 美里 岡本 祐子 野仲 真理子

---

P1-67 成人先天性心疾患患者の生活満足度とその影響要因  
—教育歴・就業・婚姻状況・疾患状態との関係から—

東洋大学 榎本 淳子

---

P1-68 養育者評定による発達障害児・者の不安症状の実態

神戸大学大学院人間発達環境学研究科 山根 隆宏  
鳥取大学大学教育支援機構教員養成センター 石本 雄真  
徳島文理大学 松本 有貴#

ポスター発表 2 ..... 3 月 25 日 (土) 13 : 00 ~ 15 : 00

(在席責任時間 発表番号 : 奇数 13 : 00 ~ 13 : 50 ; 偶数 14 : 00 ~ 14 : 50)

P2-1	「嬉し泣き」は何歳頃に理解できるのか	千葉大学大学院 高橋 実里
P2-2	1、2 歳児が経験する達成・被賞賛状況についての予備調査	関西学院大学 植田 瑞穂 関西学院大学 桂田 恵美子
P2-3	2-3 歳児の他児との相互作用における自己主張の発達	仁愛大学 鈴木 智子
P2-4	気まずい状況において幼児は他者志向的な行動をとるか —2 種類の場面の比較から—	九州大学 山口 小夜子 九州大学 実藤 和佳子
P2-5	乳児の表情に対する母親の敏感性 —養育経験・気質的要因・身体的要因の検討—	京都大学 松永 倫子 京都大学 田中 友香理 京都大学 明和 政子
P2-6	乳児期の母子・父子におけるくすぐり遊びの発達 —身体接触部位に着目して—	早稲田大学 石島 このみ 早稲田大学 根ヶ山 光一 共立女子大学 河原 紀子 早稲田大学 百瀬 桂子# 早稲田大学 外山 紀子
P2-7	模倣は乳児の相互作用の発達にどう役立つか	玉川大学 大竹 信子 名古屋芸術大学 星 三和子
P2-8	幼児期における運動発達と情動発達の関連性に関する研究 1 —運動コーディネーションに着目して—	東北大学 本郷 一夫 東北大学 大淵 守正 東北大学大学院 松本 恵美 東北大学 小玉 純子
P2-9	幼児期の子ども同士の会話における過去への言及 —共有・非共有した過去について自他間でのやりとり—	三重大学 吉田 真理子

P2-10	育児での対処不能場面における原因帰属と育児感情 —0・1・2歳児をもつ母親に焦点をあてて—	白百合女子大学大学院 白百合女子大学	牧野 寛子 秦野 悦子
P2-11	子育て中の母親における Web での育児情報収集 —無制限複数選択法のデータによる探索的因子分析での検討—	北海学園大学 関西学院大学	古谷 嘉一郎 清水 裕士
P2-12	女子青年における父親に対する感謝の心理状態の短期縦断的検討	和洋女子大学	池田 幸恭
P2-13	親と子の絵本の読みあい(3) —絵本日記からの分析—	十文字学園女子大学	鈴木 晴子
P2-14	母子の相互交渉場面における行動・発話の特徴 —アタッチメントと Warmth の観点から—	大阪大学 大阪大学 大阪大学 大阪大学	前田 早紀 島藤 安奈 日野林 俊彦 金澤 忠博
P2-15	母親のアタッチメントスタイルおよび特性 MM と子どもの生後 20ヶ月時点の共感的行動との関連 —子どもの自律性獲得期における調律的応答の転換—	愛知淑徳大学	蒲谷 慎介
P2-16	母親の内省機能、メンタルヘルスと子どもの問題行動との関連 —生後 6 年間の縦断研究—	白百合女子大学	村田 朱美
P2-17	未就学児をもつ日韓父母の IT 利用と子どもの気質との関連 —子どもの育てにくさが親の IT 利用に及ぼす影響—	川口短期大学	加藤 邦子
P2-18	施設入所児童のアタッチメント表象と愛情ネットワークの特徴	関西福祉科学大学 関西学院大学 福山大学	谷向 みつえ 桂田 恵美子 赤澤 淳子
P2-19	情動性による感情制御方略の効果のちがいを —共感的感情反応に着目して—	東京大学大学院 筑波大学人間系心理学域	則近 千尋 望月 聡#

P2-20	児童期における対人関係枠組みの多様性とその発達的变化 —日本とフィンランドの比較—	鳥取大学地域学部 寺川 志奈子 東京大学大学院教育学研究科 藤村 宣之
P2-21	相互独立的・相互協調的「他者観」と「自己観」 —中国、韓国、台湾、アメリカ、日本の大学生における文化比較—	横浜市立大学 平井 美佳
P2-22	大学生の多様な友人関係が学習意欲へおよびる影響 —友人関係の機会獲得の観点から—	流通科学大学 池田 曜子
P2-23	中学生における社会的自己制御の発達軌跡 —親・友人・教師との関わりを踏まえた潜在曲線モデルによる検討—	名城大学 原田 知佳 岐阜大学 吉澤 寛之# 岐阜聖徳学園大学 吉田 琢哉# 久留米大学 浅野 良輔# 名古屋大学/日本学術振興会 玉井 颯一# 岐阜聖徳学園大学 吉田 俊和#
P2-24	非同調行動に影響する罪悪感の質的検討 —みんなで悪いことをした経験としなかった経験の語りより—	東京大学 唐 音啓
P2-25	自閉症スペクトラムケースに見出されたこだわりの変化 —食物感覚過敏と情動喚起の調整の困難がこだわりを生みだし、パニックを組織化する—	首都大学東京 須田 治
P2-26	生殖補助医療（ART）を受けた女性が捉えた治療と仕事との両立に対する困難感と職場からの支援	福井県立大学 澤田 敏子
P2-27	キリスト教的宗教意識尺度の作成 —カトリックおよびホーリネス系教会を対象として—	東京大学 松島 公望
P2-28	化粧品使用被害にともなう容貌管理方略の変容 —化粧・ファッションへの視点から—	関西大学 木戸 彩恵
P2-29	「森の幼稚園」が子どもの発達に及ぼす影響に関する研究	東北大学大学院 松好 伸一
P2-30	「おばあちゃん頼み」という小豆島での子育て —小豆島出身のお母さんと嫁いできたお母さんとの語りの比較から—	学校法人行吉学園神戸女子短期大学 塚田 みちる

P2-31	ASD 幼児の日常生活スキルの獲得困難の要因に関する検討 社会福祉法人横浜市総合リハビリテーションセンター 横浜市総合リハビリテーションセンター 横浜市総合リハビリテーションセンター	小林 千嘉子 日戸 由刈 白馬 智美
P2-32	異年齢保育における幼児の対乳児行動	東京学芸大学大学院 北田 沙也加
P2-33	現代の子どもの躰遊びを支える地域環境(2) —インタビューから見えてきた躰遊びを支える大人の援助—	日本女子大学 請川 滋大 帯広大谷短期大学 滝澤 真毅
P2-34	特性の違う子どもに保育者はどのように関わっているのか?	広島大学 上山 瑠津子 広島大学 杉村 伸一郎
P2-35	乳幼児期の音声相互作用にみる音楽性 —生活場面の音声可視化の試みから—	聖心女子大学 今川 恭子 同志社大学赤ちゃん学研究センター 志村 洋子 東京芸術大学 鹿倉 由衣 # 東京芸術大学 伊原 小百合 #
P2-36	保育における物理的環境と想定外の使い方(3) —ニュージーランドの保育施設における観察調査—	京都文教大学 松井 愛奈
P2-37	保育を活かした虐待予防の取り組み —保育士へのペアレンティングスキル研修の有用性に関する検討—	兵庫県姫路こども家庭センター 梅垣 勝則 野口ホーム 野口 啓示 # 公立八鹿病院 梅垣 美恵子 #
P2-38	保育園 4・5 歳児のピアに対する向社会的行動 —MacArthur Story Stem Battery との関連—	東京大学大学院教育学研究科 西田 季里
P2-39	保育記録から読み解く保育者の視点 —からだを動かす遊びを楽しむ子どもの姿をどのように捉えるか—	宇部フロンティア大学短期大学部 重村 美帆 宇部フロンティア大学短期大学部 弘中 陽子 # 学校法人香川学園宇部フロンティア大学 三島 瑞穂
P2-40	保育現場における 3~5 歳児クラスの「気になる子」の実態 —3・4・5 歳児クラスの担任へのインタビュー調査より—	大阪健康福祉短期大学 野村 朋

P2-41	集団でのくりかえし読み聞かせにおける幼児の相互作用の分析	高知大学	玉瀬	友美
P2-42	保護者による子どもの意思決定支援プロセスの質的分析	東海学院大学 川村学園女子大学 川村学園女子大学	川嶋 北原 蓮見	健太郎 靖子 元子
P2-43	抱きと分離の交代現象に乳児期の親子関係を探る —一年間の縦断記録に基づいて—	龍谷大学	金子	龍太郎
P2-44	2歳児における「物体の社会的因果性」の理解 —アニメーション刺激と実物刺激の比較から—	小田原短期大学	村上	涼
P2-45	幼児は他者の誤信念をどのように説明するか —理由づけ質問と選択肢質問による検討—	鹿児島大学	島	義弘
P2-46	幼児期におけるふりの理解の発達的变化 —人形を用いたふり遊び場面における検討—	神戸大学・日本学術振興会特別研究員	大塚	穂波
P2-47	児童期・青年期における受容性と排他性の関係に関する研究	東北大学大学院教育学研究科	松本	恵美
P2-48	中国におけるペット飼育が小中学生の心理社会面に及ぼす影響	東京農工大学大学院 東京農工大学 東京農工大学	久津美 宋 甲田	志保 艶霞# 菜穂子
P2-49	訪問相談による効果的な学校支援のあり方 —特別支援学校地域支援部と心理士の協働による学校コンサルテーションの実際—	藤沢市学校教育相談センター 大妻女子大大学院	山口 石田	千尋 多枝子
P2-50	セルフマネジメントが授業でのパフォーマンスに及ぼす影響 —初年度前期の授業からの分析—	大阪産業大学 大阪産業大学 大阪産業大学 大阪産業大学	西口 定金 谷田 塩見	利文 浩一# 信一# 剛一#
P2-51	現代学生気質に合わせた保育科学生初年次指導法の検討(9)	名古屋柳城短期大学 名古屋柳城短期大学	荻原 成田	はるみ 朋子

P2-52	講義型授業における「ふりかえりシート」の継続活用がふりかえりの質的变化に及ぼす影響 —青森明の星短期大学 進藤 将敏—	青森明の星短期大学 進藤 将敏
P2-53	大学生におけるアイデンティティ発達と学業・友人関係・家族機能との関連 —学生生活サイクルの視点から—	吉備国際大学 宇都宮 真輝
P2-54	思春期の母子間葛藤と養育態度の縦断的検討(1) —時点差と性差に焦点をあてて—	皇學館大学 渡邊 賢二 名古屋大学 平石 賢二 東海学園大学 谷 伊織
P2-55	思春期の母子間葛藤と養育態度の縦断的検討(2) —クラスター分析による母子間葛藤の類型化—	名古屋大学 平石 賢二 皇學館大学 渡邊 賢二 東海学園大学 谷 伊織
P2-56	「教育脳」の実験的研究 —個体学習・観察学習・教育学習の行動的・脳画像的比較—	慶應義塾大学 安藤 寿康 慶應義塾大学先導研究センター 染谷 芳明#
P2-57	イヌの社会的認知能力とテレビ画像への関心 —テレビを見るイヌは人社会への適応度が高い?—	日本獣医生命科学大学 柿沼 美紀 日本獣医生命科学大学 野瀬 出# 日本獣医生命科学大学 宇埜 友美子#
P2-58	子どもイメージと子ども接触経験と子育て観の関連 —女子学生と男子学生の比較—	白百合女子大学大学院 山内 萌 白百合女子大学 秦野 悦子
P2-59	地域育児における継続的な発達支援への取り組み	豊中市保健所 土井 豊恵 豊中市保健所 川村 華代# 豊中市保健所 筒井 志織# 豊中市保健所 濱浦 弘美# 豊中市保健所 岸田 久世# 豊中市保健所 松浪 桂# 豊中市保健所 松岡 太郎#
P2-60	父親の役割意識の変化と夫婦関係満足度との関連	日本医療科学大学 及川 裕子 神戸松蔭女子学院大学 寺見 陽子 京都橘大学 南 憲治 神戸大学 伊藤 篤

P2-61	幼児・児童の時間的展望と死の概念の発達について	八戸学院短期大学 杉山 幸子
P2-62	四つ這いに至る動作群の発達	立教大学 山本 尚樹
P2-63	仲間の違反の報告に関する児童の予測と善悪判断 —仲間の違反の意図性による影響の検討—	名古屋経済大学 楯 誠
P2-64	「自立」への態度 —自立に対する個人の態度を左右する要因とは—	文京学院大学大学院 梶山 洋平 文京学院大学 永久 ひさ子
P2-65	「腐女子」のジェンダー・パーソナリティと性役割観	愛知淑徳大学 久保 南海子
P2-66	社会的養護にある子どものアイデンティティ形成の保障 —英国のライフストーリーワークに向けての情報と記録—	文京学院大学 森 和子
P2-67	大学生のキャリア発達を促す予備的プログラムの実施と評価	開智国際大学 寺本 妙子
P2-68	大学生の社会的問題解決力と親行動	東京家政大学大学院人間生活学総合研究科 徳吉 每美
P2-69	中学生のレジリエンスと内的作業モデルとの関連	聖徳大学 清水 美恵
P2-70	日本女性の平均初潮年齢の動向 —2015年2月における全国41,838人の小・中学生の調査結果より—	大阪大学 日野林 俊彦 大阪大学 清水(加藤) 真由子 大阪大学 金澤 忠博 大阪成蹊短期大学 南 徹弘 武庫川女子大学 糸魚川 直祐

ポスター発表 3 ..... 3 月 25 日 (土) 15 : 30 ~ 17 : 30

(在席責任時間 発表番号 : 奇数 15 : 30 ~ 16 : 20 : 偶数 16 : 30 ~ 17 : 20)

P3-1	保育カンファレンスは保育者に何をもたらすのか(2) —PAC 分析に基づく探索的研究—	高知大学大学院 小松 和佳 高知大学教育研究部人文社会科学系教育学部門 玉瀬 友美 高知大学教育研究部人文社会科学系教育学部門 野中 陽一郎
P3-2	保育者の子ども理解はどのような背景要因と関連があるのか	桜花学園大学 上村 晶
P3-3	保護者にとっての子どもの入園の意味(4) —入園 3 か月後の母親の意味づけ—	昭和女子大学 藤崎 春代
P3-4	保護者の望む保育者の関わり —子どもと保護者への共感性の視点より—	愛知教育大学 高橋 靖子 宮城学院女子大学 木野 和代 # 共栄大学 内田 千春 福岡女子大学 鈴木 有美
P3-5	幼稚園預かり保育のプログラム評価についての探索的研究	上越教育大学 白神 敬介
P3-6	3 歳児の自己効力感 —大人からの言語経験と微細運動能力の変容—	玉川大学 石川 大晃
P3-7	5 歳児における抑制とセルフレギュレーション向上のための介入研究	兵庫教育大学大学院 山本 訓子 兵庫教育大学 松村 京子
P3-8	遊び体験の学年間変化	甲南大学 木下 雅博 甲南大学 大西 彩子
P3-9	幼児の協同性の発達における論理的思考力 —3 歳児の発達の变化に注目して—	武庫川女子大学 藤谷 智子
P3-10	幼児の口頭詩に見られる特徴及びその記録が保育者に与える影響	千葉大学 富田 久枝 習志野市立幼稚園 土田 美咲達 #

P3-11	デンマークの子どもたちにおける生活臨床の可能性 —フォルクスコーレ5~9年生対象の生活実態調査の結果をもとに—	関西学院大学 小谷 正登 流通科学大学 岩崎 久志# 西宮市教育委員会 木田 重果# 西宮市立甲陵中学校 加島 ゆう子# 天理医療大学 三宅 靖子# 愛知医科大学 下村 明子# 芦屋市教育委員会 塩山 利枝# 森ノ宮医療大学 来栖 清美# 武庫川女子大学 白石 大介#
P3-12	産褥早期の母親役割獲得行動をアセスメントする看護師と助産師の視点の違い	県立広島大学 百田 由希子 県立広島大学 松森 直美
P3-13	子育て期ごとにみる養育態度と夫婦ペアレンティングの関連	東北大学 加藤 道代 東北大学 神谷 哲司
P3-14	親のワーク・ライフ・バランス満足感が幼児の発達に及ぼす影響	千葉大学大学院 藤澤 翠美花
P3-15	成人期の子をもつ母親の子育てにおける後悔 —定型発達の子と障害をもった子の子育ての振り返りから—	東京女子大学大学院 野藤 夏美
P3-16	孫育ての心理学 —祖父母と孫との関係についての意識に関する半構造化面接の結果—	愛知学院大学 二宮 克美
P3-17	父親の育児行動に影響を与える妻の要因 —夫婦関係に焦点を当てて—	京都橘大学 南 憲治 神戸松蔭女子学院大学 寺見 陽子 日本医療科学大学 及川 裕子 神戸大学 伊藤 篤
P3-18	養育者の内的作業モデルに応じた効果的なサポートとは —サポート提供者（配偶者・実母）に着目して—	四国大学 加藤 孝士
P3-19	児童福祉施設職員の成長過程(1) —四年制大学卒初任保育士へのインタビュー調査を通して—	福山市立大学 高澤 健司 福山市立大学 田丸 敏高 福山市立大学 山田 真世

P3-20	小学校入学児における援助要請行動の理解と援助 —幼保小の教育者・保育者の視点の差異(1)—	駿河台大学大学院 福本 有紗
P3-21	小学生の協同的な学習に対する動機づけの発達的变化 —3年間6時点の縦断データを用いた分析—	香川大学 岡田 涼
P3-22	小中学生のレジリエンスと学級風土との関連について	静岡大学 小林 朋子 名古屋大学 五十嵐 哲也
P3-23	ADHD 行動特徴に対する保育者の原因帰属 —5歳男児の事例に対する自由記述の分析—	比治山大学 濱田 祥子
P3-24	発達障害における小学校教師の困難感と医療との関連	鳥取大学 角南 なおみ
P3-25	中学生の道徳性と主体的に行う生徒指導上の問題行動に関する研究	刈谷市立日高小学校 中野 真悟
P3-26	中高生期における個人特性および学習観へのテストステロンの影響 —2D4Dを用いた予備的検討—	玉川大学 仁科 国之
P3-27	「教えるもの」の最近接発達領域について考える	お茶の水女子大学大学院修了 塩野入 愛
P3-28	「書く」ことと「見る」ことの関係性 —アイトラッキング装置を用いての予備的検討—	昭和女子大学 大森 幹真
P3-29	ジェローム・ブルーナーと「意味の行為」の研究のために	自由学園 横山 草介
P3-30	肯定的な自己意識と時間的展望を育てる付箋付きカレンダー制作活動の実践的検討	千葉市教育センター 神山 直子 川村学園女子大学 北原 靖子
P3-31	思春期の失敗や挫折体験からの立ち直り過程とレジリエンス —②現在への影響過程の検討—	社会福祉法人青少年福祉センター 和田 桂子
P3-32	遺伝子医療技術を扱うジレンマ課題に対する大学生の論述	神戸大学 坂本 美紀 神戸大学 山口 悦司#

P3-33	ライフキャリアの能力・態度と「ともに自ら学びあう力」 —大学での学びと教職志望度との関連性—	京都教育大学 伊藤 崇達
P3-34	学童期の発達障害児の友達作りを目的とした療育の試み	児童発達支援ふるーれ 山本 聡子 児童発達支援ふるーれ 富来 秀美 児童発達支援ふるーれ 河野 智佳子 児童発達支援ふるーれ 石出 晶子
P3-35	関係発達・関係障害の変容をどのように捉えるか —前言語期のASD児を抱える養育者とのSEIQoL-DWの変法を用いたインタビューを基に—	神戸松蔭女子学院大学 榊原 久直
P3-36	自己の発達と生活様式への参加を軸にした領域横断的発達支援の試み (I) —発達・支援の分断から包括性への理論と実践方法論の構築：2歳ダウン症児に対するゲーム、音楽、共同調理、家庭、保育場面の多様な生活文脈での支援実践を通して—	実践女子大学 長崎 勤 北海道医療大学 鈴木 はるみ
P3-37	自己の発達と生活様式への参加を軸にした領域横断的発達支援の試み (II) —2歳児ダウン症に対する音楽活動での即興演奏を通しての自己発動性の育ちの支援—	北海道医療大学 鈴木 はるみ 実践女子大学 長崎 勤
P3-38	小学生の学校適応感と発達障害のある子・気になる子への関わり方の検討	神戸大学大学院 糸川 佳絵 神戸大学大学院 鳥居 深雪
P3-39	特別支援教育と就学・進路選択 —ASD特性からの検討—	名古屋産業大学・京都大学大学院教育学研究科 松瀬 留美子
P3-40	発達障害のある学齢児を対象としたグループ支援の実践 —「生活スキル」と「仲間つきあい」を軸とした成人期を見据えた支援プログラム—	相模原市発達障害支援センター 武部 正明 相模原市発達障害支援センター 渡辺 智興# 相模原市発達障害支援センター 志村 淳子# 相模原市発達障害支援センター 金森 優香# 相模原市発達障害支援センター 宇田川 真美# 相模原市発達障害支援センター 山口 正人#
P3-41	発達障害児小学1年から6年までの算数文章題解決の変化	立教女学院短期大学 田坂 裕子

---

P3-42 PECS は自閉スペクトラム症児の早期社会コミュニケーション行動の発達を促すのか？

大阪大学大学院	永井 祐也
大阪大学大学院	前田 早紀
大阪大学大学院	蒔田 恭子
大阪大学大学院	田崎 榛菜
大阪大学大学院	島藤 安奈
大阪大学大学院	日野林 俊彦
大阪大学大学院	金澤 忠博

---

P3-43 テーブルトーク・ロールプレイングゲームが自閉スペクトラム症児の会話の促進に与える影響

東京学芸大学大学院	加藤 浩平
東京学芸大学	藤野 博

---

P3-44 自閉スペクトラム症児における心の理論と実行機能の関連について (5)  
—ハノイの塔課題を中心とした分析—

愛媛大学教育学部附属特別支援学校	神井 享子
東京学芸大学	藤野 博
東京学芸大学国際教育センター	松井 智子
茨城大学	東條 吉邦
武蔵野東教育センター	計野 浩一郎 #

---

P3-45 自閉スペクトラム症児の玩具を用いた遊びの限局性と大人の注意共有方略に対する反応

大阪大学大学院	田崎 榛菜
大阪大学大学院	永井 祐也
大阪大学大学院	前田 早紀
大阪大学大学院	蒔田 恭子
大阪大学	日野林 俊彦
大阪大学	金澤 忠博

---

P3-46 自閉スペクトラム症児の道徳意識  
—「悪い」という認識の発生とその判断根拠—

よこはま港南地域療育センター	牛島 智子
横浜市総合リハビリテーションセンター	清水 康夫 #

---

P3-47 自閉症スペクトラム児と保護者の相互行為の変化  
—RDI による 2 事例の検討—

大妻女子大学	高橋 ゆう子
--------	--------

---

P3-48 自閉症のある人の青年期関係発達 「働くこと」の意味に着目して I  
—進路の選択に関する親の思い—

常磐会学園大学	山崎 徳子
---------	-------

---

P3-49 脳科学の知見を活用した自閉症支援に係る教員研修の取り組み  
—教員の理解と教育実践への活用に着目して—

鳴門教育大学	高橋 真琴
鳴門教育大学附属特別支援学校	小谷 慎一 #
鳴門教育大学附属特別支援学校	川人 健司 #
鳴門教育大学附属特別支援学校	佐藤 和彦 #
鳴門教育大学	田中 淳一 #

---

P3-50	ASD 幼児に対する親子参加型プログラムの試み —どんぐりクラスにおける「親子ワーク」—	横浜市西部地域療育センター 小泉 智世 社会福祉法人横浜市総合リハビリテーションセンター 小林 千嘉子 よこはま港南地域療育センター 田中 里実 横浜市総合リハビリテーションセンター 日戸 由刈
P3-51	ODD と診断された事例への学習支援の取り組み —多角的な視点を持つ心理学的支援(2)—	白梅学園大学 飯野 雄大 白梅学園大学 市川 奈緒子 白梅学園大学 福丸 由佳
P3-52	療育センターに通う発達障害児の母親における育児感情とソーシャルサポートの認識	川崎市南部地域療育センター 見並 優子 白百合女子大学 秦野 悦子
P3-53	フランス在住の日本人子女の発達を支援する —日系療育機関を利用するメリットと保護者の捉え—	筑波大学附属大塚特別支援学校 田尻 由起 発達障害児と家族を支える会 in フランス 鳥居 優美
P3-54	海外における邦人子女の発達をサポートする市民活動の実態調査 (第1報)	Association pour Soutien Autisme et Ted Franco-Japonais 鳥居 優美
P3-55	“見る”に関わる先天性盲児の言語使用の発達 —療育場面の縦断的な映像記録の質的分析から—	東京大学 能智 正博 東京大学 園部 愛子# 東京大学 横山 克貴# 東京大学 片山 皓絵# 東京大学 眞柄 翔太#
P3-56	視覚表象のない視覚障害児の空間イメージ操作の特徴 —空間的視点取得と心的回転による検討—	筑波大学 丹所 忍 筑波大学人間系 小林 秀之#
P3-57	健常大学生における ASD 特性と心理・社会的適応の関連 —ライフスキルと睡眠の問題の媒介効果に着目して—	東京大学 高橋 翠 茅ヶ崎リハビリテーション専門学校 高橋 葉子
P3-58	幼児のままごと遊びの発話にみられる社会文化の共有過程	文京学院大学 上村 佳世子 文京学院大学 加須屋 裕子 上越教育大学 吉澤 千夏

P3-59	異文化の子育て(1) —求める距離・求められる距離の中で多層化する関係性—	湘北短期大学 照井 裕子 立正大学 岡本 依子
P3-60	異文化の子育て(2) —子育てにおいて感じる多層的違和感と親への移行の不連続性—	立正大学 岡本 依子 湘北短期大学 照井 裕子
P3-61	環境教育の実践へと彼らを導くものとは？ —兵庫県内で行われた3事例の環境教育実践者へのインタビュー調査をもとに—	兵庫県立大学環境人間学部 保坂 裕子 兵庫県立大学環境人間学部 泉山 真寛#
P3-62	子ども行事における様々な世代間交流と発達との関連性について —地域子どもキャンプからの事例報告—	帝京大学 新谷 和代
P3-63	子の年齢別に見た育児中の母親の育児関連ストレスと抑うつ・不安	みゆきクリニック 埴 美由貴 筑波大学人間総合科学研究科 高橋 幸子# 筑波大学 松井 豊
P3-64	幼児をもつ母親における育児援助要請意識および援助要請行動 —援助要請行動を阻害する要因に注目して—	白百合女子大学 松尾 伸枝 白百合女子大学 秦野 悦子
P3-65	子育て期国際結婚夫婦の小学校選択と適応 —子どもを公立小学校に通わせている日本人母親の視座から—	青山学院大学 蔵本 真紀子
P3-66	子供のいる多人数会話における多層的構造の検討	国立情報学研究所 牧野 遼作 国立情報学研究所/総合研究大学院大学 坊農 真弓#
P3-67	情報生態学的人格発達論の試み —放送大学オンライン授業を事例にして—	放送大学 高橋 秀明
P3-68	震災遺児の中学3年と高校1年の心理変化について —神戸レインボーハウスのボランティアの記録内容の分析—	武庫川女子大学大学院・あしなが育英会 八木 俊介
P3-69	成人期男女におけるファイナンス知識・行動の横断的变化	東北大学 神谷 哲司

---

P3-70 東日本大震災を経験した人のライフデザインに関する研究 その3  
—「区域外避難者」の聴きとり調査から—

龍谷大学 荒木 美知子  
立命館大学 荒木 穂積

---

P3-71 北海道家庭学校五代校長の「言葉」の変遷の検討の試み  
—谷昌恒校長の著作のテキスト分析による経時的変化の抽出—

札幌学院大学 久蔵 孝幸

ポスター発表 4 ..... 3月26日(日) 10:00~12:00

(在席責任時間 発表番号: 奇数 10:00~10:50; 偶数 11:00~11:50)

P4-1	「気になる子」の発達と保育者の心理的要因(2)	中京学院大学 深谷 博子 中京学院大学 岡崎 善治#
P4-2	インクルーシブ保育における子どもの育ちが親に与える影響	帝京大学 木原 久美子
P4-3	絵本の読み聞かせの効果性に関する研究 —母親の認知的側面からのアプローチ—	帝塚山学院大学 谷川 賀苗 大阪大学大学院 上原 依子#
P4-4	子どもの主体的な行動を通じた保育の質の客観化手法の検討 —AIを用いた子どもの行動計測と心的状態推定—	玉川大学 山田 徹志 玉川大学 宮田 真宏# 玉川大学 肥田 竜馬# 玉川大学 大森 隆司#
P4-5	乳児の粗大運動発達に見られる揺らぎ	武庫川女子大学 萱村 俊哉 無所属 萱村 朋子
P4-6	幼稚園3歳児の対人葛藤場面における教師の援助	奈良女子大学大学院・日本学術振興会 松原 未季 奈良女子大学 本山 方子
P4-7	公開保育研究協議における保育者の学び合い —大学・附属幼稚園・地域の協働研修プログラム開発の試み—	京都教育大学 東村 知子 京都教育大学 古賀 松香
P4-8	潜在保育士として生きる —キャリア形成における「後悔」の影響を描く複線径路・等至性アプローチ(TEA)の可能性—	宮城教育大学 香曾我部 琢
P4-9	同僚との関係性の意味づけからとらえた保育士の専門性 —中堅保育士のライフストーリーから—	白百合女子大学 末葎 啓子 白百合女子大学 秦野 悦子
P4-10	米国保育者は日本の幼稚園ウェブサイトをどう捉えるのか?	広島大学 中坪 史典 東京大学 秋田 喜代美 千葉大学 砂上 史子 川村学園女子大学 箕輪 潤子 東京大学大学院 辻谷 真知子 ソニー教育財団 高木 恭子#

P4-11	保護者からみた保育者との誤解体験	京都文教短期大学 張 貞京 京都文教短期大学 真下 知子#
P4-12	子どもの食行動と性差・母親の食生活 QOL との関連	秋田大学 瀬尾 知子 お茶の水女子大学 村松 志野# お茶の水女子大学 松本 聡子# 白百合女子大学 眞榮城 和美 お茶の水女子大学 菅原 ますみ# お茶の水女子大学 榊原 洋一
P4-13	保育所に通う子どもの食をめぐる問題と支援の諸相 —0・1歳児を担当する保育者へのインタビュー調査の分析から—	昭和女子大学 遠藤 純子 聖徳大学短期大学部 小野 友紀#
P4-14	幼児における心的数直線の縦断的検討(2) —3歳児から5歳児における心的数直線の変化—	広島大学大学院 浦上 萌 広島大学 杉村伸一郎
P4-15	幼児のタブレット型端末使用と親との相互作用の検討	十文字学園女子大学 石田 有理 十文字学園女子大学 大宮 明子
P4-16	児童デイサービスに通所する発達凸凹の子の認知の特徴(3) —見え方テストの結果の分析から見えてくること—	株式会社おきなわ edu 玉城 絵里香 (株)おきなわ edu 山里 真依子 株式会社おきなわ edu 比嘉 佳代 office 育子 金武 育子
P4-17	自閉スペクトラム症児における自発的模倣と共同注意	大阪大学大学院 蒔田 恭子 大阪大学大学院 永井 祐也 大阪大学 日野林 俊彦 大阪大学 金澤 忠博
P4-18	自閉スペクトラム症児の言語を介した仲間との協同活動の特徴 —「魚釣りゲーム」での相互作用の分析を通して—	山梨大学 吉井 勘人
P4-19	特別支援学級におけるソーシャルスキルトレーニング —学校生活を意識したプログラムとその効果—	白梅学園大学大学院 今村 靖子 白梅学園大学 市川 奈緒子

P4-20	特別支援教育に関する現状について(3) —保育者と小学校教員別に見た「個別の指導計画」に関する課題—	四天王寺大学 八木 成和
P4-21	保育所の多様な子どもが在籍するクラスにおける障害児との仲間関係 —拒否の事例的検討から対等な仲間関係形成への手がかりを探る—	千葉大学 細川 かおり
P4-22	子育て支援センターにおける発達等の相談活動について3 —親同士の意見交流を中心とした座談会の開催—	NPO 法人なのはな 稲吉 静 NPO 法人なのはな発達支援まほろば 馬銅野 陽美
P4-23	日本における女性同性カップルの子育てに関する事例研究	東京大学大学院 中山 悠太郎
P4-24	いじめ場面における第三者の仲裁行動を規定する要因の検討	東京女子大学 蔵満 百佳 東京女子大学 前川 あさ美
P4-25	両親の子どもに対する呼称と情緒特性の関連について —攻撃性と思いやりを中心とする情緒特性および青年前期までの心理社会的発達の探索的研究—	秋草学園短期大学 三好 力
P4-26	小学校教師との関わりがアタッチメントスタイルに与える影響 —回顧的調査による検討—	東京大学大学院 山内 勇太郎
P4-27	中学生のアタッチメント・スタイルといじめ行動との関連	茨城大学教育学部 柳田 美智子 茨城大学教育学部 数井 みゆき 茨城大学大学院 金丸 隆太
P4-28	様々な事情を抱えた生徒が定時制高校へ通う意義の検討 —定時制高校卒業生へのインタビュー調査を通して—	北海道大学大学院 渡邊 仁
P4-29	高校生のエゴ・レジリエンスとポジティブ感情及び自我同一性の関連 —高校生のための「レジリエンスに富むグローバルリーダー育成」授業の縦断研究①—	関西学院千里国際中等部・高等部 小中 佳子 目白大学 小野寺 敦子 エゴレジ研究所 畑 潮
P4-30	思春期の子どもが持つ「地域の居場所」に対するニーズの多様性とその背景	東京大学大学院 天井 響子 東京大学大学院 山口 一大#

P4-31	男子大学生の親準備性の発達 —乳児とふれあう体験を通じた意識の変化—	富山大学 小林 真
P4-32	教育相談で如何に成長・発達を促すか —やる気が継続しない学生に対するナラティブ・アプローチ事例の検討—	秋田県立大学 渡部 昌平
P4-33	子どもと関わる経験が、大学生の学童保育利用児童に対するイメージに与える影響	愛知教育大学 小嶋 佳子
P4-34	女子大学生の教育実習にまつわる不安(2) —ストレッサーとストレス反応の関連—	津田塾大学 吉村 麻奈美 津田塾大学 高垣 マユミ
P4-35	内的ワーキング・モデルからみた教職への意思決定	滋賀大学 若松 養亮
P4-36	保育実習の経験や不安に対するメンタライゼーション能力の影響(2) —実習の進行に伴う変化—	京都教育大学 田爪 宏二 沖縄女子短期大学 廣瀬 真喜子 大阪大学大学院 増田 優子
P4-37	大学在学期間内での教職観の変容の可能性	清泉女子大学 福田 健
P4-38	フィンランドの児童の数学的思考と学習観に関する発達の研究 —個別面接による検討—	東京大学 藤村 宣之
P4-39	幼児期の配分行動の発達とわり算のインフォーマルな理解 —等分除と包含除の違いに着目して—	東京大学大学院 齋藤 友香 東京大学 針生 悦子
P4-40	4～6歳ごろの自我関係認識の発達変化と第三項の形成 —新版 K 式発達検査 2001 「了解」課題と円系列描画の縦断資料にもとづいて—	京都府立大学 服部 敬子
P4-41	親族関係理解に関する発達の研究(3)	東京立正短期大学 三國 隆子
P4-42	他者の知識に応じて幼児の説明は異なるか	九州大学 沖田 夏美 九州大学 実藤 和佳子

P4-43	幼児・児童における他者に配慮した声の音量調節の発達の研究	東京学芸大学 早野 留果 聖マリアンナ医科大学 木下 友葉 # 東京学芸大学教育実践研究支援センター 林 安紀子
P4-44	幼児における他者の指さしの信頼性の理解 —文脈情報が及ぼす影響の検討—	共愛学園前橋国際大学 佐藤 賢輔 聖心女子大学 岸本 健
P4-45	幼児期における他者理解の発達 —言語応答課題に着目して—	尚綱大学 小沢 日美子
P4-46	ワーキングメモリと挿絵が児童の文章理解に及ぼす影響	川崎医療福祉大学大学院 則武 良英 川崎医療福祉大学 清水 光弘 川崎医療福祉大学 武井 祐子 川崎医療福祉大学 寺崎 正治 川崎医療福祉大学 竹内 いつ子 # 倉敷市立短期大学 門田 昌子
P4-47	言語ラベリングが実行機能課題に及ぼす効果とその持続性 —幼児期に着目して—	京都大学 柳岡 開地
P4-48	児童期の実行機能における特徴 —双生児法による検討—	慶應義塾大学 野崎 茉莉 関西学院大学 真田 原行 # 慶應義塾大学 藤澤 啓子 慶應義塾大学 安藤 寿康
P4-49	養育者による育児語の使用 —子どもが生後6～18か月の時期に焦点をあてた横断調査より—	東京大学 針生 悦子 東京大学大学院 齋藤 友香
P4-50	楽曲の情緒的情報に関する基本的考察(2) —楽曲の既知性と音響刺激の言語化の過程—	有明教育芸術短期大学 杵鞭 広美
P4-51	公共放送における子どもの表象と引用映像の機能	國學院大學 斉藤 こずゑ
P4-52	私たちは、どのように折り紙を折っているのか？(17) —年中児の自由遊び場面における「折る」行為の観察事例—	至学館大学 丸山 真名美

P4-53	大学生における5歳児のストーリーナラティブの解釈 —5歳児のストーリーナラティブの1事例を通して—	白百合女子大学 豊村 かなみ
P4-54	幼児が overimitation を示す基準は何か —行動のターゲットとツール使用から—	九州大学 谷口 雄紀 九州大学 実藤 和佳子
P4-55	幼児の昼食記憶再生が及ぼす摂食量と満足遅延課題への影響	同志社大学 残華 雅子 同志社大学 青山 謙二郎
P4-56	幼児期における積木構成の発達的变化について	立命館大学 松元 佑
P4-57	自閉スペクトラム症児における間接発話の理解(2)	金沢大学 三浦 優生 東京学芸大学 松井 智子 東京学芸大学 藤野 博 茨城大学 東條 吉邦 武蔵野東教育センター 計野 浩一郎#
P4-58	自閉症スペクトラム障害のある児童のフラストレーション場面における言語的な表示規則の使用 —P-F スタディを用いた検討—	京都大学 田村 綾菜 京都大学 小川 詩乃 京都大学 吉川 左紀子# 京都大学 正高 信男#
P4-59	自閉性傾向が言語隠蔽効果に与える影響の検討	北海道大学 番匠谷 博之 北海道大学 仲 真紀子
P4-60	10代群、40代群、高齢者群の生涯発達過程認知 —幼児教育、保育における子どもの理解との関連—	金城大学 奥田 裕紀
P4-61	自伝的記憶における想起視点 —幼児・中学生・大学生の比較—	千葉大学大学院 坂尾 喜美
P4-62	日本語母語話者の初回のピア・レスポンスの特徴 —教員の指示との相違の観点から—	国際教養大学 石毛 順子

---

P4-63 実験的絵本共有場面の自閉スペクトラム症児の視線行動(2)  
— 定型発達児との比較から —

大阪大学大学院 島藤 安奈  
大阪大学大学院 永井 祐也  
大阪大学大学院 前田 早紀  
大阪大学大学院 日野林 俊彦  
大阪大学大学院 金澤 忠博

---

P4-64 日本・韓国・中国・台湾の女子大学生の葛藤処理方略  
— 評価と実際の行動のずれに焦点をあてて —

同志社女子大学 塘 利枝子  
Seoul 神學大學 玄 正煥#

P5-1	ERP からみた日本の子どもの心の理論の発達 —日米比較研究による探索的検討—	東京女子大学大学院 上窪 綾 東京女子大学 風間 みどり 東京女子大学 唐澤 真弓 東京女子大学 平林 秀美
P5-2	園での仲間遊びにおけるポジティブ感情言及と関係調整 —5歳クラス女兒間の「かわいい」への言及に着目して—	千葉大学 岩田 美保
P5-3	沖縄県多良間島における子どもの異年齢遊びネットワーク	中京大学 小島 康生 早稲田大学 根ヶ山 光一
P5-4	思いやりの嘘が求められる場面において幼児は嘘をつくことに対して葛藤をもつか	川崎医療福祉大学大学院 定守 加奈子 川崎医療福祉大学 清水 光弘 川崎医療福祉大学 武井 祐子 倉敷市立短期大学 門田 昌子 川崎医療福祉大学 竹内 いつ子# 川崎医療福祉大学 寺崎 正治
P5-5	自発的微笑と社会的微笑の縦断的観察 II	京都大学 川上 文人
P5-6	他者理解に基づく協力行動の初期発達 —1歳半児の指差しと注視行動を指標として—	九州大学/日本学術振興会 孟 憲巍 九州大学 橋彌 和秀
P5-7	典型発達幼児同士の協同活動の発達アセスメントと支援(3) —3-5歳児の課題差における会話と注視に関する基礎的研究—	筑波大学 板倉 達哉 山梨大学大学院 吉井 勘人 筑波大学附属大塚特別支援学校 若井 広太郎 筑波大学附属大塚特別支援学校 仲野 みこ 実践女子大学 長崎 勤 筑波大学 熊谷 恵子
P5-8	幼児における他者の知覚経験にもとづく意図理解 —ストーリー課題を用いた検討—	広島修道大学 鈴木 亜由美

P5-9	幼児の感情反応を規定する因子の探索的検討 —ネガティブ状況下における自己／他者の志向傾向、「心の理論」、社会性発達—	東北大学 松崎 泰 東北大学 川崎 聡大
P5-10	幼児の対人葛藤終結におけるやりとり —行為者と被行為者のロールプレイを通して—	上智大学総合人間科学部 早川 貴子
P5-11	幼児期における失敗場面での褒めに対する反応 —心の理論の発達との関連—	椋山女学園大学 溝川 藍
P5-12	幼児期における表情の各部位の知識に関する発達の検討	京都大学 栢田 恵 オタワ大学 ゴスリン ピエール# 京都大学 野村 理朗#
P5-13	幼児期の他者感情推測における暗黙的な「わからない」反応	富山大学 近藤 龍彰
P5-14	ASD 児における視線追従 —ライブ呈示による検討—	東京大学 菊池 由葵子 東京大学 明地 洋典 茨城大学 東條 吉邦 武蔵野東教育センター 計野 浩一郎# 武蔵野大学 齋藤 慈子# 東京大学 長谷川 寿一#
P5-15	感情経験について語ることの発達 —幼児の感情語りにおいて時間的文節化を支えることの効果—	東洋大学 久保 ゆかり
P5-16	求人広告にみられるモチベーションに類する語の共起ネットワーク —2013年12月における首都圏を対象とした求人情報誌の事例の分析—	合同会社セカンダリー 長内 優樹
P5-17	児童期における発話からの感情推測	東京大学大学院 池田 慎之介 東京大学 針生 悦子
P5-18	時間的展望と進路選択に関する文献的研究 —発達段階に合わせて—	青山学院大学 岩田 英以子

P5-19	自閉症者における心の知覚と道徳判断	東京大学 明地 洋典 東京大学 菊池 由葵子 茨城大学 東條 吉邦 武蔵野東教育センター 計野 浩一郎# 東京大学 長谷川 寿一#
P5-20	SCATによる大学生を対象とした他者を操作しようとする動機の構造の把握(3) —目下の操作対象者への操作動機に焦点化して—	昭和女子大学大学院 木川 智美
P5-21	アプリによるスマートフォン依存抑制効果の検討	川村学園女子大学大学院 井上 翼 川村学園女子大学 北原 靖子
P5-22	青年期における嫌いな他者がいることによるストレス反応の低減要因の検討	神戸大学大学院 土取 建登
P5-23	青年期における対人関係イメージの変化の潜在的可能性 —学校法人香川学園宇部フロンティア大学	三島 瑞穂
P5-24	大学生における状況的制約が異なる向社会的行動に対する認識	名古屋大学 二村 郁美
P5-25	大学生における怒りの主張的表出の理解 —幼児・児童との比較を通して—	石巻専修大学 平川 久美子
P5-26	育児期フルタイム就労女性の両立感情 —家族役割意識・夫や親の性役割意識との関連—	白百合女子大学 中山 千秋
P5-27	育児期専業主婦の再就労への意識 —インタビューデータから—	奈良女子大学 中山 満子
P5-28	母親のわが子とのスキンシップと育児不安との関連 —児童館の幼児活動を通して—	東京家政大学大学院 宮崎 孝子
P5-29	母親の養育態度と幼児の自律性と自主性との関連	神奈川大学 川邊 一申 神奈川大学 麻生 典子

P5-30	システムズアプローチからみた発達過程(2) —KIDS(乳幼児発達検査)5領域の交差遅延モデル分析からの検討—	武庫川女子大学 河合 優年 武庫川女子大学 難波 久美子 武庫川女子大学 佐々木 恵 武庫川女子大学 小花和 Wright 尚子 国立病院機構三重中央医療センター 山本初実 国立病院機構三重中央医療センター 田中滋己 北海商科大学 玉井航太
P5-31	死後の「私」の機能に関する判断の理由づけ(2) —小学校高学年生を対象とした1年後の報告の質的分析—	名古屋市立大学 天谷 祐子
P5-32	嫉妬者は恋人の裏切りにどう「過剰に」反応するか? —嫉妬場面への対処行動尺度の作成—	神戸大学 神野 雄
P5-33	修学旅行における平和教育の有効性について —歪んだ報道と40年後の記憶調査によって、気づく事。—	大阪教育大学 加納 真美
P5-34	道徳基盤、社会的支配志向性、戦争・武力に対する態度 —30代男性を対象にした検討—	広島大学 森永 康子 広島大学 坂田 桐子# 広島大学 平川 真 広島大学 柴田 侑秀# 広島大学 福留 広大#
P5-35	保育現場における労働災害について(2) —労働者死傷病報告に基づく保育士の労働災害の内容分析—	小田原短期大学 佐藤 由香理 宮城学院女子大学 大橋 智樹#
P5-36	「放課後子ども教室」におけるぬいぐるみの働きについての考察	川村学園女子大学大学院 村上 桃香 川村学園女子大学 北原 靖子
P5-37	遊びがつながり展開していく保育の構造 —活動の質が繰り上がる保育のデザイナー—	福井大学大学院 岸野 麻衣
P5-38	保育の場における幼児のひとり遊びについての保育者・保護者の意識(1)	東京福祉大学 関口 はつ江 東京福祉大学 矢吹 美美子 東京福祉大学大学院 小林 恵# 東京福祉保育専門学校 魏 孝棟#

P5-39	保育者は幼児の規範意識をどのように考えるのか —規範に関する幼児の回答をもとに—	東京大学大学院 辻谷 真知子
P5-40	保護者対応を通した小学校中堅教師の専門性の生成と継承	北海道教育大学 植木 克美 北海道文教大学 川端 愛子 北海道文教大学 後藤 守
P5-41	省察日誌の自発的継続利用に影響する要因の探索的検討 —教員志望学生対象のアンケート結果から—	千葉工業大学 市川 洋子 東北大学 深谷 優子
P5-42	子どもの育ちを支える発達指標作成の試み その1 —集団場面での支援の手がかりとして—	和光大学 辻 あゆみ 横浜市福祉保健センター 竹田 真木 聖ヶ丘教育福祉専門学校 森谷 恭子
P5-43	START プログラム介入に関する4歳児から5歳児への縦断研究	兵庫教育大学大学院 青山 翔 兵庫教育大学 松村 京子 兵庫教育大学 岸本 記公野
P5-44	個別学習支援教室のあり方(1)	NPO 法人なのはな寺子屋まんまある 山崎 みよ子 NPO 法人なのはな寺子屋まんまある 鈴木 康子# NPO 法人なのはな寺子屋まんまある 曾根 公美子# NPO 法人なのはな寺子屋まんまある 長崎 イク
P5-45	発達センターの地域支援における心理職の役割 —巡回支援(幼・保)と支援者研修との連動の視点からの経年考察—	社会福祉法人嬉泉世田谷区発達障害相談・療育センターげんき 岩澤 寿美子
P5-46	保育園に通うASD男児と軽度知的障害児の呈示行動における受け手・集団の重要性(2)	愛知淑徳大学 小野 美和
P5-47	小学校教師の認識する児童の動機づけを高める「ほめ」	藤女子大学 青木 直子
P5-48	小学校時に体験した学校行事が小学校教師にとって有する意味の検討	東京大学 河本 愛子
P5-49	1歳6か月児健診に従事する心理職に対する母親の認識と要望	東京福祉大学 平沼 晶子

P5-50	アドラー心理学に基づく親学習プログラムの効果検証とその開発に関する予備的研究 早稲田大学アドラー心理学研究会、高沢内科クリニック 早稲田大学アドラー心理学研究会 早稲田大学人間科学学術院	伊澤 幸代 堂坂 更夜香 向後 千春
P5-51	子どものネガティブな感情表出を受け止める養育力とは何か —母親側の要因と子どもの発達との関連の予備的検討—	東京福祉大学 石 暁玲
P5-52	自尊感情と被援助志向性が育児ストレスに与える影響	四国大学 永井 知子
P5-53	父親の育児ストレスの規定要因に関する研究 —親からの被養育経験・愛着・養育性・夫婦関係との関連—	神戸松蔭女子学院大学 寺見 陽子 京都橘大学 南 憲治 日本医療科学大学 及川 裕子 神戸大学 伊藤 篤
P5-54	住居内における乳幼児の移動と家具の配置に関する縦断的研究	東京大学 青山 慶
P5-55	虐待不安の背景要因の検討 —2歳児を育児中の母親の語りから—	東京大学 渡辺 茉奈美
P5-56	大学生の「就業力」についての縦断調査研究	福岡県立大学 池 志保 福岡県立大学 中村 晋介# 福岡県立大学 石崎 龍二#
P5-57	大学生の暗黙の知能観と目標志向性・対処行動・自己呈示	中村学園大学 野上 俊一
P5-58	PBL型授業による社会人基礎力の変化 —企業との連携授業における受講生の成長—	京都ノートルダム女子大学 松島 るみ 京都ノートルダム女子大学 尾崎 仁美
P5-59	夢を抱くために必要なことはなにか	文京学院大学大学院 松原 亜友美 文京学院大学大学院 永久 ひさ子
P5-60	Autism Spectrum Disorder の特徴を持つ夫の妻の経験と変化のプロセス	東京学芸大学大学院 出口 奈緒子 東京学芸大学 朝倉 隆司#

---

P5-61 40-50年にわたる親・子ども・研究スタッフとの関係の創生(1)  
—子ども時代の自己決定体験はどう語られたか：研究の枠組みと研究方法—

立正大学 石井 富美子  
明治学院大学 藤崎 真知代  
帝京大学 杉本 真理子

---

P5-62 40-50年にわたる親・子ども・研究スタッフとの関係の創生(2)  
—子ども時代の自己決定体験はどう語られたか その1—

帝京大学 杉本 真理子  
明治学院大学 藤崎 真知代  
立正大学 石井 富美子

---

P5-63 40-50年にわたる親・子ども・研究スタッフとの関係の創生(3)  
—子ども時代の自己決定体験はどう語られたか その2—

明治学院大学 藤崎 真知代  
立正大学 石井 富美子  
帝京大学 杉本 真理子

ポスター発表 6 ..... 3月26日(日) 15:30~17:30

(在席責任時間 発表番号: 奇数 15:30~16:20; 偶数 16:30~17:20)

P6-1	講義型授業開始時における「問い」の提示について(2)	京都ノートルダム女子大学 尾崎 仁美 京都ノートルダム女子大学 松島 るみ
P6-2	算数につまずきのある生徒の認知特性に応じた個別学習支援	兵庫教育大学大学院 内山 逸子 兵庫教育大学大学院 松村 京子
P6-3	児童は授業の板書をどのように評価するのか? —教育実習生の授業を対象とした探索的検討—	明星大学 布施 光代
P6-4	発達障害児を担当する保育士の研修プログラムの開発	愛知県心身障害者コロニー 竹澤 大史 愛知県心身障害者コロニー 長田 康匡# あいち発達障害者支援センター 杉岡 真里# あいち発達障害者支援センター 梅村 紀子#
P6-5	保育者と保護者による幼児の非認知能力の評価	共立女子大学 西坂 小百合 東京学芸大学 岩立 京子 東京学芸大学 松井 智子 岡山県立大学 樟本 千里 日本女子大学 岩立 志津夫
P6-6	母子遊びの積極的介入が母親の関わりに及ぼす影響② —2歳児とその母親の相互作用に注目して—	白百合女子大学 加藤 瑠夏 白百合女子大学 秦野 悦子
P6-7	幼稚園での協働的制作場面における遊びとアート活動の差異	早稲田大学 野口 紗生 早稲田大学 宮崎 清孝
P6-8	青年後期女子の自己を定義する記憶 (SDM) —大学別による自伝的記憶は異なるのか—	日本女子大学 船越 かほる 日本女子大学 岩立 志津夫
P6-9	Xジェンダー者の性をめぐる体験に関する一考察	京都大学 町田 奈緒子
P6-10	エゴ・レジリエンスがポジティビティに与える影響(1) —Fredricksonのポジティブ情動の拡張-形成理論から—	エゴレジ研究所 畑 潮 目白大学 小野寺 敦子

P6-11	エゴ・レジリエンスがポジティブリティに与える影響(2) —Fredrickson 理論に親子関係はどのようにかかわっているか—	目白大学 エゴレジ研究所	小野寺 敦子 畑 潮
P6-12	レジリエンスの発達における環境的要因 —短期縦断調査をもとに対人関係とレジリエンスの関係について—	北海道大学 北海道大学 常葉大学	Yuejiang Hou 加藤 弘通 太田 正義
P6-13	レジリエンスの発達差 —抑うつとレジリエンスの関係についての短期縦断研究をもとに—	北海道大学 常葉大学	加藤 弘通 太田 正義
P6-14	過去の回想や再評価が Sense of Coherence へ及ぼす影響	神戸大学大学院 神戸大学	雲財 啓 齊藤 誠一
P6-15	孤独感とエフォート・コントロールの関連	くらしき作陽大学 新見公立短期大学	芝崎 良典 芝崎 美和
P6-16	高校生に対するポジティブ心理学的介入 (PPI) の効果検証 —個人の「強み」に注目する視点から—	皇学館大学	川島 一晃
P6-17	思春期における悪との接触に対する青年のとらえ直し —発達のモラルレジリエンスモデルの提案(1)：悪との接触ととらえ直しの素描—	広島国際大学	鹿罵 達哉
P6-18	短大生の精神的健康の1年間の縦断的变化 —短期大学入学時の状況—	名古屋文理大学	山本 ちか
P6-19	女子大学生の母親に対する態度・行動と関係評価の関連 —同別居による検討—	広島大学 西南学院大学	小田 真実 花田 利郎 #
P6-20	保育者志望者の親準備性 —保育者志望者と大学生との比較—	鈴鹿大学	杉山 佳菜子
P6-21	女子大学生の仕事意識と対人関係類型 —大学1年生と4年生のデータ分析—	東京家政大学 東京家政大学	武井 澄江 伏見 友里

P6-22	女子大学生の自我同一性地位と時間的展望	東京家政大学 伏見 友里 東京家政大学 武井 澄江
P6-23	キャリア意識と時間的展望 —全国の就職活動生を対象にした自由記述分析—	法政大学キャリアデザイン学部 田澤 実 法政大学キャリアデザイン学部 梅崎 修
P6-24	中学生・高校生における時間的焦点と進路課題意識の関連 —日本語版 Temporal Focus Scale (TFS-J) を用いて—	筑波大学 千島 雄太
P6-25	中高年期の夫婦における低勢力認知と離婚願望 —ペアデータの分析から—	聖徳大学 相良 順子 文京学院大学 伊藤 裕子
P6-26	子育て期の結婚コミットメントと夫婦関係	文京学院大学 伊藤 裕子 聖徳大学 相良 順子
P6-27	妊娠各期における生と死に対する態度の横断的検討	神戸大学 田中 美帆 神戸大学 齊藤 誠一
P6-28	妊娠期の女性におけるアイデンティティの変化 —母子関係における精神的自立の側面からの考察—	駒澤大学大学院 増田 綾子 駒澤大学文学部 永田 陽子
P6-29	ペットロスのサポートの検討 —喪失状況と次のペット飼育有無の理由—	帝京科学大学 濱野 佐代子
P6-30	児童養護施設で暮らすということの社会的評価(4) —かわいそうとみなされる子どもたちへの心理学的研究—	聖徳大学 齊藤 千鶴 聖心女子大学 向井 隆代 聖徳大学 佐伯 素子
P6-31	心的外傷後成長が公正世界信念の維持方略に与える影響	国立大学法人名古屋大学 原田 雅也
P6-32	先天性心疾患を持つ青年患者の「心理的自立」の発達 —健常者との比較—	東京学芸大学大学院 久保 瑤子

P6-33	1項目尺度を用いた共分散構造の再現 —抑うつ尺度を用いた検討—	大学改革支援・学位授与機構 東京大学大学院教育学研究科	登藤 直弥 河本 愛子
P6-34	伝統的男性役割尺度の作成と妥当性の検証	筑波大学大学院	渡邊 寛
P6-35	日本語版 Care-giving System Scale の作成 —確証的因子分析と信頼性係数—	東京大学大学院教育学研究科	大久保 圭介
P6-36	日本語版ワーク・ファミリー・エンリッチメント尺度の信頼性と妥当性の検討	白百合女子大学大学院	原 健之
P6-37	エフォートフルコントロールの測定 —4・5歳児を対象として—	お茶の水女子大学	内海 緒香
P6-38	高校生を対象とした学習意欲の質の簡便な測定方法開発の試み —4つのタイプの生徒像への自己評定パターンと1タイプ強制選択との比較から—	静岡大学	伊田 勝憲
P6-39	新版 K 式発達検査「語の定義」の下位項目の適切性	神戸学院大学大学院 平安女学院大学 京都教育大学 大阪大学大学院 神戸学院大学	大谷 多加志 清水 里美# 郷間 英世# 原口 喜充# 清水 寛之
P6-40	筆跡情報を用いたメンタルヘルス不調のリスクの予測	東洋大学大学院 東洋大学大学院	眞塩 悠平 川口 英夫
P6-41	Japanese Nursing Child Assessment Satellite Training (JNCAST) で評価した不妊症治療が産後1か月の母子相互作用に及ぼす影響	関西国際大学 国際医療福祉大学 国際医療福祉大学 折野産婦人科 神戸アドベントスト病院 兵庫医科大学病院 近畿中央病院 明和病院 大阪大学 大阪大学 兵庫医療大学 大阪大学	斉藤 雅子 長尾 嘉子# 高山 裕子# 折野 一郎# 近藤 勇美# 末永 真理# 林田 早美# 林 清子# 川内 恵美子# 土屋 さやか# 鈴井 江三子# 大橋 一友#

P6-42	批判的思考態度と授業認識・学校適応感との関連 —中学生・高校生の一斉授業と協働を取り入れた授業の認識の差に着目して—	東京大学教育学部附属中等教育学校	石橋 太加志
P6-43	介護経験が高齢期の老年の超越と well-being に及ぼす影響	東京都健康長寿医療センター研究所 東京健康長寿医療センター研究所 大阪大学 東京都健康長寿医療センター研究所 東京都健康長寿医療センター 慶應義塾大学大学院 University of Zurich 大阪大学 慶應義塾大学 神戸大学	栗延 孟 増井 幸恵 権藤 恭之 小川 まどか 稲垣 宏樹 石岡 良子 中川 威 小園 麻理菜# 高山 緑 片桐 恵子
P6-44	高齢期の幸福感、地域への愛着、メンバーシップの関係性とその関連要因の検討 —K2 study データを用いて—	慶應義塾大学 慶應義塾大学 東京大学 慶應義塾大学 東京都健康長寿医療センター研究所 東海大学 東京都健康長寿医療センター研究所	高山 緑 石岡 良子 菅原 育子 孫 怡# 増井 幸恵 菅沼 真樹 小川 まどか
P6-45	高齢者の「むなしさ」と精神的健康との関連 —「むなしさ」体験の有無および向き合い方に着目して—	東京大学大学院	大上 真礼
P6-46	高齢者の幸福な老いに影響する要因の検討	東北大学大学院	横田 桃
P6-47	高齢者の終活と関連要因についての探索的検討	中京大学 神戸大学 Northeastern Illinois University	川島 大輔 田中 美帆 Masami Takahashi #
P6-48	高齢者の柔軟なコミュニケーション能力 —高齢者はどの世代にも会話を合わせられる！—	愛知淑徳大学 すくすくこどもクリニック 愛知淑徳大学	坂田 陽子 神谷 真子 久保 南海子
P6-49	成人中・後期における死に対する態度と心理的 well-being	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター/日本学術振興会 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター	丹下 智香子 西田 裕紀子 富田 真紀子 大塚 礼#

P6-50	同居家族の関わりが地域高齢者のうつ傾向発生に及ぼす影響	文京学院大学 山崎 幸子
P6-51	老年期の幸福感を支える要因の研究(3) —男女別質的分析による考察—	帝京平成大学 小保方 稔子
P6-52	高齢者の運転場面での怒り反応 —近赤外線分光法(NIRS)による検討—	名古屋大学 中田 龍三郎 愛知淑徳大学 久保 南海子 名古屋大学 川合 伸幸#
P6-53	運動抑制に影響する要因の年齢差	立命館大学 土田 宣明
P6-54	メタ記憶の自己認識類型と精神的健康度との関連 —記憶の自信と衰えの自覚における年齢差からの検討—	群馬医療福祉大学 島内 晶 大阪大学 佐藤 眞一 東京成徳大学 西村 昭徳#
P6-55	空間的視点取得の身体性にみられる加齢の影響 —体性感覚刺激による活性化効果ならびに平衡性との関連について—	滋賀大学 渡部 雅之
P6-56	高齢者の生涯学習への参加動機に関する研究 —高齢者の「学ぶ」ことの意味と学習への参加動機の関連について—	東京未来大学 高橋 一公
P6-57	高齢者の注意機能と主観的注意経験との関連	立命館大学 河上 実樹
P6-58	短縮版 MMSE による後期高齢者の認知機能評価 —K2 study データを用いて—	慶應義塾大学大学院 石岡 良子 慶應義塾大学 高山 緑 東京大学 菅原 育子 東京都健康長寿医療センター研究所 増井 幸恵 東京都健康長寿医療センター研究所 小川 まどか 東海大学 菅沼 真樹
P6-59	中高年者のワーク・ファミリー・バランスと認知機能の関連 —抑うつを媒介要因とした検討—	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター/日本学術振興会 富田 真紀子 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 西田 裕紀子 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 丹下 智香子 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 大塚 礼#

P6-60	脳トレ・ドリルを介した世代間交流の試行 —放課後子ども教室におけるまなびの在り方を探る—	川村学園女子大学 北原 靖子 川村学園女子大学 蓮見 元子 千葉教育センター 神山 直子
P6-61	嗅覚イメージ能力に加齢が及ぼす影響	大阪産業大学 山本 晃輔 京都医療科学大学 富高 智成
P6-62	制御焦点傾向が世代性 (Generativity) に与える影響	関西学院大学 田渕 恵 関西学院大学 三浦 麻子 #
P6-63	都市部在住の中年期女性の世代性の関連要因	筑波大学 鈴木 淳子

P7-1	1歳児の家庭での親子の活動と発達に関連 —歌いかけ・音楽聴取と絵本読み聞かせの比較—	玉川大学 梶川 祥世 一般財団法人ヤマハ音楽振興会 森内 秀夫
P7-2	Enhanced eBook の読みあいにおける母子のやりとり —仕掛けの操作に関連したやりとりを中心に—	聖学院大学大学院 江連 さゆり 宇都宮大学 石川 由美子 京都大学大学院 佐藤 鮎美 愛知淑徳大学人間情報学部 佐藤 朝美# 聖徳大学 齋藤 有
P7-3	あやし場面における声かけと音楽の効果 —親子の心拍反応を指標として—	玉川大学大学院 吉村 麻美 玉川大学 梶川 祥世 NTT 物性科学基礎研究所 河西 奈保子# NTT コミュニケーション科学基礎研究所 麦谷 綾子#
P7-4	子どもの育ちにともなう父親の語りの変化(2) —第1子妊娠期から2歳までにおける経済的な側面に関する語りに着目して—	社) 健輝会げんき夢保育園 宮本 知子 昭和女子大学 藤崎 春代
P7-5	幼稚園の子育て相談室に対する母親のニーズについて —母親参加型の小さな集いから個別相談へ—	秋草学園短期大学 大熊 美佳子
P7-6	「音に急がない」という“音楽的な”実践 —音楽教室におけるモノを用いたプログラムと講師による評価をめぐって—	駒沢女子大学 丸山 慎 一般財団法人ヤマハ音楽振興会 森内 秀夫
P7-7	幼児の小集団における紙絵本とデジタル絵本へのかかわり	東京大学 野澤 祥子 東京大学 石井 悠
P7-8	幼児期における仲間や保育者との相互作用に関する検討 —幼児の行動決定に影響を与える仲間や保育者の影響について—	鳥取大学 高橋 千枝 鳥取大学附属幼稚園 伊奈 公子# 鳥取大学附属幼稚園 橋詰 幸美 鳥取大学附属幼稚園 濱野 智美# 鳥取大学附属幼稚園 福安 希美# 鳥取大学附属幼稚園 藤本 直美# 鳥取大学附属幼稚園 舛田 和雅子# 鳥取大学附属幼稚園 山本 紗弓#

P7-9	外在的な行動傾向のある幼児における情動調整に関する研究	東北大学大学院教育学研究科	小玉 純子
P7-10	子どもの「みんなとなかよく」の意識に関する検討 —幼児と保育者の意識と行為に着目して—	筑波大学大学院人間総合科学研究科 筑波大学人間系	高橋 智子 庄司 一子
P7-11	指さしにおける関連性の解釈方略	東京電機大学 十文字学園女子大学	小林 春美 安田 哲也
P7-12	新入園児が周りの環境に自らかかわるまでの過程 —入園当初の保育の中身をエピソード記述で描く—	広島大学附属幼稚園	松本 信吾
P7-13	生活場面のビデオデータを活用した3歳未満の対人葛藤理解のための方法的検討	九州大学 九州大学大学院人間環境学府	當眞 千賀子 日尾野 愛#
P7-14	習い事は小学生の自己効力感に影響を与えるか —習い事での成功経験、目標への意識に着目して—	神戸大学大学院 神戸大学	安藤 友里 赤木 和重
P7-15	小学校児童における「遊び」の様相について —学年・性別および生活満足度との関連から—	鹿児島大学 伊佐市立田中小学校	金 娟鏡 塚田 紀恵#
P7-16	運動やスポーツの継続性と特性的自己効力感との関連	関西福祉科学大学 追手門学院大学	宇恵 弘 辰本頼弘
P7-17	学校飼育動物作文のテキストマイニング —命の大切さと動物への愛着に焦点をあてて—	聖学院大学 和光大学 横浜国立大学	堀 恭子 いとう たけひこ 安藤 孝敏
P7-18	中学校教員の教職スキルの測定の試み	宮崎大学 宮崎大学 宮崎大学 宮崎大学 宮崎大学 宮崎大学 宮崎県教育庁学校政策課	立元 真 徳田 公威# 中岡 嵩# 富岡 直美# 川越 雅彦# 東迫 健一# 川口 直

P7-19	発達障害を持つ子ども支援における校内連携	東京女子大学大学院 東京女子大学	杉本 彩音 前川 あさ美
P7-20	療育の専門性に資する就業前教育プログラムに関する研究 —平成 26～28 年度の取り組みの分析—	鹿児島純心女子大学	有村 玲香
P7-21	インクルーシブな保育に求められる保育者の特性 —へき地保育所の保育者が描くこれからの保育者のイメージ—	北海道文教大学 東京農業大学 北海道文教大学 北海道教育大学大学院	後藤 守 後藤 広太郎 川端 愛子 植木 克美
P7-22	特別な支援ニーズがある子どもたちの保育に関わる保育者のためのエンパワメントプログラム (2) —ファシリテーターを経験した保育者のふりかえり—	昭和女子大学	石井 正子
P7-23	病棟保育士が経験する倫理的葛藤の検討	東京大学	石井 悠
P7-24	看護学生の認知症高齢者へのイメージに関する経年的変化	広島都市学園大学 広島大学大学院医歯薬保健学研究院 広島大学大学院医歯薬保健学研究院	角野 加恵子 中谷 久恵# 大塔 美樹#
P7-25	教職志望学生による非言語的行動の読み取りに関する研究 (2) —教職志望学生が抱く教師イメージが非言語的行動の読み取りに及ぼす影響—	高知大学	野中 陽一朗
P7-26	大学生の正課外活動と成長 (3) —活動内容種類数別、「正課外—正課」、「正課外—自己・日常」と自我同一性、汎用的技能との関連—	鳥取大学 岡山大学 清泉女学院大学 姫路大学 神戸大学大学院	石本 雄真 原田 新 田仲 由佳 日湯 淳子 山根 隆宏
P7-27	大学生の正課外活動と成長 (4) —活動内容別に見た、「正課外—正課」、「正課外—自己・日常」と自我同一性、汎用的技能との関連—	岡山大学 鳥取大学 神戸大学大学院 姫路大学 清泉女学院大学	原田 新 石本 雄真 山根 隆宏 日湯 淳子 田仲 由佳

P7-28	青年期女子の自我同一性達成に影響する要因 —家族、友人関係における居場所意識からの検討—	新見公立短期大学 くらしき作陽大学	芝崎 美和 芝崎 良典
P7-29	ASDのある中高生の社会性・コミュニケーションの発達を促す支援(2) —SCERTS モデルの交流型支援を参考にした縦断的記録の分析から—	東京都児童相談センター	三竹 彩賀
P7-30	ASD 児における潜在のおよび明示的な心の理論と関連する要因	東京学芸大学 東京学芸大学 東京学芸大学 名古屋学芸大学 茨城大学 武蔵野東教育センター	藤野 博 八耳 悠人 松井 智子 黒田 美保 東條 吉邦 計野 浩一郎#
P7-31	ASD 児と定型発達児における潜在的な心の理論	東京学芸大学大学院 東京学芸大学 東京学芸大学 茨城大学 武蔵野東教育センター	高橋 春香 藤野 博 松井 智子 東條 吉邦 計野 浩一郎#
P7-32	明示的・潜在的な心の理論と語用能力は ASD の検出に有効か？	東京学芸大学大学院 東京学芸大学 東京学芸大学 金沢大学 茨城大学 武蔵野東教育センター	小島 博子 藤野 博 松井 智子 大井 学 東條 吉邦 計野 浩一郎#
P7-33	ASD 児の社会的相互作用を目指した試み —アセスメントから遊びを通じた仲間関係構築支援の方向性の検討—	福山大学 株式会社みはら塾 大阪人間科学大学	金平 希 谷本 智佳# 堤 俊彦
P7-34	ASD 幼児と母親の共同注意場面における母親の発話の特徴	共立女子大学家政学部 共立女子大学家政学部 東京学芸大学国際教育センター	篠沢 薫 権藤 桂子 松井 智子
P7-35	自閉スペクトラム症者におけるパーソナルスペースの縦断変化	東京大学 茨城大学 武蔵野東教育センター 武蔵野大学 東京大学 東京大学	浅田 晃佑 東條 吉邦 計野 浩一郎# 齋藤 慈子# 長谷川 寿一# 熊谷 晋一郎#

P7-36	自閉症スペクトラム児における私的言語の音声パターン	同志社大学 嶋田 容子 京都大学 船曳 康子#
P7-37	自閉症スペクトラム児の会話における調整行為の獲得経過 —「福笑い・ピング」ゲームを通して—	文教大学 小野里 美帆
P7-38	自閉症スペクトラム障がい児における自己鏡映像理解の発達 —TD 児との比較を通して—	南部地域療育センターそよ風 加藤 弘美 名古屋芸術大学 加藤 義信
P7-39	障がい児の母親における仕事と育児の両立困難とその関連要因	茨城キリスト教大学 江尻 桂子 茨城キリスト教大学 松澤 明美#
P7-40	発達障害児をもつ母親のストレスとソーシャルサポートの関連	東京学芸大学大学院 川村 早織 東京学芸大学教育学部総合教育科学系特別支援科学講座 藤野 博
P7-41	病弱特別支援学校在籍児と家族の支援に関する調査研究 —乳幼児期から青年期の困難の分析から—	浜松学院大学 荒井 庸子 浜松学院大学 中澤 幸子
P7-42	放課後児童クラブにおける発達障害児支援 —支援に関連する放課後児童クラブの環境や援助の特性の検討—	佐賀女子短期大学 菅原 航平
P7-43	移行支援につながる発達実態把握表の作成 —園における限られた行動観察場面に着目して—	筑波大学附属大塚特別支援学校 森澤 亮介 国立大学法人筑波大学附属大塚特別支援学校 田尻 由起 筑波大学附属大塚特別支援学校 若井 広太郎
P7-44	学童保育における特別支援児童の発達支援(1) —ふれ合い遊びの実践的研修を通じた非常勤指導員の学び—	鎌倉市子育て支援室 隠村 美子 NPO 法人正讃会相談支援かみひこうき 上村 誠也 明星大学 西本 絹子 神奈川大学 古屋 喜美代 杉並区立こども発達センター 樋口 寿美 東久留米市教育センター中央相談室 浅川 南

P7-45	学童保育における特別支援児童の発達支援(2) —悩みに即したグループ編成によるディスカッションを通じた研修の効果と課題—	NPO 法人正讃会相談支援かみひこうき 鎌倉市子育て支援室 明星大学 神奈川大学 杉並区立こども発達センター 東久留米市教育センター中央相談室	上村 誠也 隠村 美子 西本 絹子 古屋 喜美代 樋口 寿美 浅川 南
P7-46	障害を持つ子どもと保護者を支える早期療育(3) —実践者の重要性の認識と法改正後の状況—	追手門学院大学 田園調布学園大学大学院	長岡 千賀 一瀬 早百合
P7-47	障害をもつ子どもと保護者を支える早期療育(4) —「気づきの支援」の重要性の認識と実践との相違—	田園調布学園大学大学院 追手門学院大学	一瀬 早百合 長岡 千賀
P7-48	授業による発達障害学生支援 —授業コメントにおける発達障害学生の特徴—	和光大学 和光大学 和光大学学生相談室	常田 秀子 辻 あゆみ 三浦 亜子#
P7-49	精神障害当事者の自己開示とリカバリー —メンタルヘルスマガジン『こころの元気+』表紙モデルの動機と理由および特集タイトルの分析—	聖隷クリストファー大学 和光大学	小平 朋江 いとう たけひこ
P7-50	発達障害への潜在的態度と障害に関する知識との関連	東北大学 東北大学 九州大学	横田 晋務 松崎 泰 田中 真理
P7-51	発達障害者におけるコミュニケーション障害の検討	都留文科大学 日本女子大学	中川 佳子 小山 高正
P7-52	発達障害的特性を有する児童における他者との関係性が対人葛藤場面の対処方略に与える影響	長崎短期大学	藤野 正和
P7-53	親子相互作用遊びと養育者の遊びにおける対処可能感との関連	倉敷市立短期大学 倉敷市立短期大学 立正大学 川崎医療福祉大学 川崎医療福祉大学 川崎医療福祉大学	門田 昌子 及川 直樹# 奥富 庸一# 寺崎 正治 武井 祐子 竹内 いつ子#

P7-54	気質特徴に適合したベビーマッサージプログラムの効果検証	川崎医療福祉大学 武井 祐子 倉敷市立短期大学 門田 昌子 立正大学 奥富 庸一# 川崎医療福祉大学 竹内 いつ子# 川崎医療福祉大学大学院 定守 加奈子 川崎医療福祉大学 寺崎 正治
P7-55	身体疾患によらない身体症状を主訴とする児の知的能力	埼玉県立小児医療センター 森 秀都
P7-56	児童期の攻撃性の構造関係が共感関連反応に及ぼす影響	大阪人間科学大学 勝間 理沙
P7-57	小学生年代の学校適応感と不登校	公立大学法人岡山県立大学 井上 幸子 国立成育医療研究センター社会医学研究部行動科学研究室 加藤 承彦# 岡山大学大学院環境生命科学研究科人間生態学講座 頼藤 貴志#
P7-58	学校ざらいな大学生のサブタイプとその居場所(1) —フツ—の大学生とモヤモヤを抱えた大学生—	広島大学 池田 龍也 広島大学 高野 恵代
P7-59	学校ざらいな大学生のサブタイプとその居場所(2) —「転出渴求群」における『自己模索群』と『平均群』の居場所の比較—	広島大学大学院教育学研究科 高野 恵代 広島大学保健管理センター 池田 龍也
P7-60	アクセプタンスとして機能する「諦める」の特徴 —青年期後期・成人期前期における再選択型の自由記述データから—	東京大学 菅沼 慎一郎 東京大学 浦野 由平
P7-61	DV 被害者相談員対象研修プログラムの開発と効果(1) —受講者アンケートの分析—	徳島大学 井ノ崎 敦子
P7-62	要保護児童対策地域協議会担当部署職員のストレス —職業性ストレスの状況とストレス・コーピングの検討から—	浦和大学 丸谷 充子
P7-63	若者向け夫婦コミュニケーション・プログラムの作成の試み	広島国際大学 大島 聖美
P7-64	セクシュアル・アイデンティティ発達とカミングアウトの関連	広島大学 野仲 真理子 広島大学 岡本 祐子 広島大学 太田 美里

P8-1	5・6歳児における感謝の理解と仲間関係	大阪大学 清水(加藤) 真由子 大阪大学 青木 奈美# 大阪大学 金澤 忠博 大阪大学 日野林 俊彦
P8-2	メンタルヘルスに関する講義を通じた向社会的態度の養成 —文系学部・理系学部の比較から—	大阪大学 山村 麻予 大阪大学 平井 啓# 大阪大学 足立 浩洋# 京都大学 谷向 仁#
P8-3	愛着スタイルと攻撃性、嫉妬、および葛藤解決方略との関連	福山大学 赤澤 淳子
P8-4	拒絶感受性が「ふつう」志向性に及ぼす影響 —同一被験者内の感情反応を指標とした検討—	日本教育大学院大学 黒石 憲洋 関東学院大学 佐野 予理子
P8-5	幼児における他者の意図理解と社会的問題解決能力の発達 —視点の影響に着目して—	神戸大学大学院 山野 悦子
P8-6	幼児のゲーム遊び場面におけるルール崩壊過程の性差	大分県立芸術文化短期大学 藤田 文
P8-7	幼児の文化的背景における自己調整の発達 —特に日本と米国の幼児の言語の選択過程における自己調整を中心に—	帝京大学 中田 栄
P8-8	幼児期における自己と他者の認識(7) —友だちとの関係性の違いは、対人理解のどんな側面にあらわれるか?—	東京経済大学 野田 淳子
P8-9	幼児期後期における笑われる不愉快さに対する理解 —心理的苦痛課題と身体的苦痛課題の比較—	名古屋女子大学短期大学部 伊藤 理絵
P8-10	異年齢ペアによるこどもの造形活動における視線分析	鳥取大学 武田 信吾

P8-11	乳児感情の読み取りにおける前頭前野活動(2) —乳幼児を養育中の父母を対象として—	昭和女子大学 松澤 正子
P8-12	表情知覚の発達：選好注視のふるまいから脳内基盤を探る —乳幼児の視線計測と成人のfMRI計測をもとに—	同志社大学 松田 佳尚 同志社大学 谷口 康祐# 同志社大学 小西 行郎
P8-13	きょうだいの相互作用に関する研究 X V III —葛藤を超えて—	埼玉県立大学 和田 香誉
P8-14	親子の共同発達として捉えた子どもの自己制御機能(12) —2歳代の子どもの自己主張・抑制的行動の理由—	大阪教育大学 高橋 登 東京理科大学 竹尾 和子 東京理科大学 渡辺 忠温 白百合女子大学 渡部 朗代
P8-15	親子の共同発達として捉えた子どもの自己制御機能(13) —2歳代の子どもの自己制御的行動に対する母親の対応の理由—	東京理科大学 竹尾 和子 東京理科大学 渡辺 忠温 大阪教育大学 高橋 登 白百合女子大学 渡部 朗代
P8-16	親子の共同発達として捉えた子どもの自己制御機能(14) —2歳代の母子の自己主張をめぐる行動とその理由づけとの関連—	東京理科大学 渡辺 忠温 大阪教育大学 高橋 登 東京理科大学 竹尾 和子 白百合女子大学 渡部 朗代
P8-17	スマートフォンなどメディアが親子に与える影響について —親子のメディアを用いたやり取り場面の行動観察から—	関西福祉科学大学大学院 大寺 あゆみ 関西福祉科学大学 谷向 みつえ
P8-18	母親に対する中学生のいらだち感と自我同一性との関連	東洋学園大学 福田 佳織
P8-19	初産女性における「母性愛」信奉傾向に関する語りの産前産後比較	愛媛大学 江上 園子
P8-20	自閉スペクトラム症者は複数の他者の顔を瞬時に観察するか？	山形県立保健医療大学 佐竹 真次

P8-21	自閉症スペクトラム障害成人は自分や他者の感情をどう語るか —対人的な感情体験の発話内容分析による検討—	首都大学東京 西田 麻野 首都大学東京 須田 治
P8-22	仮想的有能感が大学生の感情生起・表出に及ぼす影響	甲南大学大学院 吉川 詩織
P8-23	性別の根拠に関する成人前期の意識	四天王寺大学 上野 淳子
P8-24	青年期における同性愛への態度に関する研究 —ジェンダー・アイデンティティおよび同性愛についての知識に着目して—	東北大学 登坂 如恵
P8-25	成人のボランティア動機の構造と年代差	筑波大学 山本 陽一
P8-26	仕事要因がメンタルヘルスに及ぼす影響の分析	元智大学 糠 明珊
P8-27	防衛的悲観主義者は「心配」をどうとらえているのか	金沢大学 荒木 友希子 金沢大学 曾澤 菜月#
P8-28	状況的規範が「ふつう」認知および気分に及ぼす影響 —独自性欲求の観点から—	関東学院大学 佐野 予理子 日本教育大学院大学 黒石 憲洋
P8-29	幼児～大学生は「喜び」「悲しみ」「怒り」を表すために何色を使うか？	日本女子体育大学 中道 直子 日本女子体育大学 小野寺 めぐみ
P8-30	感情制御場面のコルチゾール分泌量と心理的要因の文化差 —一日米中データからの検討—	東京女子大学 風間 みどり 東京女子大学 平林 秀美 University of Michigan Tardif Twila# 北京大学 Wang Li# 東京女子大学 唐澤 真弓
P8-31	18歳選挙権・民主主義・社会展望に対する大学生の態度	大阪教育大学 白井 利明
P8-32	ディズニープリンセス映画の人気に関する一考察 —挿入曲の分析を通して—	エリザベト音楽大学非常勤講師 熊野 みき 無所属 大土居 実咲# エリザベト音楽大学 壬生 千恵子#

P8-33	若年無業者支援に Generativity が及ぼす影響について —中高年男性による NPO 法人での支援活動に焦点をあてて—	NPO 法人キャリアデザイン研究所 筑波大学大学院	田中 大川	小百合 一郎
P8-34	ペアレントトレーニングを保育の視点へ汎用するためのプログラムの検討(1) —A 市内における講座の事例を通して—	福岡県立大学 たかはし心のクリニック	中藤 酒井	広美 志織
P8-35	ペアレントトレーニングを保育の視点へ汎用するためのプログラムの検討(2) —A 市内における研修会の事例を通して—	たかはし心のクリニック 福岡県立大学	酒井 中藤	志織 広美
P8-36	子どもの行動をどのようにほめているのか I —自己の承認欲求・自己賞賛欲求が子どもへのほめ行動に与える影響—	尚綱学院大学 聖和学園短期大学 尚綱学院大学 聖和学園短期大学	小泉 飯島 池田 小野	嘉子 典子 和浩 # 真喜子 #
P8-37	子どもの行動をどのようにほめているのか II —保育者養成校における学生の子どものとのかかわり経験と子どもへのほめ行動との関連—	聖和学園短期大学 尚綱学院大学 尚綱学院大学 聖和学園短期大学	飯島 小泉 池田 小野	典子 嘉子 和浩 # 真喜子 #
P8-38	幼児の協調性と親の子育てスタイルとの関係 —親評定尺度を用いた検討—	文教大学 文教大学 埼玉大学 帝京科学大学 あきる野市教育相談所	名尾 登張 首藤 大山 田村	典子 真稲 敏元 智子 沙織
P8-39	小学生の役割取得、他者への配慮、規則遵守の性差と学年差	文教大学 文教大学 埼玉大学 帝京科学大学 あきる野市教育相談所	登張 名尾 首藤 大山 田村	真稲 典子 敏元 智子 沙織
P8-40	親評定による児童の協調性と習い事との関係	帝京科学大学 文教大学 文教大学 埼玉大学 あきる野市教育相談所	大山 登張 名尾 首藤 田村	智子 真稲 典子 敏元 沙織

P8-41	幼児と児童の協調性ときょうだい構成との関連性 —親評定尺度を用いた検討—	あきる野市教育相談所 田村 沙織 文教大学 登張 真稲 文教大学 名尾 典子 埼玉大学 首藤 敏元 帝京科学大学 大山 智子
P8-42	スリルのある遊びについての価値が遊びの管理に及ぼす影響	広島大学 平川 真 広島大学 上山 瑠津子 福山市立大学 倉盛 美穂子 鈴峯女子短期大学 平田 香奈子# 広島大学 杉村 伸一郎
P8-43	幼児期から小学生の家庭教育縦断調査(1) —幼児期における絵本の読み聞かせ活動が子どもの言語発達に与える影響について—	目白大学 荒牧 美佐子 ベネッセ教育総合研究所 田村 徳子 ベネッセ次世代育成研究所 高岡 純子 神戸学院大学 都村 聞人 東京大学 秋田 喜代美 白梅学園大学 無藤 隆
P8-44	幼児期から小学生の家庭教育縦断調査(2) —幼小移行期の言葉スキルの成長に、子ども自身のスキルと親の関わりはどう影響するか—	ベネッセ教育総合研究所 田村 徳子 ベネッセ次世代育成研究所 高岡 純子 目白大学 荒牧 美佐子 神戸学院大学 都村 聞人 東京大学 秋田 喜代美 白梅学園大学 無藤 隆
P8-45	「他者とつながる」力を育む保育(3) —二者関係の敏感性と集団的敏感性—	北海道教育大学 川端 美穂 札幌国際大学 木村 彰子
P8-46	「他者とつながる」力を育む保育(4) —「二人称的かわり」への糸口—	札幌国際大学 木村 彰子 北海道教育大学 川端 美穂
P8-47	保育者はリテラシー指導といかに向き合おうとしているか —読み書き・文字に関わる保育者の指導観尺度の開発—	香川大学 松本 博雄 香川短期大学 常田 美穂

P8-48	幼稚園での保護者との関係づくりの取り組みが保護者の満足度にどのように影響を与えるのか 常葉大学短期大学部 大村 壮
P8-49	保育における要支援児への支援内容 —A 市保育巡回相談後の調査から— 川崎市こども未来局 大島 真里子 白百合女子大学 秦野 悦子 帝京平成大学 瀬戸 淳子 帝京平成大学 野村 直子 川崎市こども未来局 佐藤 今日子 川崎市こども未来局 伊藤 美咲 川崎市こども未来局 伊藤 麻美 (株)日本保育総合研究所 新沼 優理
P8-50	保育巡回相談をすすめるために保育士はどのように保護者の承諾を得ているか(2) —「依頼までの経過」用紙に記入された自由記述の質的分析— (株)日本保育総合研究所 新沼 優理 白百合女子大学 秦野 悦子 帝京平成大学 瀬戸 淳子 帝京平成大学 野村 直子 川崎市こども未来局 佐藤 今日子 川崎市こども未来局 大島 真里子 川崎市こども未来局 伊藤 美咲 川崎市こども未来局 伊藤 麻美
P8-51	保育巡回相談をすすめるために保育士はどのように保護者の承諾を得ているか(3) —A 市における相談歴の有無による差の検討— 川崎市子ども未来局 佐藤 今日子 白百合女子大学 秦野 悦子 帝京平成大学 瀬戸 淳子 帝京平成大学 野村 直子 川崎市子ども未来局 大島 真里子 川崎市子ども未来局 伊藤 美咲 川崎市子ども未来局 伊藤 麻美 (株)日本保育総合研究所 新沼 優理
P8-52	特別支援教育における被虐待児への対応に関する研究(12) —被虐待児の有無と特別支援教育との関係性について— 池坊短期大学 林 幸範 帝京科学大学 石橋 裕子 鹿児島大学 今林 俊一 池坊短期大学 太田 裕生
P8-53	特別支援教育における被虐待児への対応に関する研究(13) —被虐待児の有無とその規定要因との関係性について— 帝京科学大学 石橋 裕子 池坊短期大学 林 幸範 鹿児島大学 今林 俊一 池坊短期大学 太田 裕生

P8-54	非行化した少年に対する児童自立支援施設の支援効果 —入退所時の変化と関連する要因の検討—	国立武蔵野学院 大原 天青 地域療育センターあおば 若杉 夏樹
P8-55	道徳教育均質化志向尺度作成の試み(1)	梅花女子大学 目久田 純一 宮城教育大学 越中 康治
P8-56	道徳教育均質化志向尺度作成の試み(2)	宮城教育大学 越中 康治 梅花女子大学 目久田 純一
P8-57	小中一貫校・非一貫校における子どもの発達・適応(7) —レジリエンスに着目して—	和光大学 高坂 康雅 中央大学 都筑 学 東北大学 岡田 有司 常葉大学 金子 泰之
P8-58	小中一貫校・非一貫校における子どもの発達・適応(8) —ソーシャルサポートに着目して—	中央大学 都筑 学 東北大学 岡田 有司 常葉大学 金子 泰之 和光大学 高坂 康雅
P8-59	小中一貫校・非一貫校における子どもの発達・適応(9) —学校生活の諸領域における適応に着目して—	東北大学 岡田 有司 常葉大学 金子 泰之 和光大学 高坂 康雅 中央大学 都筑 学
P8-60	小中一貫校・非一貫校における子どもの発達・適応(10) —学習動機づけに着目して—	常葉大学 金子 泰之 和光大学 高坂 康雅 中央大学 都筑 学 東北大学 岡田 有司
P8-61	アクティグラフは乳児の利き手を測定できるのか？	大阪人間科学大学 鈴木 国威
P8-62	歩行の発達と部屋の環境 —乳児の歩行開始の戦略—	東京大学 西尾 千尋 東京大学 佐々木 正人

---

P8-63 漢字の記憶過程と方略が脳波に与える影響

大阪河崎リハビリテーション大学 高橋 泰子  
大阪河崎リハビリテーション大学 石川 健二

---

P8-64 連言型推論における様相未分化

早稲田大学 中垣 啓

# 人物索引

※数字は、発表番号を示します。

## 記号

**KL1** 基調講演

**IL1～IL2** 招待講演

**AS1～AS6** 大会委員会企画シンポジウム

**BS1～BS3** 日本発達心理学会企画シンポジウム

**CS1～CS3** 日本発達心理学会・他学会等共催シンポジウム

**DS1～DS3** 関連団体企画シンポジウム

**SL1** 日本発達心理学会学会賞（論文賞）受賞者小講演

**TS1～TS2** チュートリアル・セミナー

**SS1-1～SS8-3** 会員企画 自主シンポジウム

**RT1-1～RT8-3** 会員企画 ラウンドテーブル

**P1-1～P8-64** ポスター発表

※太字の発表番号は、筆頭発表者を示します。

※氏名の後の#は、会員でない方を示します。

<b>【A】</b>			<b>【E】</b>		<b>【H】</b>	
阿部 かほり	<b>P1-22</b>		江上 園子	<b>P8-19</b>	萩原 拓	SS4-3, SS8-3
足立 浩洋#	P8-2		江尻 桂子	<b>P7-39</b>	計野 浩一郎#	P3-44, P4-57,
足立 智昭	DS2, DS3		遠藤 純子	<b>P4-13</b>		P5-14, P5-19,
相澤 雅文	RT4-1		遠藤 利彦	CS2, SS3-1,		P7-30, P7-31,
赤木 和重	BS2, P7-14			SS7-3, SS8-3		P7-32, P7-35
赤澤 淳子	P2-18, <b>P8-3</b>		榎本 淳子	<b>P1-67</b>	白馬 智美	P2-31
明地 洋典	P5-14, <b>P5-19</b>		越中 康治	P8-55, <b>P8-56</b>	濱田 祥子	<b>P3-23</b>
安芸戦士 メープルAS1			江連 さゆり	<b>P7-2</b>	浜田 寿美男#	SS7-2
カイザー#					濱野 佐代子	<b>P6-29</b>
秋田 喜代美	P4-10, P8-43,		<b>【F】</b>		濱野 智美#	P7-8
	P8-44		Fromm M. Gerard#	KL1, IL2	浜谷 直人	RT5-2
天井 響子	<b>P4-30</b>		藤本 直美#	P7-8	濱浦 弘美#	P2-59
天谷 祐子	<b>P5-31</b>		藤村 宣之	P2-20, <b>P4-38</b>	花田 利郎#	P6-19
安藤 寿康	RT4-4, <b>P2-56,</b>		藤野 博	SS5-3, P3-43,	塙 美由貴	<b>P3-63</b>
	P4-48			P3-44, P4-57,	半澤 礼之	<b>BS2, RT7-3</b>
安藤 孝敏	P7-17			<b>P7-30,</b> P7-31,	原 健之	<b>P6-36</b>
安藤 友里	<b>P7-14</b>			P7-32, P7-40	原田 知佳	<b>P2-23</b>
青木 美和子	RT6-4		藤野 正和	<b>P7-52</b>	原田 恵理子	RT3-3, P1-5
青木 奈美#	P8-1		藤岡 淳子#	SS3-2	原田 新	P7-26, <b>P7-27</b>
青木 直子	<b>P5-47</b>		藤崎 春代	<b>P3-3,</b> P7-4	原口 喜充#	RT3-1, P6-39
青木 多寿子	<b>P1-21</b>		藤崎 真知代	CS1, P5-61,	原田 雅也	<b>P6-31</b>
青山 慶	<b>P5-54</b>			P5-62, <b>P5-63</b>	針生 悦子	P4-39, <b>P4-49,</b>
青山 謙二郎	P4-55			<b>RT3-3</b>		P5-17
青山 新吾	<b>RT1-1</b>		藤澤 文	P4-48	長谷川 智子	SS5-1
青山 翔	<b>P5-43</b>		藤澤 啓子	<b>P3-14</b>	長谷川 寿一#	P5-14, P5-19,
荒井 庸子	<b>P7-41</b>		藤澤 翠美花	<b>P8-6</b>		P7-35
荒木 穂積	P3-70		藤田 文	<b>P8-6</b>	橋本 光平#	SS3-2
荒木 美知子	<b>P3-70</b>		藤田 清澄	<b>RT7-2</b>	橋本 望#	P1-57
荒木 友希子	<b>P8-27</b>		藤谷 智子	<b>P3-9</b>	橋彌 和秀	RT4-4, RT8-2,
荒牧 美佐子	<b>P8-43,</b> P8-44		藤原 誠	RT3-3		P5-6
有村 玲香	<b>P7-20</b>		藤原 善美	<b>P1-56</b>	橋詰 幸美	P7-8
浅田 晃佑	<b>P7-35</b>		深谷 博子	<b>P4-1</b>	蓮見 元子	P2-42, P6-60
浅川 南	P7-44, P7-45		深谷 優子	P5-41	畑 潮	P4-29, <b>P6-10,</b>
朝倉 隆司#	P5-60		福田 佳織	<b>P8-18</b>		P6-11
浅野 良輔#	P2-23		福田 健	<b>P4-37</b>	畠山 美穂	RT7-4
麻生 武	DS1, RT8-3		福留 広大#	P5-34	秦野 悦子	CS1, SS2-3,
芦澤 清音	RT5-2		福丸 由佳	P3-51		P1-28, P2-10,
麻生 典子	SS2-1, <b>P1-54,</b>		福本 有紗	<b>P3-20</b>		P2-58, P3-52,
	P5-29		福永 真理奈	P1-64		P3-64, P6-6,
東 敦子	RT4-1		福安 希美#	P7-8		P8-49, P8-50,
			船曳 康子#	P7-36		P8-51, DS1,
			船越 かほる	<b>P6-8</b>		P4-9
			古池 若葉	P1-37	畑野 快	AS2, BS2
<b>【B】</b>			古谷 嘉一郎	<b>P2-11</b>	服部 敬子	<b>P4-40</b>
番田 清美#	RT5-1		古屋 喜美代	SS2-1, P7-44,	早川 貴子	<b>P5-10</b>
番匠谷 博之	<b>P4-59</b>			P7-45	早野 留果	<b>P4-43</b>
別府 悦子	<b>SS5-2</b>		布施 光代	<b>P6-3</b>	林 安紀子	P4-43
別府 哲	AS6, SS5-2,		伏見 友里	P6-21, <b>P6-22</b>	林 清子#	P6-41
	SS7-4		二村 郁美	<b>P5-24</b>	林 朋子	RT1-2
坊農 真弓#	P3-66				林 幸範	<b>P8-52,</b> P8-53
<b>【C】</b>			<b>【G】</b>		林田 早美#	P6-41
張 貞京	<b>P4-11</b>		郷間 英世#	P6-39	日尾野 愛#	P7-13
千島 雄太	<b>P6-24</b>		五味 美奈子	SS2-1	肥田 竜馬#	P4-4
			権藤 桂子	P7-34	日高 昇平#	SS4-1
<b>【D】</b>			権藤 恭之	RT4-5, P1-46,	比嘉 佳代	P4-16
出口 奈緒子	<b>P5-60</b>			P6-43	檜垣 栄慈	<b>P1-30</b>
土井 晶子#	P1-16		ゴスリン ピエール#	P5-12	東村 知子	RT1-5, <b>P4-7</b>
土井 豊恵	<b>P2-59</b>		後藤 広太郎	P7-21	東迫 健一#	P7-18
堂坂 更夜香	P5-50		後藤 守	P5-40, <b>P7-21</b>	日湯 淳子	P7-26, P7-27
			後藤 聡	<b>P1-35</b>		



加藤 道代	<b>P3-13</b>	北田 沙也加	RT8-3, <b>P2-32</b>	久保山 茂樹	RT1-1
加藤 瑠夏	<b>P6-6</b>	北川 恵	SS3-1	工藤 芳幸	<b>SS7-2</b>
加藤 孝士	<b>P3-18</b>	北川 小有里 #	SS5-2	熊谷 恵子	P5-7
加藤 承彦 #	P7-57	北原 靖子	P2-42, P3-30, P5-21, P5-36, <b>P6-60</b>	熊谷 高幸	<b>P1-39</b>
加藤 義信	AS3, BS2, <b>RT7-1, P7-38</b>			熊谷 晋一郎 #	P7-35
勝間 理沙	<b>P7-56</b>	北島 歩美	SS3-1	熊野 みき	<b>P8-32</b>
桂田 恵美子	P2-2, P2-18	北梶 陽子 #	AS4	熊坂 洋 #	P1-3
勝浦 眞仁	RT1-1	北野 幸子 #	CS2	蔵満 百佳	<b>P4-24</b>
川端 愛子	P5-40, P7-21	木内 妙子 #	SS7-1	倉盛 美穂子	P8-42
川端 美穂	<b>P8-45, P8-46</b>	小林 千嘉子	<b>P2-31, P3-50</b>	蔵本 真紀子	<b>P3-65</b>
川邊 一申	<b>P5-29</b>	小林 春美	<b>P7-11</b>	栗延 孟	<b>P6-43</b>
川越 雅彦 #	P7-18	小林 秀之 #	P3-56	栗山 容子	<b>P1-51</b>
川口 英夫	P6-40	小林 恵 #	P5-38	黒田 美保	<b>SS2-3, SS4-3,</b> P7-30
河口 和也 #	AS4	小林 真	<b>P4-31</b>	黒石 憲洋	<b>P8-4, P8-28</b>
川口 直	P7-18	小林 朋子	<b>P3-22</b>	来栖 清美 #	P3-11
河原 美彩子 #	P1-31	甲田 菜穂子	P2-48	日下 菜穂子	<b>SS3-2</b>
河原 紀子	P2-6	小平 朋江	<b>P7-49</b>	草野 いづみ	<b>RT1-2</b>
河川 健司 #	P3-49	小玉 純子	P2-8, <b>P7-9</b>	樟本 千里	P6-5
河合 健年	<b>P5-30</b>	古賀 松香	P4-7	久津美 志保	<b>P2-48</b>
川合 伸幸 #	P6-52	向後 千春	P5-50		
川上 文人	<b>P5-5</b>	小泉 智世	<b>P3-50</b>	<b>[M]</b>	
河上 実樹	<b>P6-57</b>	小泉 嘉子	<b>P8-36, P8-37</b>	町田 奈緒子	<b>P6-9</b>
川本 哲也	AS2, <b>P1-10</b>	小島 博子	<b>P7-32</b>	前田 早紀	<b>P2-14, P3-42,</b> P3-45, P4-63
川村 華代 #	P2-59	小島 康次	AS3, SS1-4	前川 あさ美	P4-24, P7-19
川村 早織	<b>P7-40</b>	小島 康生	<b>P5-3</b>	前川 浩子	<b>RT7-5</b>
河村 暁 #	AS6	小嶋 佳子	<b>P4-33</b>	前川 圭一郎 #	RT4-2
川野 健治	SS2-2	小松 孝至	<b>RT5-5</b>	眞榮城 和美	RT7-5, P4-12
川崎 聡大	P5-9	小松 和佳	<b>P3-1</b>	眞柄 翔太 #	P3-55
川崎 采香	<b>P1-47</b>	米田 英嗣	IL1	馬飼野 陽美	P4-22
河瀬 諭 #	RT8-2	小峰 桂子	RT8-3	牧野 光里	RT6-1
川島 大輔	<b>SS2-2, P6-47</b>	河本 愛子	SS7-3, <b>P5-48,</b> P6-33	牧野 寛子	<b>P2-10</b>
川島 一晃	<b>P6-16</b>			牧野 遼作	RT6-5, <b>P3-66</b>
川嶋 健太郎	<b>P2-42</b>	小中 佳子	<b>P4-29</b>	蒔田 恭子	P3-42, P3-45, <b>P4-17</b>
川内 恵美子 #	P6-41	近藤 清美	SS2-3	丸谷 充子	<b>RT6-2, P7-62</b>
萱村 朋子	P4-5	近藤 恵	SS2-2	丸山 真名美	<b>P4-52</b>
萱村 俊哉	<b>P4-5</b>	近藤 龍彰	<b>P5-13</b>	丸山 慎	<b>RT8-2, P7-6</b>
風間 惇希	P1-62	近藤 勇美 #	P6-41	榎木 史子	RT5-1
風間 みどり	P5-1, <b>P8-30</b>	小西 央郎 #	AS1	正高 信男 #	P4-58
数井 みゆき	<b>SS3-1, P4-27</b>	小西 行郎	SS8-3, RT2-4, P8-12	真下 知子 #	P4-11
木田 重果 #	P3-11			眞塩 悠平	<b>P6-40</b>
木谷 俊介 #	RT2-4	糠野 亜紀	<b>P1-7</b>	増田 綾子	<b>P6-28</b>
木戸 彩恵	RT5-5, <b>P2-28</b>	河野 智佳子	P3-34	増田 恵	<b>P5-12</b>
木原 久美子	<b>P4-2</b>	高坂 康雅	<b>SS6-2, RT3-2,</b> <b>P8-57, P8-58,</b> P8-59, P8-60	増田 貴人	SS1-3
木川 智美	<b>P5-20</b>			舛田 和雅子 #	P7-8
菊池 由葵子	<b>P5-14, P5-19</b>			増田 優子	P4-36
金 娟鏡	<b>P7-15</b>	小谷 正登	<b>P3-11</b>	増井 幸恵	RT4-5, P6-43, P6-44, P6-58
木村 彰子	P8-45, <b>P8-46</b>	小谷 慎一 #	P3-49	増山 由香里	<b>RT6-4</b>
木村 あやの	P1-40	香曾我部 琢	<b>RT2-2, RT7-2,</b> <b>P4-8</b>	松原 亜友美	<b>P5-59</b>
木村 美奈子	<b>BS3</b>			松原 未季	<b>P4-6</b>
金武 育子	P4-16	神谷 真由美	<b>P1-17</b>	松田 ことの #	P1-45
杵鞭 広美	<b>P4-50</b>	小山 高正	P7-51	松田 久美	<b>P1-41</b>
木野 和代 #	P3-4	子安 増生	BS1, CS1	松田 佳尚	<b>P8-12</b>
木下 雅博	<b>P3-8</b>	小園 麻理菜 #	P6-43	松館 敬太 #	SS7-4
木下 孝司	RT2-1	久保 南海子	<b>P2-65, P6-48,</b> P6-52	松井 愛奈	<b>P2-36</b>
木下 友葉 #	P4-43			松井 智子	P3-44, P4-57, P6-5, P7-30,
岸田 久世 #	P2-59	久保 瑠子	<b>P6-32</b>		
岸本 記公野	P5-43	久保 ゆかり	<b>P5-15</b>		
岸本 健	P4-44	久保田 一男 #	RT6-3		
岸野 麻衣	<b>P5-37</b>	久保田 鈴美 #	RT6-3		

	P7-31, P7-32, P7-34	宮田 真宏# 宮崎 清孝 宮崎 孝子	P4-4 P6-7	中藤 広美 中垣 啓	<b>P8-34</b> , P8-35 AS3, RT7-1, <b>P8-64</b>
松井 豊	P3-63	三好 昭子	<b>P5-28</b> SS1-2, SS6-2	中川 裕美#	P1-16
松熊 亮	<b>P1-25</b>	三好 力	<b>P4-25</b> AS2, SS1-2	中川 威	RT4-5, P1-46, P6-43
松森 直美	P3-12	溝川 愼一	BS3, <b>P5-11</b>	中川 佳子	<b>P7-51</b>
松本 惠美	P2-8, <b>P2-47</b>	溝川 藍	P2-39, <b>P5-23</b>	中間 玲子	KL1
松本 博雄	BS2, <b>P8-47</b>	三島 瑞穂	P2-19	中道 圭人	<b>RT7-4, P1-44</b>
松本 寿弥#	IL2	望月 聡#	P2-6	中道 直子	RT7-4, <b>P8-29</b>
松本 聡子#	P4-12	百瀬 桂子#	<b>P7-55</b> <b>P2-66</b>	中村 和夫#	RT7-1
松本 信吾	<b>P7-12</b>	森 秀都	AS6, BS1	中村 晋介#	P5-56
松本 有貴#	P1-68	森 和子	<b>AS4</b> , RT3-2, <b>P5-34</b>	中西 良文	RT5-4
松元 佑	<b>P4-56</b>	森永 康子	AS5, SS6-3 RT3-4	中西 由里	DS3
松村 京子	P3-7, P5-43, P6-2	森岡 正芳	P1-16	仲野 真史	SS6-1, RT3-4
松永 倫子	<b>P2-5</b>	森下 俊一	<b>AS6</b> SS3-1	仲野 みこ	RT3-4, P5-7
松永 しのぶ	<b>P1-40</b>	森下 雄輔#	P5-42	中野 修	<b>P1-15</b>
松浪 桂#	P2-59	森田 愛子	RT8-2, P7-1, P7-6	中野 茂	SS8-1
松野 隆則#	P1-40	森田 展彰	<b>RT4-2</b> <b>P7-43</b>	中野 真悟	<b>P3-25</b>
松尾 歩#	P1-33	森田 展彰	<b>RT1-5</b> , RT5-5, P4-6	中岡 嵩#	P7-18
松尾 伸枝	<b>P3-64</b>	森谷 恭子	P4-6	中島 伸子	<b>SS7-1</b>
松岡 弥玲	RT4-5	森内 秀夫	RT8-2, P7-3	中田 龍三郎	<b>P6-52</b>
松岡 太郎#	P2-59	森脇 愛子	SS7-1	中田 栄	<b>P8-7</b>
松瀬 留美子	<b>P3-39</b>	森澤 亮介	<b>P1-57</b> , P6-30	中谷 久恵#	P7-24
松島 公望	AS2, P1-13, <b>P2-27</b>	本山 方子	<b>P1-58</b> <b>P5-36</b>	中谷 陽輔	SS8-2
松島 るみ	<b>P5-58</b> , P6-1	麦谷 綾子#	<b>P2-44</b> <b>P1-43</b>	中坪 史典	<b>P4-10</b>
松好 伸一	<b>P2-29</b>	向井 隆久	<b>P1-43</b> <b>P1-52</b>	中分 遥#	RT4-4
松崎 敦子	SS2-3	向井 隆代	P4-12	中山 千秋	<b>P5-26</b>
松崎 洋子	<b>SS8-1</b>	村井 史香	RT8-1, <b>P2-16</b>	中山 満子	<b>P5-27</b>
松崎 泰	<b>P5-9</b> , P7-50	村井 桃香	P8-43, P8-44	中山 悠太郎	<b>P4-23</b>
松澤 明美#	P7-39	村上 涼	P2-5	中澤 潤	RT7-4
松澤 正子	<b>P8-11</b>	村上 太郎	<b>P2-44</b> <b>P1-43</b>	中澤 幸子	P7-41
目久田 純一	<b>P8-55</b> , P8-56	村上 八千世	<b>P1-52</b> P4-12	中園 佐恵子	<b>P1-48</b>
孟 憲巍	<b>RT4-4, P5-6</b>	村松 志野#	<b>P1-52</b> P4-12	難波 久美子	P5-30
目良 秋子	<b>P1-18</b>	村田 朱美	RT8-1, <b>P2-16</b>	七木田 敦	AS1
壬生 千恵子#	P8-32	無藤 隆	P8-43, P8-44	名尾 典子	<b>P8-38</b> , P8-39, P8-40, P8-41
三國 隆子	RT1-2, <b>P4-41</b>	明和 政子	P2-5	成田 朋子	P2-51
南 憲治	P2-60, <b>P3-17</b> , P5-53	【N】		成田 迅#	SS3-2
南 徹弘	P2-70	鍋田 智広	<b>P1-49</b> RT6-4	名取 洋典	<b>RT5-4</b>
見並 優子	<b>P3-52</b>	長橋 聡	P2-64, P5-59	根ヶ山 光一	BS1, P2-6, P5-3
嶺 哲也	<b>P1-12</b>	永久 ひさ子	<b>P5-52</b> SS5-3, <b>P3-42</b> , P3-45, P4-17, P4-63	根岸 由紀	SS1-3
峰尾 菜生子	<b>P1-11</b>	永井 知子	P3-45, P4-17, P4-63	新沼 優理	P8-49, <b>P8-50</b> , P8-51
箕輪 潤子	P4-10	永井 祐也	P1-51	二宮 克美	<b>P3-16</b>
三隅 輝見子	SS8-3	永野 結香	P6-41	西田 麻野	<b>P8-21</b>
三竹 彩賀	<b>P7-29</b>	長尾 嘉子#	<b>P7-46</b> , P7-47	西田 季里	<b>P2-38</b>
三谷 真優	<b>P1-62</b>	長岡 千賀	P5-44	西田 若葉#	P1-13
Mitchell Peter#	<b>IL1</b>	長崎 イク	CS3, <b>SS6-1</b> , <b>P3-36</b> , P3-37, P5-7	西口 利文	<b>P2-50</b>
三浦 亜子#	P7-48	長崎 勤	P6-4	西本 絹子	<b>DS1</b> , P7-44, P7-45
三浦 麻子#	P6-62	長田 康匡#	P6-28	西元 直美	<b>P1-1</b>
三浦 優生	<b>P4-57</b>	永田 陽子	BS3	西村 昭徳#	P6-54
三宅 篤子	<b>SS4-3</b>	内藤 美加	BS1, P1-58, <b>P1-63</b> , P4-59	仁科 国之	<b>P3-26</b>
三宅 英典	RT4-4, <b>P1-34</b>	仲 真紀子		西野 泰代	<b>P1-5</b>
三宅 靖子#	P3-11			西尾 千尋	<b>P8-62</b>
三山 岳	<b>RT5-2</b>			西尾 祐美子	<b>SS6-3</b>
宮本 正一#	SS5-2			西山 裕紀子	P6-49, P6-59
宮本 孝子	<b>P1-53</b>			西山 剛司	SS5-3
宮本 知子	<b>P7-4</b>			西坂 小百合	<b>P6-5</b>
宮野原 勇斗#	P1-46				
宮下 一博	SS8-2				

日戸 由刈	P2-31, P3-50	岡花 祈一郎	SS3-3, RT2-1	佐伯 素子	<b>P1-6</b> , P6-30
能智 正博	CS3, <b>P3-55</b>	岡本 貞雄 #	AS5	相良 順子	P1-4, <b>P6-25</b> , P6-26
野田 淳子	<b>P8-8</b>	岡本 依子	RT5-5, P3-59, <b>P3-60</b>	才村 純 #	AS1
野田 満	SS4-1			齋藤 慈子 #	P5-14, P7-35
野田 航	SS1-1	岡本 祐子	KL1, <b>IL2</b> , P1-8, P1-61, P1-66, P7-64	齋藤 千鶴	<b>P6-30</b>
野上 俊一	<b>P5-57</b>			齋藤 こずゑ	<b>P4-51</b>
野口 啓示 #	P2-37			齋藤 雅子	<b>P6-41</b>
野口 紗生	<b>P6-7</b>	大川 一郎	P8-33	齋藤 智 #	AS6
野本 玲子	<b>RT4-3</b>	岡崎 伸 #	RT6-3	齋藤 誠一	RT1-4, P6-14, P6-27
野本 有紀	SS7-4	岡崎 善治 #	P4-1		P7-2
野村 理朗 #	P5-12	沖田 夏美	<b>P4-42</b>	齋藤 有	<b>P4-39</b> , P4-49
野村 直子	P8-49, P8-50, P8-51	大久保 圭介	<b>P6-35</b>	齋藤 友香	<b>P1-60</b>
		大久保 智生	<b>P1-65</b>	棧敷 瑞穂	RT2-2
野村 朋	<b>P2-40</b>	奥田 裕紀	<b>P4-60</b>	境 愛一郎	RT7-5
野仲 真理子	P1-66, <b>P7-64</b>	大熊 美佳子	<b>P7-5</b>	酒井 厚 #	RT7-3
野中 哲士	<b>RT3-5</b>	大倉 得史	SS8-2	坂井 敬子	P8-34, <b>P8-35</b>
野中 陽一朗	P3-1, <b>P7-25</b>	奥富 庸一 #	P7-53, P7-54	酒井 志織	AS1
則近 千尋	<b>P2-19</b>	大豆生田 啓友 #	<b>CS2</b>	酒井 珠江 #	RT8-1
則武 良英	<b>P4-46</b>	大宮 明子	P4-15	榊原 久子	SS7-3
野瀬 出 #	SS4-2, P2-57	大森 幹真	<b>SS1-1</b> , <b>P3-28</b>	榊原 良太	<b>P3-35</b>
野藤 夏美	<b>P3-15</b>	大村 壮	<b>P8-48</b>	榊原 久直	P4-12
野崙 茉莉	<b>P4-48</b>	大西 彩子	P1-19, P3-8	榊原 洋一	DS3
野澤 祥子	SS8-3, <b>P7-7</b>	大野 久	<b>SS1-2</b>	坂本 佳代子	<b>P3-32</b>
野澤 義隆	RT7-2	小野 真喜子 #	P8-36, P8-37	坂本 美紀	<b>P4-61</b>
沼田 あや子	RT1-1	小野 美和	<b>P5-46</b>	坂尾 喜美	AS4, P5-34
沼田 恵太郎	P1-45, <b>P1-46</b>	小野 友紀 #	P4-13	坂田 桐子 #	<b>P6-48</b>
		小野寺 敦子	P4-29, P6-10, <b>P6-11</b>	坂田 陽子	P4-48
<b>【O】</b>		小野寺 めぐみ	P8-29	真田 原行 #	BS3, P2-4, P4-42, P4-54
小花和 Wright 尚子	P5-30	小野島 萌	<b>P1-20</b>	実藤 和佳子	P8-4, <b>P8-28</b>
小保方 稔子	<b>P6-51</b>	小野間 正巳	RT3-3	佐野 予理子	P8-62
大淵 守正	P2-8	隠村 美子	<b>P7-44</b> , P7-45	佐々木 正人	P5-30
小淵 隆司	RT3-1	小野里 美帆	<b>P7-37</b>	佐々木 恵	DS3, <b>P8-20</b>
越智 幸一	RT6-3	大埜 美樹 #	P7-24	佐竹 真次	P7-2
落合 正行	AS3	大森 隆司 #	P4-4	佐藤 鮎美	<b>P4-44</b>
落合 洋子 #	SS4-1	大寺 あゆみ	<b>P8-17</b>	佐藤 賢輔	RT6-4
小田 真実	<b>P6-19</b>	大上 真礼	<b>P6-45</b>	佐藤 公治	SS5-1
小田切 紀子	SS3-1	折野 一郎 #	P6-41	佐藤 康一郎 #	P8-49, P8-50, <b>P8-51</b>
大土居 実咲 #	P8-32	長内 優樹	<b>P5-16</b>	佐藤 今日子	RT4-2
小川 晶	RT2-2, RT7-2	大島 聖美	<b>P7-63</b>	佐藤 舞 #	RT6-2
小川 まどか	P6-43, P6-44, P6-58	大島 真里子	<b>P8-49</b> , P8-50, P8-51	佐藤 菜穂	P6-54
小川 詩乃	P4-58			佐藤 眞一	<b>RT6-3</b>
小川 翔大	<b>P1-16</b>	太田 正義	P6-12, P6-13	佐藤 貴虎	CS3, RT2-2, RT5-1
萩原 はるみ	<b>P2-51</b>	太田 裕生	P8-52, P8-53	サトウ タツヤ	RT5-4
小椋 たみ子	<b>P1-33</b>	太田 美里	<b>P1-66</b> , P7-64	佐藤 友美	P7-2
呉 宣児	RT5-5	大竹 信子	<b>P2-7</b>	佐藤 朝美 #	<b>P5-35</b>
大原 天青	<b>P8-54</b>	大谷 多加志	<b>RT3-1</b> , <b>P6-39</b>	佐藤 由香理	P3-49
大橋 一友 #	P6-41	大伴 潔	SL1, P1-32	佐藤 和彦 #	<b>P2-26</b>
大橋 智樹 #	P5-35	大塚 穂波	RT4-4, <b>P2-46</b>	澤田 敏子	SS1-3
大橋 靖史	RT7-3	大塚 礼 #	P6-49, P6-59	澤江 幸則	RT5-4
大井 学	P7-32	大塚 隆寛	P1-27	佐柳 信男	CS2
及川 直樹 #	P7-53	大塚 隆寛	P8-38, P8-39, <b>P8-40</b> , P8-41	関 智弘 #	SS8-3
及川 裕子	<b>P2-60</b> , P3-17, P5-53	大山 智子	<b>P5-58</b> , <b>P6-1</b>	関口 はつ江	<b>P5-38</b>
岡林 秀樹	<b>RT4-5</b>	尾崎 仁美	<b>BS1</b>	瀬野 由衣	RT8-3
岡田 涼	<b>P3-21</b>	尾崎 康子	<b>P4-45</b>	妹尾 正教 #	CS2
岡田 努	SS8-2, RT2-5	小沢 日美子		瀬尾 知子	<b>P4-12</b>
岡田 有司	<b>RT5-3</b> , P8-57, P8-58, <b>P8-59</b> , P8-60				
		<b>【S】</b>			
		定金 浩一 #	P2-50		
		定守 加奈子	<b>P5-4</b> , P7-54		

瀬戸 淳子	P1-28, P8-49, P8-50, P8-51	菅沼 慎一郎	P1-55, <b>P7-60</b>	高橋 実里	<b>P2-1</b>
石 暁玲	<b>P5-51</b>	菅原 育子	P6-44, P6-58	高橋 登	RT7-1, <b>P8-14</b> ,
芝崎 美和	P6-15, <b>P7-28</b>	菅原 ますみ #	P4-12		P8-15, P8-16
芝崎 良典	<b>P6-15</b> , P7-28	杉原 聡子 #	SS1-1	高橋 幸子 #	P3-63
柴田 侑秀 #	P5-34	杉本 彩音	<b>P7-19</b>	高橋 智子	<b>P7-10</b>
重村 美帆	<b>P2-39</b>	杉本 英晴	RT5-4	高橋 泰子	<b>P8-63</b>
鹿倉 由衣 #	P2-35	杉本 真理子	P5-61, <b>P5-62</b> ,	高橋 靖子	<b>P3-4</b>
式部 陽子 #	SS6-3		P5-63	高橋 葉子	P3-57
島 義弘	<b>P2-45</b>	杉村 和美	<b>KL1, AS2</b> ,	高橋 ゆう子	<b>P3-47</b>
島田 将喜	SS8-1		P1-13	高平 小百合	<b>SS4-1</b>
嶋田 容子	RT2-4, <b>P7-36</b>	杉村 伸一郎	<b>AS3, CS3</b> ,	高松 里 #	AS4
島藤 安奈	P2-14, P3-42, <b>P4-63</b>		P1-34, P1-38,	高野 恵代	P7-58, <b>P7-59</b>
			P2-34, P4-14,	高野 裕治 #	RT2-4
			P8-42	高岡 純子	P8-43, P8-44
嶋口 裕基 #	RT6-5	杉岡 真里 #	P6-4	財部 盛久	<b>SS4-2</b>
島内 晶	<b>P6-54</b>	杉山 佳菜子	<b>P6-20</b>	高澤 健司	RT7-3, <b>P3-19</b>
嶋崎 恒雄 #	P1-45	杉山 瑞歩	<b>P1-8</b>	高山 緑	P6-43, <b>P6-44</b> ,
清水 裕士	P2-11	杉山 幸子	<b>P2-61</b>		P6-58
清水 寛之	P6-39	杉山 崇	<b>SS2-1</b>	高山 裕子 #	P6-41
清水 寿代	AS1	相山 洋平	<b>P2-64</b>	武部 正明	<b>P3-40</b>
清水 光弘	P4-46, P5-4	角野 加恵子	<b>P7-24</b>	竹田 真木	P5-42
清水 里美 #	P6-39	炭谷 将史	RT3-5	武田 信吾	<b>P8-10</b>
清水 康夫 #	P3-46	砂上 史子	SS8-1, P4-10	竹田 剛 #	P1-16
清水(加藤) 真由子	P2-70, <b>P8-1</b>	角南 なおみ	<b>P3-24</b>	武井 澄江	<b>P6-21</b> , P6-22
清水 美恵	<b>P2-69</b>	諏訪 きぬ	RT7-2	武井 祐子	P4-46, P5-4,
下村 明子 #	P3-11	諏方 智広	<b>RT1-3</b>		P7-53, <b>P7-54</b>
下村 篤子 #	SS3-2	諏澤 宏恵	<b>RT8-1</b>	竹村 明子	RT4-5
下坂 剛	<b>P1-14</b>	鈴井 江三子 #	P6-41	竹尾 和子	P8-14, <b>P8-15</b> ,
下山 真衣	P1-60	鈴木 綾乃	<b>P1-32</b>		P8-16
志村 淳子 #	P3-40	鈴木 亜由美	<b>P5-8</b>	竹内 いつ子 #	P4-46, P5-4,
志村 洋子	<b>RT2-4</b> , P2-35	鈴木 晴子	<b>P2-13</b>		P7-53, P7-54
進藤 将敏	<b>P2-52</b>	鈴木 はるみ	P3-36, <b>P3-37</b>	竹内 康二 #	SS1-1
篠田 麻佳	<b>P1-19</b>	鈴木 淳子	<b>P6-63</b>	竹内 謙彰	<b>P1-2</b>
篠沢 薫	<b>P7-34</b>	鈴木 国威	<b>P8-61</b>	竹澤 大史	<b>P6-4</b>
新谷 和代	<b>P3-62</b>	鈴木 智子	<b>P2-3</b>	滝澤 真毅	P2-33
塩見 剛一 #	P2-50	鈴木 康子 #	P5-44	玉井 航太	P5-30
塩野入 愛	<b>P3-27</b>	鈴木 有美	P3-4	玉井 颯一 #	P2-23
塩山 利枝 #	P3-11			玉城 絵里香	<b>P4-16</b>
白神 敬介	<b>P3-5</b>	<b>【 T 】</b>		田丸 尚美	RT5-2
白井 利明	SS1-4, SS6-2, <b>P8-31</b>	田淵 恵	<b>P6-62</b>	田丸 敏高	P3-19
		田口 雅徳	<b>P1-36</b>	玉瀬 友美	<b>P2-41</b> , P3-1
白石 大介 #	P3-11	田島 信元	SS6-1, RT8-1	田村 綾菜	<b>P4-58</b>
庄司 一子	P7-10	田尻 由起	<b>P3-53</b> , P7-43	田村 沙織	P8-38, P8-39,
首藤 敏元	P8-38, P8-39, P8-40, P8-41	高田 栄子	P1-53		P8-40, <b>P8-41</b>
		高田 智行 #	RT5-2	田村 徳子	P8-43, <b>P8-44</b>
副島 賢和 #	RT6-3	高藤 真作	<b>P1-61</b>	田中 章浩	P1-31
染谷 芳明 #	P2-56	高垣 マユミ	P4-34	田中 淳一 #	P3-49
孫 怡 #	P6-44	高木 恭子 #	P4-10	田中 真理	P7-50
曾根 公美子 #	P5-44	高岸 治人 #	BS3	田中 真寿美	RT6-2
宋 艶霞 #	P2-48	高橋 彩	<b>P1-24</b>	田中 美帆	SS2-2, <b>P6-27</b> ,
園部 愛子 #	P3-55	高橋 千枝	<b>P7-8</b>		P6-47
園田 直子	RT7-3	高橋 英児 #	RT7-5	田中 里実	P3-50
曾澤 菜月 #	P8-27	高橋 春香	<b>P7-31</b>	田中 小百合	<b>P8-33</b>
須田 治	<b>RT4-1</b> , <b>P2-25</b> ,	高橋 秀明	<b>P3-67</b>	田中 滋己	P5-30
	P8-21	高橋 一公	<b>P6-56</b>	田仲 由佳	P7-26, P7-27
末永 真理 #	P6-41	高橋 眞琴	<b>P3-49</b>	田中 友香理	P2-5
末葭 啓子	<b>P4-9</b>	高橋 護	P1-65	唐 音啓	<b>P2-24</b>
菅原 航平	<b>P7-42</b>	Takahashi Masami #	P6-47	丹下 智香子	<b>P6-49</b> , P6-59
菅野 幸恵	RT1-5	高橋 翠	SS7-3, <b>SS8-3</b> ,	谷 冬彦	<b>SS8-2</b>
菅沼 真樹	P6-44, P6-58		<b>P3-57</b>	谷 伊織	P2-54, P2-55

谷田 信一#	P2-50	常田 美穂	P8-47	渡辺 茉奈美	<b>P5-55</b>
谷川 賀苗	<b>P4-3</b>	常深 浩平	IL1	渡部 雅之	<b>P6-55</b>
谷口 康祐#	P8-12	常田 秀子	<b>P7-48</b>	渡部 昌平	<b>P4-32</b>
谷口 雄紀	<b>P4-54</b>	筒井 淳也#	RT3-2	渡辺 忠温	P8-14, P8-15,
谷本 智佳#	P7-33	筒井 志織#	P2-59		<b>P8-16</b>
谷向 仁#	P8-2	堤 俊彦	P7-33	渡邊 照美	SS2-2
谷向 みつえ	<b>P2-18, P8-17</b>	都筑 学	RT7-3, P8-57,	渡辺 智興#	P3-40
丹所 忍	<b>P3-56</b>		<b>P8-58, P8-59,</b>	渡辺 弥生	RT3-3
Tardif Twila#	P8-30		P8-60	渡邊 寛	<b>P6-34</b>
田坂 裕子	<b>P3-41</b>	土田 美咲達#	P3-10	魏 孝棟#	P5-38
田崎 榛菜	P3-42, <b>P3-45</b>			若倉 健#	SS7-2
鐘 幹八郎#	IL2				
楯 誠	<b>P2-63</b>	<b>【U】</b>		<b>【Y】</b>	
立元 真	<b>P7-18</b>	内田 千春	P3-4	矢吹 美美子	P5-38
辰本 頼弘	P7-16	内山 逸子	<b>P6-2</b>	八木 成和	<b>P4-20</b>
田澤 実	<b>P6-23</b>	宇田川 真美#	P3-40	八木 俊介	<b>P3-68</b>
田爪 宏二	<b>P4-36</b>	宇惠 弘	<b>P7-16</b>	山田 真世	P3-19
寺田 衣里#	P1-16	上地 亜矢子	SS4-2	山田 徹志	<b>P4-4</b>
寺川 志奈子	<b>P2-20</b>	植田 和也#	RT4-3	やまだ ようこ	KL1, CS3,
寺見 陽子	P2-60, P3-17,	植田 瑞穂	<b>P2-2</b>		SS2-2
	<b>P5-53</b>	上原 泉	P1-47		
寺本 妙子	<b>P2-67</b>	上原 依子#	P4-3	山上 榮子#	P1-16
寺崎 正治	P4-46, P5-4,	植木 克美	<b>P5-40, P7-21</b>	山上 寛子	<b>P1-4</b>
	P7-53, P7-54	上岡 かな恵#	RT2-3	山形 恭子	<b>P1-37</b>
照井 裕子	<b>P3-59, P3-60</b>	上村 晶	RT2-2, <b>P3-2</b>	山口 千尋	<b>P2-49</b>
登張 真稲	P8-38, <b>P8-39,</b>	上村 佳世子	SS4-2, <b>P3-58</b>	山口 悦司#	P3-32
	P8-40, P8-41	上村 怜香	RT1-3	山口 一大#	P4-30
戸田 有一	RT4-3	上野 淳子	<b>P8-23</b>	山口 正人#	P3-40
登藤 直弥	<b>P6-33</b>	上山 瑠津子	<b>P2-34, P8-42</b>	山口 小夜子	<b>P2-4</b>
東條 吉邦	P3-44, P4-57,	請川 滋大	DS3, <b>P2-33</b>	山川 玲子	SS1-3
	P5-14, P5-19,	梅垣 勝則	<b>P2-37</b>	山本 ちか	<b>P6-18</b>
	P7-30, P7-31,	梅垣 美恵子#	P2-37	山本 睦	RT7-3
	P7-32, P7-35	梅村 紀子#	P6-4	山本 初実	P5-30
徳田 公威#	P7-18	梅崎 修	P6-23	山本 寿子	<b>P1-31</b>
徳吉 每美	<b>P2-68</b>	梅崎 高行	RT7-5	山本 晃輔	<b>P6-61</b>
當眞 千賀子	<b>P7-13</b>	宇埜 友美子#	P2-57	山本 正顕	P1-1
富田 真紀子	P6-49, <b>P6-59</b>	雲財 啓	<b>P6-14</b>	山本 尚樹	<b>P2-62</b>
富来 秀美	P3-34	浦上 萌	<b>P4-14</b>	山本 訓子	<b>P3-7</b>
富永 美佐子	<b>P1-3</b>	浦野 由平	<b>P1-55, P7-60</b>	山本 聡子	<b>P3-34</b>
富岡 直美#	P7-18	浦田 悠	<b>P1-13</b>	山本 紗弓#	P7-8
富田 久枝	<b>P3-10</b>	牛島 智子	<b>P3-46</b>	山本 陽一	<b>P8-25</b>
富田 昌平	<b>RT8-3</b>	牛久 香織	<b>P1-42</b>	山村 麻予	<b>P8-2</b>
富高 智成	P6-61	内海 緒香	<b>P6-37</b>	山根 隆宏	<b>P1-68, P7-26,</b>
塘 利枝子	<b>P4-64</b>	宇都宮 博	<b>RT3-2</b>		P7-27
鳥居 深雪	SS6-3, P3-38	宇都宮 真輝	<b>P2-53</b>	山野 悦子	<b>P8-5</b>
鳥居 優美	P3-53, <b>P3-54</b>			山内 萌	<b>P2-58</b>
登坂 如恵	<b>P8-24</b>	<b>【W】</b>		山崎 徳子	<b>P3-48</b>
外山 紀子	<b>SS5-1, SS7-1,</b>	和田 香誉	<b>P8-13</b>	山瀬 道代#	DS2
	P2-6	和田 桂子	<b>P3-31</b>	山内 勇太郎	<b>P4-26</b>
豊村 かなみ	<b>P4-53</b>	若井 広太郎	P5-7, P7-43	山脇 三千代	<b>P1-50</b>
土田 宣明	SS3-2, <b>P6-53</b>	若松 養亮	SS1-2, <b>P4-35</b>	山崎 晃	RT7-4
土取 建登	<b>P5-22</b>	若本 純子	P1-5, <b>P1-64</b>	山崎 寛恵	RT3-5
土屋 さやか#	P6-41	若杉 夏樹	P8-54	山崎 浩司#	<b>TS2</b>
辻 あゆみ	<b>P5-42, P7-48</b>	若山 育代	RT1-5	山崎 みよ子	<b>P5-44</b>
辻谷 真知子	P4-10, <b>P5-39</b>	Wang Li#	P8-30	山崎 幸子	<b>P6-50</b>
塚田 紀恵#	P7-15	綿卷 徹#	P1-33	山里 真依子	P4-16
塚田 みちる	<b>P2-30</b>	渡部 朗代	P8-14, P8-15,	山住 勝広	SS3-3, <b>RT2-3</b>
塚原 拓馬	SS2-1		P8-16	山住 勝利#	RT2-3
月本 洋	AS3	渡邊 仁	<b>P4-28</b>	柳岡 美智子	<b>P4-27</b>
都村 聞人	P8-43, P8-44	渡邊 賢二	RT1-4, <b>P2-54,</b>	柳岡 開地	<b>P4-47</b>
			P2-55	安田 哲也	P7-11

安田	裕子	<b>RT5-1</b>
八耳	悠人	P7-30
淀川	裕美	SS8-3
横田	桃	<b>P6-46</b>
横田	晋務	<b>P7-50</b>
横山	順#	RT1-2
横山	克貴#	P3-55
横山	草介	<b>RT6-5, P3-29</b>
米澤	好史	DS2
頼藤	貴志#	P7-57
吉田	圭吾	<b>P1-59</b>
吉田	真理子	<b>P2-9</b>
吉田	琢哉#	P2-23
吉田	俊和#	P2-23
吉井	勘人	SS6-1, SS7-4, <b>P4-18, P5-7</b>
吉川	左紀子#	P4-58
吉川	詩織	<b>P8-22</b>
吉川	雄一郎#	BS3
吉村	麻美	<b>P7-3</b>
吉村	麻奈美	<b>P4-34</b>
吉岡	昌紀	<b>P1-29</b>
吉澤	千夏	P3-58
吉澤	秀記#	RT6-1
吉澤	寛之#	P2-23
吉澤	一弥	RT6-2
百合草	禎二	SS1-4, <b>SS3-3</b>
湯澤	正通	AS6, <b>TS1</b>

**【 Z 】**

残華	雅子	<b>P4-55</b>
鄭	曉琳	<b>P1-38</b>

ウヴェ・フリック著／上淵 寿訳  
**質的研究の「質」管理**

SAGE質的研究キット8

質的研究の質をいかに評価するか。質的研究の特質である多様性をどう管理し、高い質を確保するか。研究を拡張する方法としてのトリアンギュレーションを中心に、質的研究の質を管理するにあたっての問題とその解決について丁寧に解説。あらゆる質的研究が参照すべき枠組みを提供。A5判並製224頁／2400円＋税

マーカス・バンククス著／石黒広昭 監訳

**質的研究におけるビジュアルデータの使用**

SAGE質的研究キット5

写真、映画、絵画、ビジュアルデータは情報豊かであるが多義的で曖昧でもあり、実は扱うのが難しい。その特質を踏まえてどう収集分析し、結果を研究参加者、視聴者、社会に還元するか。倫理的問題も含め、研究例を引きながら周到に解説した、日本語で読める待望の手册！  
A5判並製224頁／2400円＋税

熊谷高幸著

**自閉症と感覚過敏**

特異な世界はなぜ生まれ、どう支援すべきか？

感覚過敏は単なる症状の一つなのか？ 自らの困難を内面から詳しく語る自閉症者が増え、注目される「感覚過敏」。男性脳や現代の生育環境といった要因との関係にもふれながら、自閉症の発生過程を見つめ直し、当事者に寄り添った支援のあり方を探る。自閉症理解に一石を投じる書！四六判並製208頁／1800円＋税

北浜邦夫著

**夢**

夢を見る脳。夢を追う脳科学。夢では、目覚めているときには考えもしなかったことが起こる。人類は太古の昔から、自分の自由にならないうちに夢の不思議を説明しようとしてきた。現代の脳科学は、どこまで夢を解き明かしたのか？ 夢のロマンに魅せられた科学者の興味尽きない夢話。  
四六判並製180頁／2100円＋税



秋田巖編

**日本の心理療法 身体篇**

握手やハグなど、身体接触に馴染みのない文化背景をもつ日本においても実践され受け入れられている、身体性と深く関わる4つのセラピー——動作法、和太鼓演奏、歩き遍路、気功をとりあげ、それらが癒しをもたらす仕組みと理由を解説・考察。「日本の心理療法シリーズ」第3回配本。A5判上製256頁／3200円＋税

上野富紗子 & まちにて冒険隊 著

**認知症ガーデン**

認知症の人は多くを語らない。だが「普通」の人たちより、人間の生きるといふことの不思議をずっとたくさん体験している。その真実を手に入れている。ある小さなテイサービスでの、認知症の人たちとスタッフのかわりから見えてくる、もうひとつのまなざし。認知症の見方が変わる本！  
A5判並製136頁／1600円＋税

川島大輔・近藤恵 編

**はじめての死生心理学**

現代社会において、死とともに生きる

有史以来の「死とは何か」「生きるとは何か」という問いに、私たちは今、どのような理解を共有できるのだろうか。死への態度、死に逝く過程、死別による悲嘆、自殺の問題を中心に、死生心理学の現在を紹介した日本ではじめての入門書。本書の内容を体験的に理解できる「ワーク」付。A5判並製312頁／2700円＋税

J・ウィンズブレイド & M・ウィリアムズ 著／綾城初穂 訳

**いじめ・暴力に向き合う学校づくり**

対立を修復し、学びに変えるナラティブ・アプローチ  
いじめと暴力は、規律と罰則では対応できない。対立をなくすのではなく、悪くなった関係性を修復する仕方を学ぼう。当事者やまわりの人々が対立をどうとらえているか？ ナラティブの視点から、学校で使える多様な方法を具体的に詳しく紹介。対立を、生きる力を身につける学びに！  
A5判並製272頁／2800円＋税

株式会社  
**新曜社**

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-9 第一丸三ビル3階  
TEL: 03-3264-4973 (代) FAX: 03-3239-2958 (表示価格は本体価格)  
E-mail: info@shin-yo-sha.co.jp URL: http://www.shin-yo-sha.co.jp/

# 北大路書房

〒603-8303 京都市北区紫野十二坊町12-8

☎ 075-431-0361 FAX 075-431-9393

http://www.kitaohji.com

振替 01050-4-2083

## シリーズ心理学と仕事 **発達心理学**【仮題】 全20巻 第5巻

—2017年春から順次刊行！— 太田信夫監修 二宮  
克美・渡辺弥生編著 A5・約180頁・予価2000円＋税  
公認心理師という国家資格が誕生し、具体的な仕事  
との繋がりに注目が寄せられている。全20巻立てで、  
研究内容と仕事との結びつきを概説。実際に働く人々  
の声も掲載。本巻では、生涯発達を時期に分けて研究  
を概説し、関連する21の仕事を紹介。

## **ハラスメントの予防と相談**【仮題】

—大学における相互尊重のコミュニティづくり— 杉  
原保史著 四六・約208頁・予価2000円＋税 教職員  
や学生、窓口として戸惑う相談員に向けて、日常的で  
身近な問題への取り組みに誘う。理解と関心を促すこ  
とで、「無関心な傍観者」ではなく「意識の高い関与  
者」が増えることを願う。加害と被害の二者関係を留  
めず、コミュニティ全体の問題として扱う。

## **ひととはもともとアクティブ・ラーナー**【仮題】

—学びを愉しむ授業づくり— 山辺恵理子・木村充・  
中原 淳著 B5・約160頁・予価2200円＋税 アクテ  
ィブラーニングで不安や課題を抱く高校教師をサポート  
するために生まれたガイドブック。3900校分の量的  
データと30校分の質的データから厳選した教科毎の事  
例・ワーク例・分析データをカラフルに提供。学ぶ意  
欲を引き出す授業と生徒を養成する。

## **自ら学ぶ能力のつくり方**【仮題】

—メタ思考を育てる自己調整学習— L. B. ニルソ  
ン著 美馬のゆり監訳 A5・約200頁・予価2400円＋  
税 学びには深く持続的な「自己調整」が必要とな  
る。自己の信念・価値・結論・思考プロセスを内省的・  
探究的に観察することが不可欠であり、クリティカル・  
シンキングやスキルの習得でも同様である。メタ思考  
を育む自己調整学習の実践入門書。

## **愛着関係とメンタライジング によるトラウマ治療**【仮題】

—素朴で古い療法のすすめ— J. G. アレン著 上  
地雄一郎・神谷真由美訳 A5・約340頁・予価3400円  
＋税 個人内プロセスの洞察の獲得よりも、愛着関係  
こそが、苦痛な情動を調整するうえで何よりも重要で  
ある。そして、情動を調整する能力を獲得するためにも、  
その関係を形成・維持することに大きく貢献する  
メンタライジングの能力が必要と示す。

## **認知臨床心理学の父ジョージ・ケリーを読む**【仮題】

—パーソナル・コンストラクト心理学への招待— F.  
フランセラ著 菅村玄二監訳 四六・約320頁・予価  
2700円＋税 認知療法、論理療法など認知を用いる心理  
療法のほか、パーソナリティ心理、アドラー派心理  
などに強い影響を与えたケリーに関する学説的評伝。  
理論の発展史が、物理学と数学の素養などと共に語ら  
れる。研究への批判や死後の研究例も紹介。

## **アクティブラーニングのための心理学**【仮題】

—構成主義と社会的学習理論— A. プリチャード・J.  
ウーラード著 田中俊也訳 四六・約200頁・予価  
2500円＋税 社会的構成主義や社会的学習理論の背景  
を紹介し、いかに教育カリキュラムのなかで具体的な  
教授法へ変えられていくのかを紹介。自分の教え方を  
熟慮し開発していくにあたって、教授法がいかに実践  
方略や実践活動に発展するのかを示す。

## **学習科学ハンドブック 第二版第1巻**【仮題】

—基礎／方法論— R. K. ソーヤー編 森 敏昭・  
秋田喜代美・大島 純・白水 始監訳 望月俊男・益  
川弘弘編訳 B5・約288頁・予価3700円＋税 「人は  
いかに学ぶのか」の科学的最新知見を包括的に提供す  
る全3巻。各章に訳者解説を追加。1巻は、学習科学の  
概念を整理し、デザイン研究・マイクロジェネティッ  
ク法・協調・ビデオ研究など方法論を紹介。

### **改訂エンサイクロペディア 心理学研究方法論**

W. J. レイ著／岡田圭二編訳 本体5000円＋税

### **心理学基礎実習マニュアル**

宮谷真人・坂田省吾代表編集 本体2800円＋税

### **心理学教育のための傑作工夫集**

L. T. ベンジャミン・ジュニア編／中澤 潤他監訳 本体2800円＋税

### **わかって楽しい心理統計法入門 Ver.2**

松田文子・三宅幹子・橋本優花里著 本体2500円＋税

### **増補改訂 SPSSのススメ1**

竹原卓真著 本体3200円＋税

### **改訂新版 初めての心理学英語論文**

D. シュワープ・B. シュワープ・高橋雅治著 本体1900円＋税

### **現代の認知心理学1 知覚と感性**

日本認知心理学会監修／三浦佳世編 本体3600円＋税

### **現代の認知心理学2 記憶と日常**

日本認知心理学会監修／太田信夫・飯島行雄編 本体3600円＋税

### **現代の認知心理学3 思考と言語**

日本認知心理学会監修／橋見 孝編 本体3600円＋税

●最新知見を盛り込んだ20余年ぶり待望のリニューアル。

# 新・発達心理学ハンドブック

田島信元、岩立志津夫、長崎勤 編集

B5判/上製函入/1004頁 ◎定価(本体30000円+税)

●心理学とは何か、子どものころと発達を学ぶ意味を説く。

# 発達心理学のこころを学ぶ

心理学入門〈対話篇〉

田丸敏高著 四六判/並製/204頁 ◎定価(本体16000円+税)

●夫婦の生涯に起こる様々なライフイベントについて心理学の観点から概説。

# 夫と妻の生涯発達心理学

関係性の危機と成熟

宇都宮博、神谷哲司 編著 A5判/上製/312頁 ◎定価(本体5000円+税)

●何をどう学ぶのか。高校教育の「学び」の本質を考える。第2弾。

# 続・移行支援としての高校教育

大人への移行に向けた「学び」のプロセス 四六判/上製/342頁

小野善郎、保坂亨 編著 ◎定価(本体3500円+税)

●児童精神科の専門医がわかりやすく解説。目からウロコの子育て読本。

# 思春期の子どもと親の関係性

愛着が導く子育てのゴール

小野善郎 著 四六判/並製/198頁 ◎定価(本体16000円+税)



**福村出版**

〒113-0034 東京都文京区湯島2-14-11  
TEL 03-5812-9702 FAX 03-5812-9705

<http://www.fukumura.co.jp>

# Frontiers in Developmental Psychology Research Japanese Perspectives



一般社団法人日本発達心理学会 編

岩立志津夫・子安増生・根ヶ山光一 監修 定価 5,000 円 + 税 (学会員特別価格 3,500 円 + 税)

日本発達心理学会が、2016年7月開催の国際心理学会第31回横浜大会(ICP2016 Yokohama)に向けて、発達心理学研究のこれまでの成果と現状を世界に問うために編集・刊行した英文書籍である。第一部は、日本における発達心理学研究の歴史と経緯、第二部は、日本のオリジナルで最先端の研究成果を紹介する。

## 学生を思考にいざなうレポート課題

成瀬尚志 編 定価 1,600 円 + 税

## 手話を言語と言うのなら

森社也・佐々木倫子 編 定価 1,300 円 + 税

## 会話分析の基礎

高木智世・細田由利・森田笑 著 定価 3,500 円 + 税

## 【近刊】 学びのエクササイズ

## 子どもの発達とことば

伊藤崇 著 予価 1,400 円 + 税

0歳から18歳までの子どもが出会う可能性のある多様な社会的場面で起こるコミュニケーションの検討を通じて、言語発達過程にひとつの筋道を読み説く。「発達とことば」についてわかりやすく解説した教科書。

〒112-0011 東京都文京区千石2-1-2大和ビル2F ひつじ書房  
TEL03-5319-4916 FAX 03-5319-4917 [toiawase@hituzi.co.jp](mailto:toiawase@hituzi.co.jp)

<http://www.hituzi.co.jp/>

ひつじ書房



# 関係の中で人は生きる

「接面」の人間学に向けて

鯨岡 峻著

「接面パラダイム」という人間の内面を真正面から扱うことのできる新たな枠組みに迫る。著者畢竟の一冊。 2800円

# もういちど自閉症の世界に出会う

「支援と関係性」を考える

エンパワメント・プランニング協会監修 浜田寿美男/村瀬 学/高岡 健編著 自閉症の人の生と支援者の生を交差させる。2400円

# 妊娠・出産・子育てをめぐるこころのケア

親と子の出会いから はじまる周産期精神保健 【別冊発達32】

永田雅子編著 周産期を中心にした赤ちゃん・家族への支援の最新理論とともに、こころのケアに携わる様々な領域の事例を報告。2600円

# 笑いとユーモアの心理学

何が可笑しいの？

雨宮俊彦著 多種多様な可笑しさの系譜を探り、ユーモアに関する15の理論を概観する。 3500円

# ライフレビュー入門

治療的な聴き手となるために

バーバラ・K・ハイト/パレット・S・ハイト著 野村豊子監訳 実践のための基本的で詳細なマニュアル。 3200円

# 災害に備える心理教育

今日からはじめる心の減災

窪田由紀/松本真理子/森田美弥子/名古屋大学こころの減災研究会 編著解 教育実践の概要と実践・効果を紹介。 3000円

# 小説・漫画・映画・音楽から学ぶ児童・青年期のこころの理解

藤森旭人著 ●精神力動的な視点から 児童・青年期特有の心理的特徴や課題を現代作品から学ぶ。 2600円

# よくわかる認知発達とその支援 [第2版]

子安増生編 DSM-5 への対応をはじめ、最新のデータを掲載して改訂。全100項目を見開きでわかりやすく解説したテキスト。 2400円

# よくわかる高齢者心理学

佐藤眞一/権藤恭之編著 99のトピックを見開きで解説。高齢者心理学の重要なテーマを網羅した、初学者にもわかりやすい1冊。2500円

# 絶対役立つ臨床心理学

カウンセラーを目指さないあなたにも

藤田哲也監修 串崎真志編著 臨床心理学の知見をとおして日常生活を新しい視点で見直す。 2500円

近刊 \*タイトル等変更する可能性がございます・あらかじめご了承ください

# 自閉症スペクトラムの症状を「関係」から読み解く

小林隆児著

どうすれば子どもたちのいのちは守れるのか 松井典夫著 「事件」に出会った心理学者 浜田寿美男著

保育実践に埋め込まれた保育者の専門性 中坪史典編著 東日本大震災・放射能災害下の保育 関口はつ江編著

シリーズ 臨床発達心理学・理論と実践(全5巻)

臨床発達心理士会/企画・監修 A5判上製 各2800円

① 臨床発達心理学の基礎 [第2版]

.....本郷一夫/金谷京子編著

② 育児のなかでの臨床発達支援

.....藤崎真知代/大日向雅美編著

③ 保育のなかでの臨床発達支援

.....秦野悦子/山崎 晃編著

④ 学童期の支援——特別支援教育をふまえて

.....長崎 勤/藤野 博編著

⑤ 思春期・成人期の社会適応

.....三宅篤子/佐竹真次編著

# 季刊 発達

1・4・7・10月各25日刊  
B5・各120頁・各1500円

⑭⑨ 特集 “気になる子”の発達と保育 【最新号/1月25日刊】

鯨岡峻/片岡輝/島本一男/赤木和重/青木紀久代ほか執筆

⑭⑤ 特集 子どものトラウマのケアとレジリエンス 本郷一夫ほか執筆

⑭⑥ 特集 地方発! 保育・子育て支援の新たな取り組み 大豆生田啓友ほか執筆

⑭⑦ 特集 子ども理解とアセスメント 田中康雄/秦野悦子ほか執筆

——保護者との共有、支援を考える

⑭⑧ 特集 運動発達をめぐる最前線 小西行郎/板倉昭二/熊谷晋一郎ほか執筆

——赤ちゃん学からひも解く運動の意味



ミネルヴァ書房

〒607-8494 京都市山科区日ノ岡堤谷町1 ☎075-581-0296 宅配可/価格税別

E-mail eigyo@minervashobo.co.jp URL http://www.minervashobo.co.jp/

# ナカニシヤ出版

TEL 075-723-0111 〒606-8161 京都市左京区一乗寺木ノ本町15  
FAX 075-723-0095 <http://www.nakanishiya.co.jp/> (表示は税抜価格)

## 教育認知心理学の展望

子安増生・楠見孝・齊藤智・野村理朗編  
認知心理学の観点から教育の諸問題を考える「教育認知心理学」の基礎から最先端まで。  
2800円

## 保育教諭のための指導計画と教育評価

山本 睦 著  
作成技術と評価方法を感覚的に理解し、身につけるワーク。  
2000円

## 保健と健康の心理学

標準テキスト①  
ポジティブヘルスの実現  
島井哲志 監修 / 大竹恵子 編著  
新しい健康心理学概論  
3400円

## 特別支援教育を学ぶ

坂本 裕 編集代表 (第3版)  
制度の概要や様々な障害の基礎知識をわかりやすく解説する入門書。必修化の流れを受けた第3版。  
2800円

## 世代継承性シリーズ② 境界を生きた心理臨床家の足跡

◎鎌幹八郎からの口伝と継承  
岡本祐子 編著  
4500円

## 心理学史

大芦 治 著  
人物学派・キーワードから心理学の歴史を概観し、その成り立ちについて理解を深める。  
4800円

## 教職をめざすひとのための発達と教育の心理学

富永大介・平田幹夫・竹村明子・金武育子編  
発達領域に厚い視線を投じた教育心理学入門。  
2200円

## やさしく学ぶ保育の心理学②

浜崎隆司・田村隆宏・湯地宏樹 編著  
内容をしぼり、基礎知識なくたれでも十分理解できるテキスト。  
2300円

## 保健医療福祉領域で働く心理職のための法律と倫理

島井哲志 監修 / 山崎久美子他 編著  
医療・法律・倫理をつなぐ。  
3200円

## 共にあることを目指す特別支援教育

◎関係論から発達障壁を問い直す  
勝浦真仁 著  
特別支援教育への提言。  
3700円

## 働く人たちのメンタルヘルス対策と実務

◎実践と応用  
森下高治・本岡寛子・枚田 香 編  
幅広く使える手引き書。  
2400円

## キャリアアカウンセリング実践

◎24の相談事例から学ぶ  
渡辺三枝子 編著  
プロセス、仮説方針、その後の対応まで具体例をあげて示す。  
2400円



## 人口の心理学へ

少子高齢社会の命と心  
柏木恵子・高橋恵子 編  
四六判並製296頁 / 定価: 2400円  
2016年7月刊



## 大学生ミライの因果関係の探究

[ストーリーでわかる心理統計]  
小塩真司 著  
A5判並製216頁 / 定価: 2200円  
2016年9月刊



## 行動主義の心理学

J. B. ワトソン 著  
安田一郎 訳  
四六判並製400頁 / 予価: 2800円  
2017年1月刊予定

心理学情報サイト・サイナビ!では、心理学のトピックを配信しています。ぜひ一度サイトをご覧ください。

Time in Life, Life in Time  
Principal Ideas on Trajectory Equifinality Approach  
Tatsuya Sato (サトウタツヤ) 著  
A5判上製320頁 / 予価: 8000円 / 2017年3月刊予定

〒154-0001  
東京都世田谷区池尻2-31-20  
清水ビル5F

学びを愉しく  
株式会社 **ちとせプレス**

Webサイト: <http://chitosepress.com>  
E-mail: [info@chitosepress.com](mailto:info@chitosepress.com)  
Tel: 03-4285-0214

柘植雅義 監修●ハンディシリーズ 発達障害支援・特別支援教育ナビ(全10冊)



## 発達障害のある大学生への支援

第8弾!

高橋知音 編著

大学においても合理的配慮が求められる今日、適切なカウンセリングやライフスキルトレーニング、医療機関との連携、実習授業での支援、学内の当事者グループ運営などの実践例やプログラムを紹介。

### シリーズのラインナップ

各巻A5判・104～114頁 本体 1,300円＋税

藤野 博 編著 発達障害のある子の社会性とコミュニケーションの支援  
 近藤武夫 編著 学校でのICT利用による読み書き支援  
 本田秀夫 編著 発達障害の早期発見・早期療育・親支援  
 梅永雄二 編著 発達障害のある人の就労支援  
 黒田美保 編著 これからの発達障害のアセスメント

市川宏伸 編著 発達障害の「本当の理解」とは  
 柘植雅義 編著 ユニバーサルデザインの視点を活かした指導と学級づくり  
 中川信子 編著 発達障害の子を育てる親の気持ちと向き合う(仮題)  
 小野昌彦 編著 発達障害のある子/ない子の学級適応・不登校対応(仮題)

関連の心理検査

ADOS-2 日本語版

自閉症スペクトラム評価のための半構造化観察検査

C. Lord, M. Rutter, P.C. DiLavore, S. Risi, K. Gotham, S.L. Bishop, R.J. Luyster, & W. Guthrie 原著  
黒田美保・稲田尚子 監修・監訳 (定価・購入資格等の詳細は金子書房のホームページをご覧ください)

### 佐々木正人・國吉康夫 編集 ◆ シリーズ 新・身体とシステム

身体とその動きの原理、さらに身体の周辺をデザインすることについて、わかりやすく紹介。心理学とその関連領域の研究者やひとの科学の新時代に興味をもち「身体とこころ」について考える幅広い読者におすすめ。



## 具体の知能

野中哲士 著

環境のなかで実際に存在する物を「具体」と呼び、具体の独特の性質はどのようにまわりの事物を映し出すかを探る。ひとのふるまいの影響や空中・水中での光や波動の拡がりなどが物語るものとは。



## 個のダイナミクス 運動発達研究の源流と展開

山本尚樹 著

運動発達研究のなかで個性はどのように注目されてきたのか。研究史を振り返るとともに、乳児の寝返りの獲得における個人差についての自身の研究を紹介し、発達にひそむ個性という不思議にせまる。

各巻四六判・196頁 本体 2,300円＋税 ほか続刊予定

### 子どもの社会的な心の発達

コミュニケーションのめばえと深まり

林 創 著

〈他者に心があることがわかる〉心はどう育つのか

四六判・200頁 本体 2,200円＋税

### 子どもの自我体験

ヨーロッパ人における自伝的記憶

D. コンスタム 著 渡辺恒夫・高石恭子 訳

子どもがはじめて「私」という存在を意識する瞬間

四六判・276頁 本体 2,600円＋税

### 認知発達研究の理論と方法

「私」の研究テーマとそのデザイン

矢野喜夫・岩田純一・落合正行 編著

研究の位置づけや蓄積された知見の俯瞰と今後の展望

A5判・240頁 本体 2,500円＋税

### 現代社会の中の自己・アイデンティティ

梶田叡一・中間玲子・佐藤 徳 編著

流動的で複雑化した社会の中で、私たちはどう生きるか

A5判・208頁 本体 2,700円＋税

### 児童心理学の進歩 [2016年版] Vol.55

日本児童研究所 監修/稲垣佳世子・河合優年・斉藤こずゑ・

高橋恵子・高橋知音・山 祐嗣 編集

発達研究の最前線を紹介するレビュー論文集

A5判・360頁 本体 8,800円＋税

### 子どもの気質・パーソナリティの発達心理学

(仮題)

水野里恵 著

気質はパーソナリティの形成にいかん反映されるか

A5判・約140頁 予価 2,200円＋税

〒112-0012 東京都文京区大塚3-3-7

URL <http://www.kanekoshobo.co.jp>

**K** 金子書房

☎03 (3941) 0111(代)

FAX03 (3941) 0163



### 新刊案内

### 好評発売中!

### DVD教材

大好評につき増刷出来!

長谷川真里 監修

# 動画で学ぼう! 発達心理学

乳児期から児童期まで、人間はどのように、またなぜ変化するので、他者や環境との間に相互作用しながら、社会的存在となっていくのか。0〜11歳まで、幅広い年齢の子どもの特徴や、それらを捉えるための実験の様子を、成功・失敗例も含めて収録。



○収録時間 約77分  
○発売 2016年9月  
○価格 13,800円+税

テキストも好評!  
発達心理学―心の謎を探る旅

笑って子育て―物語でみる発達心理学

▽福田佳織 編著 A5判 一八〇〇円+税

発達心理学で読み解く保育エピソード

▽若尾良徳・岡部康成 編著 A5判 一九〇〇円+税

実践につながる教育心理学

▽櫻井茂男 監修 黒田祐二 編著 A5判 二二〇〇円+税

実践につながる教育相談

▽黒田祐二 編著 A5判 二二〇〇円+税

保育の未来をひらく子育て・家庭支援論

▽細井香 編著 B5判 二四〇〇円+税

子どもの成長を支える発達教育相談〔第3版〕

▽鎌倉利光・藤本昌樹 編著 A5判 二〇〇〇円+税

「使える」教育心理学〔第3版〕

▽服部環 監修 安齊順子・荷方邦夫 編著 A5判 二二〇〇円+税

「保育者のたまご応援ブックス」

保育者のたまごのための発達心理学〔第3版〕

▽新井邦二郎 監修 藤枝静暁・安齊順子 編著 A5判 一九〇〇円+税

ようこそ教育心理学の世界へ〔改訂版〕

▽神藤貴昭・久木山健一 著 A5判 二〇〇〇円+税

教職ベーシック発達・学習の心理学〔改訂版〕

▽柏崎秀子 編著 A5判 一九〇〇円+税

「教師のたまご応援ブックス」

教師のたまごのための教育相談〔改訂版〕

▽会沢信彦・安齊順子 編著 A5判 一九〇〇円+税



## 北樹出版

〒153-0061 東京都目黒区中目黒1-2-6

TEL: 03-3715-1525 FAX: 03-5720-1488

URL: <http://www.hokuju.jp> E-mail: [eigyoi@hokuju.jp](mailto:eigyoi@hokuju.jp)

レクチャー 青年心理学 ―学んでほしい/教えてほしい  
高坂康雅/池田幸恭/三好昭子 編著 予価 二五〇〇円

劣等感の青年心理学的研究  
高坂 康雅 著 五五〇〇円

歩行開始期の仲間関係における自己主張の発達過程に関する研究  
野澤 祥子 著 六五〇〇円

保育行為スタイルの生成・維持プロセスに関する研究  
上田 敏丈 著 五五〇〇円

両親のペアレンティングが未就園児の社会的行動に及ぼす影響  
加藤 邦子 著 七五〇〇円

乳幼児における「ふり」の理解の発達  
中道 直子 著 四五〇〇円

保幼小連携体制の形成過程  
一前 春子 著 七五〇〇円

自閉症スペクトラム児者のキャリア教育に関する研究  
清水 浩 著 八〇〇〇円

嗅覚と自伝的記憶に関する心理学的研究  
山本 晃輔 著 四五〇〇円

テキスト読解場面における下線ひき行動に関する研究  
魚崎 祐子 著 六〇〇〇円

青年期における心理的居場所感の構造と機能に関する研究  
則定百合子 著 五五〇〇円

成人期における自己同一性の発達過程とその要因に関する研究  
岡本 祐子 著 一七〇〇〇円

ストレス対処から見た心配の認知的メカニズム  
杉浦 義典 著 六〇〇〇円

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-34  
TEL 03-3291-5729 FAX 03-3291-5757

## 風間書房

<http://www.kazamashobo.co.jp>  
E-mail [pub@kazamashobo.co.jp](mailto:pub@kazamashobo.co.jp) (価格税別)



yuhikaku

有斐閣

出版案内  
(価格は税込)東京・神田・神保町2 TEL:03-3265-6811  
http://www.yuhikaku.co.jp/

◎図書目録送呈◎



有斐閣スタジオ

A5判

## 生涯発達心理学

認知・対人関係・自己から読み解く

鈴木忠・飯牟礼悦子・滝口のぞみ 著

私たちがいかにして生まれ、育ち、そして老いていくのか。子どもが認知能力を獲得する過程から、自己を確立し未来と世代を継承していくに至るまで、生涯にわたる成熟の流れをわかりやすく解説する。コンパクトで読みやすい入門書。 有斐閣アルマ 一九四四円



## 対人援助と心のケアに活かす心理学

鈴木伸一 編著 / 伊藤大輔・尾形明子・国里愛彦

小関俊祐・中村菜々子・松永美希 著

予価 一九四四円

対人援助(ケア)に関わる人のために、援助の基礎となる心理学の理論と考え方が学べるコンパクトで親しみやすい入門テキスト。 2017年春刊行予定

## ゼロからはじめる心理学入門

人の心を  
知る科学

金沢創市・川寛子・作田由衣子 著

2色

誰もがもつ素朴な疑問から読み進められる構成で、WHITBOARDやPOINTツール等、読んで見て考えながら学べる工夫が満載。 一九四四円



## 問いからはじめる発達心理学

坂上裕子・山口智子・林創・中間玲子 著

一九四四円

生涯にわたる心の発達をこの1冊に。問いかけるQUESTIONSツールなど、学びのスイッチを入れる工夫が満載。自分をふりかえったり、将来に思いをはせたり、周りの人と一緒に語りあったりしてみよう。考える愉しみを味わいながら理解が深まる新しいタイプの入門書です。



## 子どもへの司法面接

考え方・進め方とトレーニング

仲真紀子 編著

A5判 三三三三円

司法現場における子どもへの司法面接について、これまでに蓄積されてきた実証的知見に基づき、その概要を平易に解説する。



## 心理学研究法

補訂版

高野陽太郎・岡隆編

A5判 予価 二二六八円

好評のテキスト「効果量」や「信頼区間の活用」に関する記述を補訂。コラムも加筆し、層充実した内容に。副読本としても最適。 2017年春刊行予定

「知識」は、  
自分や社会を幸せにするための「道具」、  
みんなであまく使いたい！！

保育出版社

www.hoiku-pub.jp

〒557-0055 大阪市西成区千本南 1-18-24 TEL 06-6651-5012 FAX 06-6652-2928 info@hoiku-pub.jp

見本本をご入り用の場合は、出版社までご連絡ください。

2017年春・新刊

学びを人生へつなげる  
家族心理学

編著 土肥伊都子 体裁 B5判・176頁(予定)

## 自ら実感する心理学

—こんなところに心理学—

編著 土肥伊都子 体裁 B5判・192頁 定価 本体2,270円+税

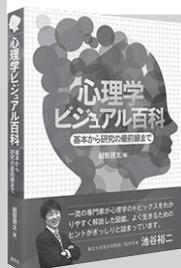
理論と子どもの心をつなぐ  
保育の心理学

編著 大橋喜美子 体裁 B5判・184頁 定価 本体2,381円+税

## 乳幼児のための心理学

編著 小林芳郎 体裁 B5判・218頁 定価 本体2,477円+税

# 心理学ビジュアル百科



基本から研究の最前線まで  
越智啓太編  
定価 (本体 3,200 円+税)

日本人心理学者による全編書き下ろし、オールカラーの本格派ガイド。高校生から大人まで、科学的発見に満ちあふれた現代の心理学のエッセンスを楽しく学べる入門書。

創元ビジュアル科学シリーズ 1

## パブロフの犬

実験でたどる心理学の歴史

A・H=デイヴィス著 / 山崎正浩訳  
定価 (本体 1,800 円+税)

パブロフからスキナー、ピアジェ、ミルグラム、そしてブレイクモアやラマチャンドランまで、19世紀から現代に至る心理学の軌跡を50の実験でたどる。



# 統計嫌いのための心理統計の本

統計のキホンと統計手法の選び方

白井祐浩著  
定価 (本体 2,200 円+税)

100点以上の図版を駆使した説明で、統計に関する必要最低限の知識と統計の全体像がつかめる画期的な一冊。



創元こころ文庫

## 増補 思春期をめぐる冒険

心理療法と村上春樹の世界  
岩宮恵子著 定価 (本体 1,000 円+税)

こころの未来選書

## 発達非定型化と心理療法

河合俊雄、田中康裕編 定価 (本体 2,800 円+税)

## 子どもを育む学校臨床力

多様性の時代の生徒指導・教育相談・特別支援  
角田豊、片山紀子、小松貴弘編著 定価 (本体 2,300 円+税)

〒541-0047 大阪市中央区淡路町 4-3-6  
Tel.06-6231-9010 Fax.06-6233-3111

創元社

<http://www.sogensha.co.jp/>

〒162-0825 東京都新宿区神楽坂 4-3  
煉瓦塔ビル Tel.03-3269-1051

**1 認知心理学 — そのプロフィール —**

心理学全体を支える基礎をなす認知心理学とは、どのような学問なのでしょう。記憶や思考などの認知活動をコンピュータがしているような「情報処理」として研究し、目覚ましい成果を取ってきた認知心理学のプロフィールを紹介します。

**2 知覚 — 情報の入力 —**

外界の物理的刺激は、感覚器官に受容され、脳で様々な処理過程を経て主観的体験として知覚されます。しばしば間違いや錯覚が生じるのは何故でしょう。依存度が大きな視知覚の諸相を中心に紹介し、それを支える神経機構や知覚の適当さと賢さを解説します。

**3 注意 — 情報の選択 —**

環境に適応して生き延びていくためには、入ってくる膨大な量の情報のなかから、重要な情報を選択しなければなりません。これが注意の役割です。注意にまつわる現象を体験したり、代表的な実験例を学び、注意の機能と働きについて理解を深めます。

**4 記憶 I — 情報の貯蔵 —**

記憶とは何かについて概観し、認知心理学における代表的な記憶のモデルについて解説します。人間の適応行動を支える様々な記憶のほたらきや研究方法、そして、短期記憶と長期記憶、作動記憶を解説し、記憶の基礎を学んでいきます。

**5 記憶 II — 実生活の中で —**

意味記憶やエピソード記憶など、最近研究されるようになった様々な記憶について見ていきます。後半では、事件や事故の目撃者の記憶に焦点を当てます。記憶の心理学的研究と人々の日常生活や社会との関わりについて、洞察を深めることができます。

**6 思考 I — 問題解決と推論 —**

何か問題が発生したとき、どのように解決するのでしょうか。問題解決や推論は、高次認知機能と呼ばれ、人間の認知の核心をなすものです。人間の問題解決の仕方の特徴、推論における知識の影響、そして最後に、私たち自身の合理性について考えます。

**7 思考 II — 判断と意思決定 —**

意思決定の重要な要因である効用に影響を及ぼす心理的要因と確率判断について考え、意思決定が文脈や感情などにどう左右されるかを見ていきます。よりよい意思決定とは何か、幸福感とは何かについて、考えを深めることができます。

**8 言語 — 情報の伝達 —**

ことばの入口ともいえる知覚のメカニズムについて、ボトムアップ処理とトップダウン処理に分けて概説し、言語の理解について、単語、文、文章に順次着目し、実例や実験を交えて解説します。また、非言語情報のコミュニケーションについても解説します。

**9 社会的認知 — 人を認知する —**

他者、社会的集団、社会的事象は私たちを取り巻く環境の中で重要な要素であり、その知覚、認知の判断は、対人行動や人間関係などに影響を及ぼします。社会的認知のメカニズムを検討し、陥りやすい社会的認知のバイアスについて解説します。

**10 動物の認知 — 適応の手段としての認知 —**

動物たちのこころの研究の進歩により、ヒトに見られる様々な機能が、動物たちにも備わっていることが分かってきました。動物の認知研究の意義、研究法を学び、動物たちの心の世界を知ること、人間の認知の適応的な役割を理解していきます。

# 認知心理学

「人間らしさ」を生み出すプロセス

知覚、注意、記憶、思考、言語など認知心理学の主要な研究対象をはじめ、社会的認知、動物の認知についても、最新の研究の知見に基づいて学んでいきます。

## DVD 全10巻

時間：各巻約30分

価格：各巻 本体 60,000円＋税

総監修：高野陽太郎（東京大学教授）

指 導：高野陽太郎・渡邊克巳

伊東裕司・服部雅史

田中章浩・岡 隆・藤田和生

## 協賛団体御芳名

株式会社 日本能率協会総合研究所

株式会社 ニホン・ミック

福村出版株式会社

株式会社 学苑社

株式会社 新曜社

センゲージラーニング株式会社

一般財団法人 放送大学教育振興会

株式会社 サン・エデュケーショナル

株式会社 北大路書房

トビー・テクノロジー株式会社

株式会社 ひつじ書房

株式会社 北樹出版

株式会社 ディケイエイチ

株式会社 風間書房

株式会社 日本文化科学社

株式会社 有斐閣

株式会社 ミネルヴァ書房

ユニークエデュケーションプランニング

株式会社 クマノミ出版

株式会社 明石書店

株式会社 ナカニシヤ出版

保育出版社

株式会社 ちとせプレス

株式会社 創元社

株式会社 金子書房

公益財団法人 発達科学研究教育センター

株式会社 ブックマン京都

合同会社 セカンダリー

株式会社 スペクトラム出版社

株式会社 VIP グローバル

(順不同)

大会を開催するにあたり、上記の団体より多大なご支援をいただきました。

ここに御芳名を記して感謝申し上げます。

日本発達心理学会第28回大会委員長 岡本 祐子

# 一般社団法人日本発達心理学会第28回大会

主催：一般社団法人日本発達心理学会第28回大会委員会

共催：広島大学大学院教育学研究科

大会委員長	岡本 祐子	(広島大学)
大会事務局長	杉村 伸一郎	(広島大学)
大会副事務局長	森田 愛子	(広島大学)
大会委員 (五十音順)	宇都宮 博	(立命館大学)
	鹿嶋 達哉	(広島国際大学)
	上手 由香	(広島大学)
	倉盛 美穂子	(福山市立大学)
	清水 寿代	(広島大学)
	杉村 和美	(広島大学)
	高野 恵代	(広島大学)
	谷渕 真也	(比治山大学)
	徳岡 大	(高松大学)
	中坪 史典	(広島大学)
	新見 直子	(広島文教女子大学)
	濱田 祥子	(比治山大学)
	平川 真	(広島大学)
	堀田 裕司	(広島大学)
	森永 康子	(広島大学)
	湯澤 正通	(広島大学)

**一般社団法人日本発達心理学会第28回大会プログラム**

発行日：2017年2月21日

発行者：一般社団法人日本発達心理学会第28回大会

委員長 岡本 祐子

一般社団法人日本発達心理学会第28回大会委員会

〒739-8524 広島県東広島市鏡山 1-1-1 広島大学大学院教育学研究科

印刷：三美印刷株式会社

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里 5-9-8



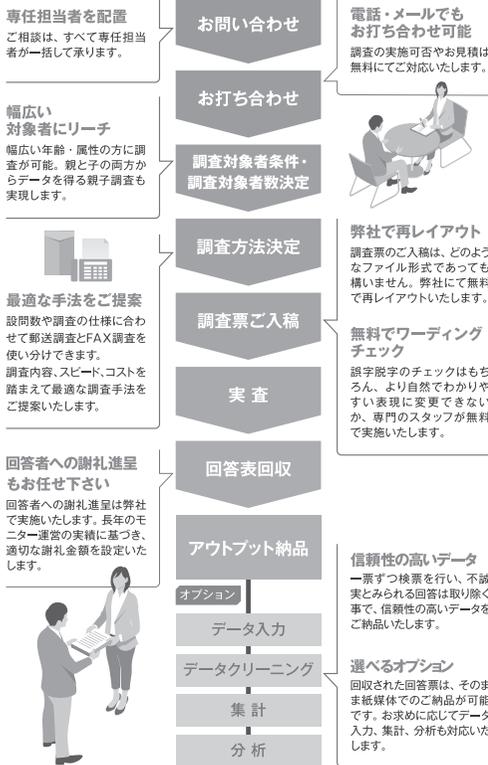
JMAR 株式会社日本能率協会総合研究所

# 質問紙調査支援サービス



一般の方を対象とした質問紙調査の実施を全面的に支援いたします。  
課題となりがちな「回答者集め」「作業の煩雑さ」「コスト」「スピード」をすべて解決いたします。  
弊社が保有するアンケートモニターは、運用実績20年以上を誇り、数多くの研究機関にご利用いただいた実績があります。適切な回収データをご提供いたしますので、ぜひご活用ください。

## お問い合わせから納品までの流れ



## 弊社アンケートモニターの特徴



### 幅広い年齢・属性の方に調査可能

新規にモニター登録を希望される方に対して、基本的に同居するご家族全員をご登録いただくようお願いをしています。これにより、乳幼児から高齢の方まで、幅広い年齢・属性の方をモニターとして確保しています。

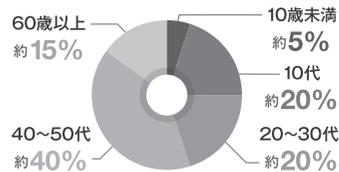


### 特定の属性を有するモニターをピンポイントで抽出

モニターの詳細な個人情報属性・世帯属性をデータベース情報として取得しております。これにより、特定の属性を有するモニターを調査対象者として事前に抽出し、ピンポイントで質問紙調査を行うことができます。

## 弊社アンケートモニター情報

👤 88,000名 🏠 26,000世帯



## なりすましゼロのアンケートモニター

なりすまし防止のために、モニターの氏名と、そのモニターの回答謝礼振込用銀行口座の情報を突き合わせて本人確認をしています。また、毎年4月にモニターの個人属性情報・世帯属性情報を再度取得し、前年度と大きな矛盾があるモニターについては、登録抹消処理を行っています。この方法で20年以上モニター管理・運用をしており、なりすまし率は限りなくゼロに近い状態となっています。

## 調査事例

<b>調査テーマ</b>	小学生高学年の自己意識に関する調査
<b>調査設計</b>	回収票数：小学生高学年男女100名ずつ、計200名 設問数：単一回答50問
<b>業務範囲</b>	(確定版調査票ご入稿後) ワーディングチェック、調査票レイアウト、実査、回収票管理、回答者へ謝礼進呈
<b>納品物</b>	回収票(データ入力なし)
<b>所要日数</b>	(確定版調査票ご入稿後) 10営業日でご納品
<b>費用</b>	272,000円

<b>調査テーマ</b>	職業意識に関する調査
<b>調査設計</b>	回収票数：有職者男女250名ずつ、計500名 設問数：単一回答70問
<b>業務範囲</b>	(確定版調査票ご入稿後) ワーディングチェック、調査票レイアウト、実査、回収票管理、回答者へ謝礼進呈、データ入力、集計
<b>納品物</b>	ローデータ(データ入力済みエクセルファイル)、集計表(エクセルファイル)
<b>所要日数</b>	(確定版調査票ご入稿後) 15営業日でご納品
<b>費用</b>	830,000円

## お問い合わせはこちら

株式会社日本能率協会総合研究所  
学術研究支援部

住所 〒100-0004 東京都千代田区大手町 2-2-1 新大手町ビル 2階

TEL 03-6202-1287 FAX 03-6202-1294 e-mail info@jmar.biz